

柏崎市  
在宅介護実態調査  
集計結果報告書  
(全体版)

令和 5 (2023) 年 6 月

柏崎市





# 目 次

I	調査の概要	1
II	在宅介護実態調査 集計結果	2
	あて名のご本人について	2
	A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目	16
	B票 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目	77
III	在宅介護実態調査からみえる課題	99



# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

---

団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる「2025年問題」が目前に迫り、介護保険をとりまく情勢が大きく変化している中、地域の実情に応じた介護保険事業運営が必要とされています。本調査は、本市における在宅介護の実態を把握し、介護保険事業計画の策定に役立てるために実施しました。

## 2. 実施概要

---

### ○ 調査対象

在宅で要介護（要支援）認定を受けている方及びその介護者の方

### ○ 調査期間

令和5(2022)年12月1日～令和6(2023)年3月31日

### ○ 調査方法

認定調査員による聞き取り調査

### ○ 調査数

423人

## 3. 報告書のみかた

---

この調査の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

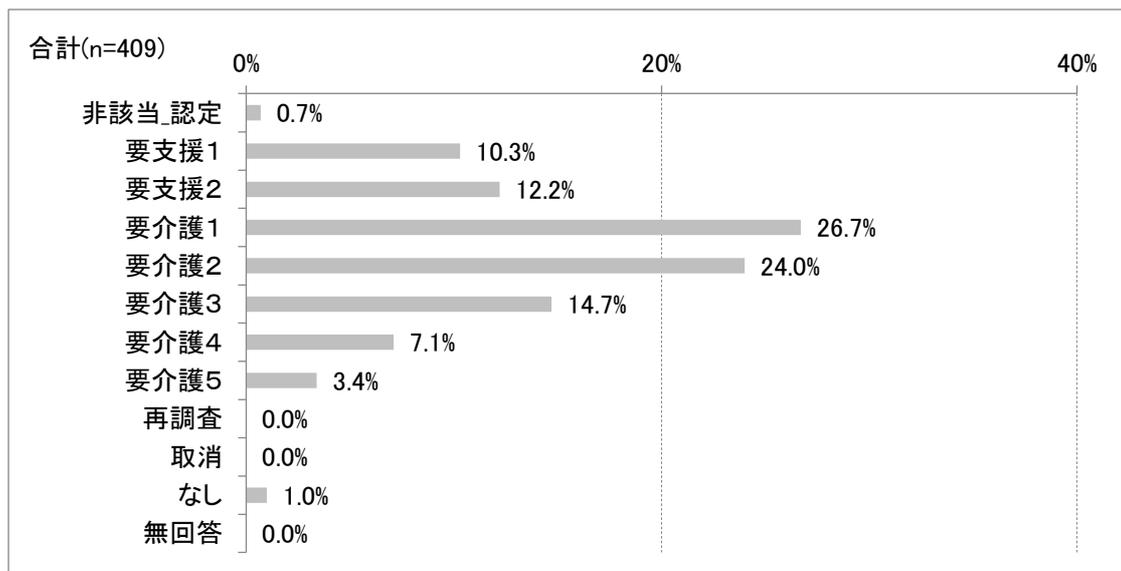
- 「調査結果」の図表は、原則として、回答者の構成比（百分率%）で表しています。
- 図表中の「n」は当該設問の回答者総数を表しており、百分率%は「n」を100%として算出しています。
- 百分率%は、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しているため、選択肢の割合の合計が100%にならない場合があります。
- 複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがあります。
- 選択肢の語句が長い場合、本文中及び図表中では省略した表現を用いる場合があります。

## Ⅱ 在宅介護実態調査 集計結果

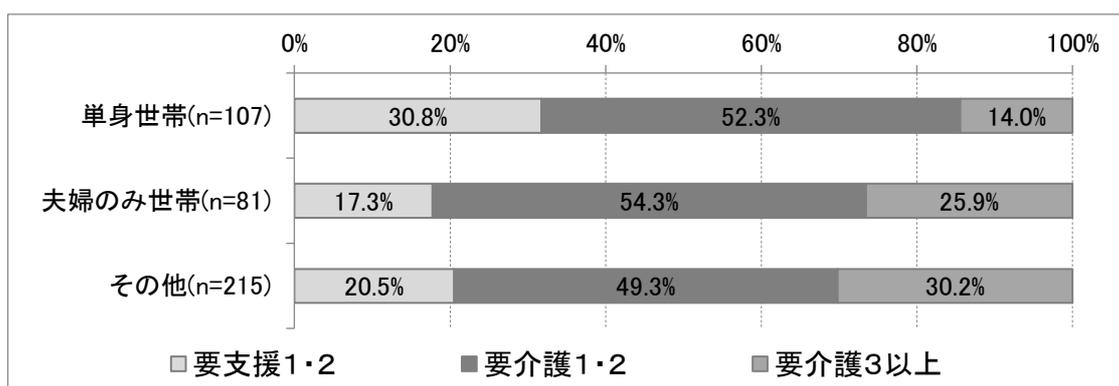
### あて名のご本人について

#### 二次判定結果（要介護度）

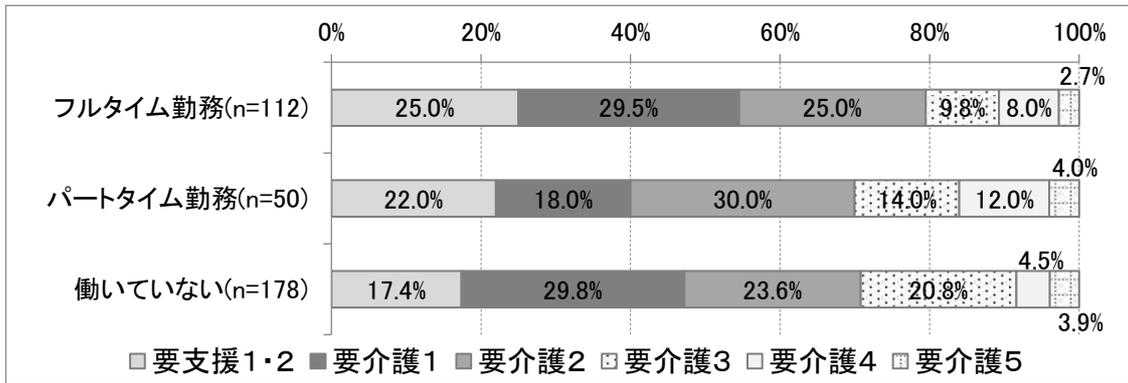
本人の要介護度は、「要介護1」の割合が26.7%と最も高くなっており、次いで「要介護2」が24.0%、「要介護3」が14.7%となっています。



#### 【要介護度（世帯類型別）】

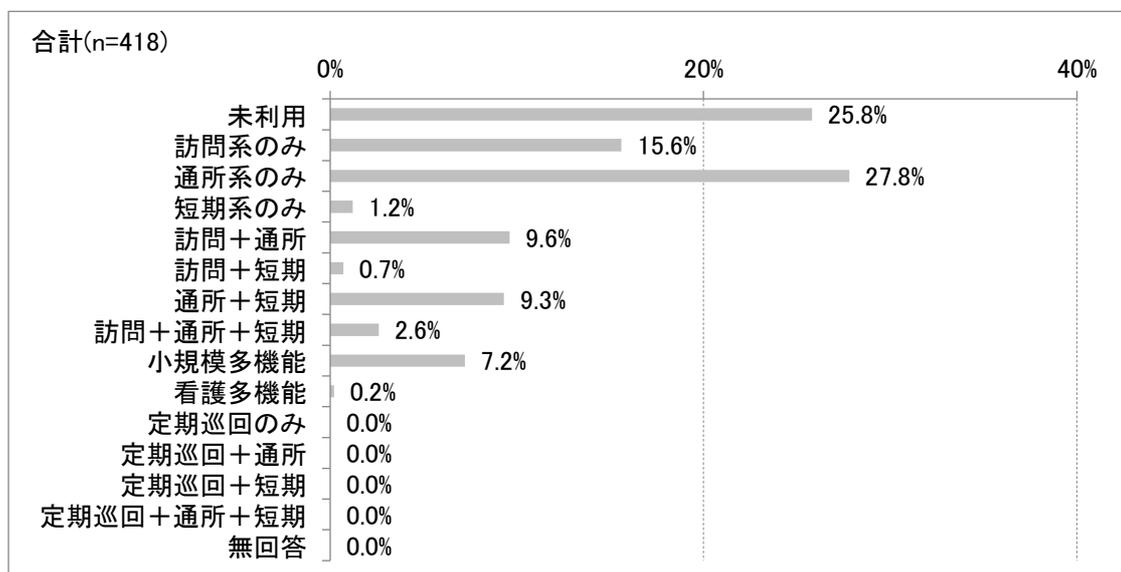


【要介護度（主な介護者の就労状況別）】

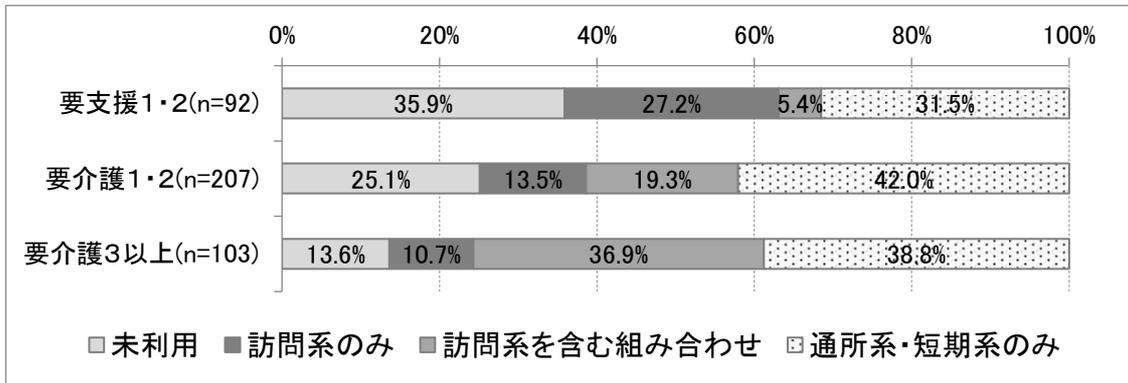


## サービス利用の組み合わせ

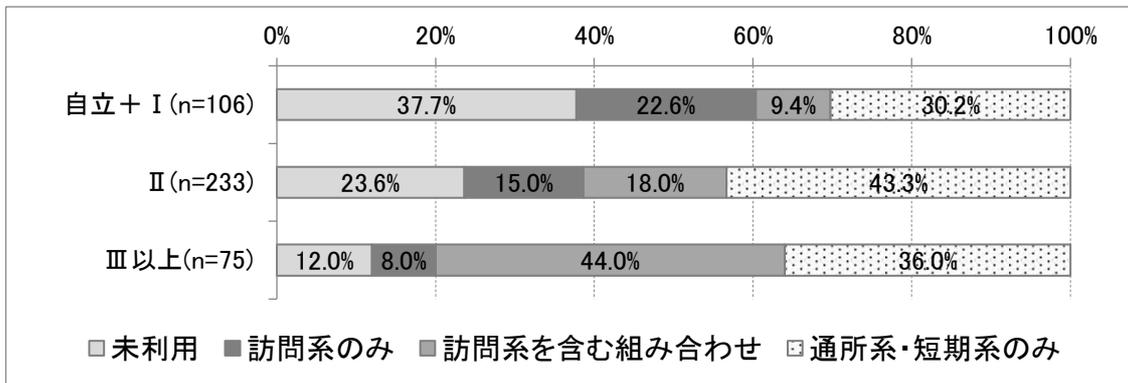
本人のサービス利用の組み合わせは、「通所系のみ」の割合が27.8%と最も高くなっており、次いで「未利用」が25.8%、「訪問系のみ」が15.6%となっています。



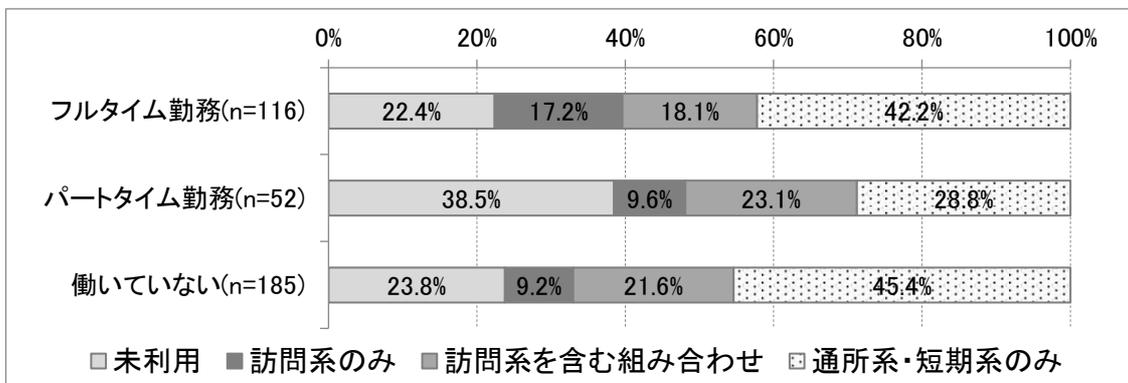
【サービス利用の組み合わせ（要介護度別）】



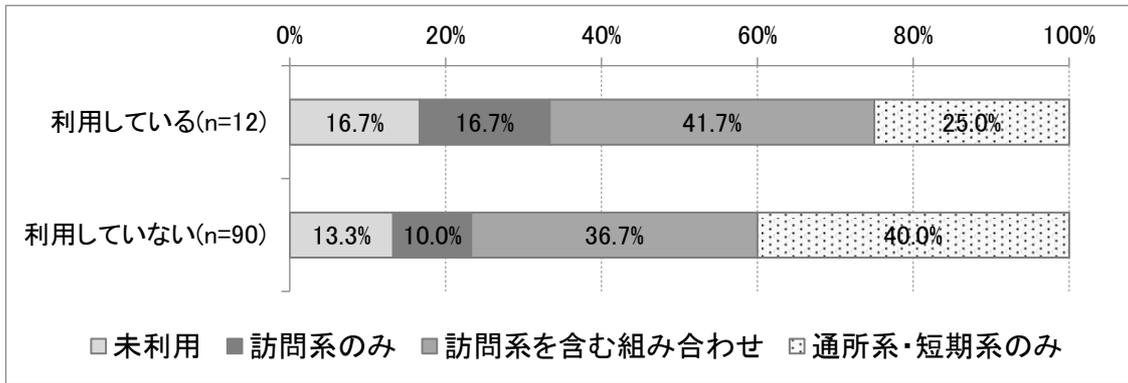
【サービス利用の組み合わせ（認知症高齢者自立度別）】



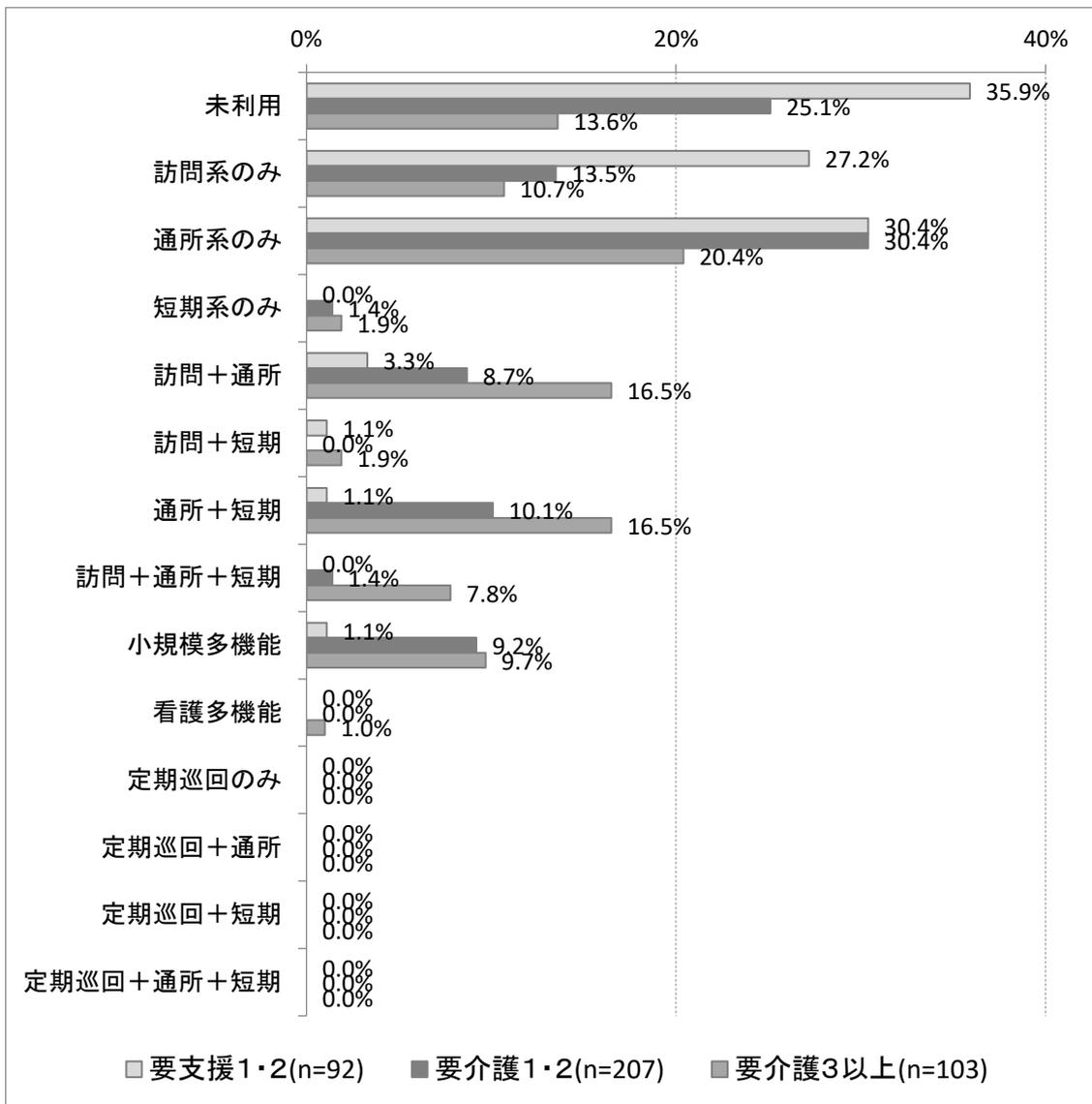
【サービス利用の組み合わせ（主な介護者の就労状況別）】



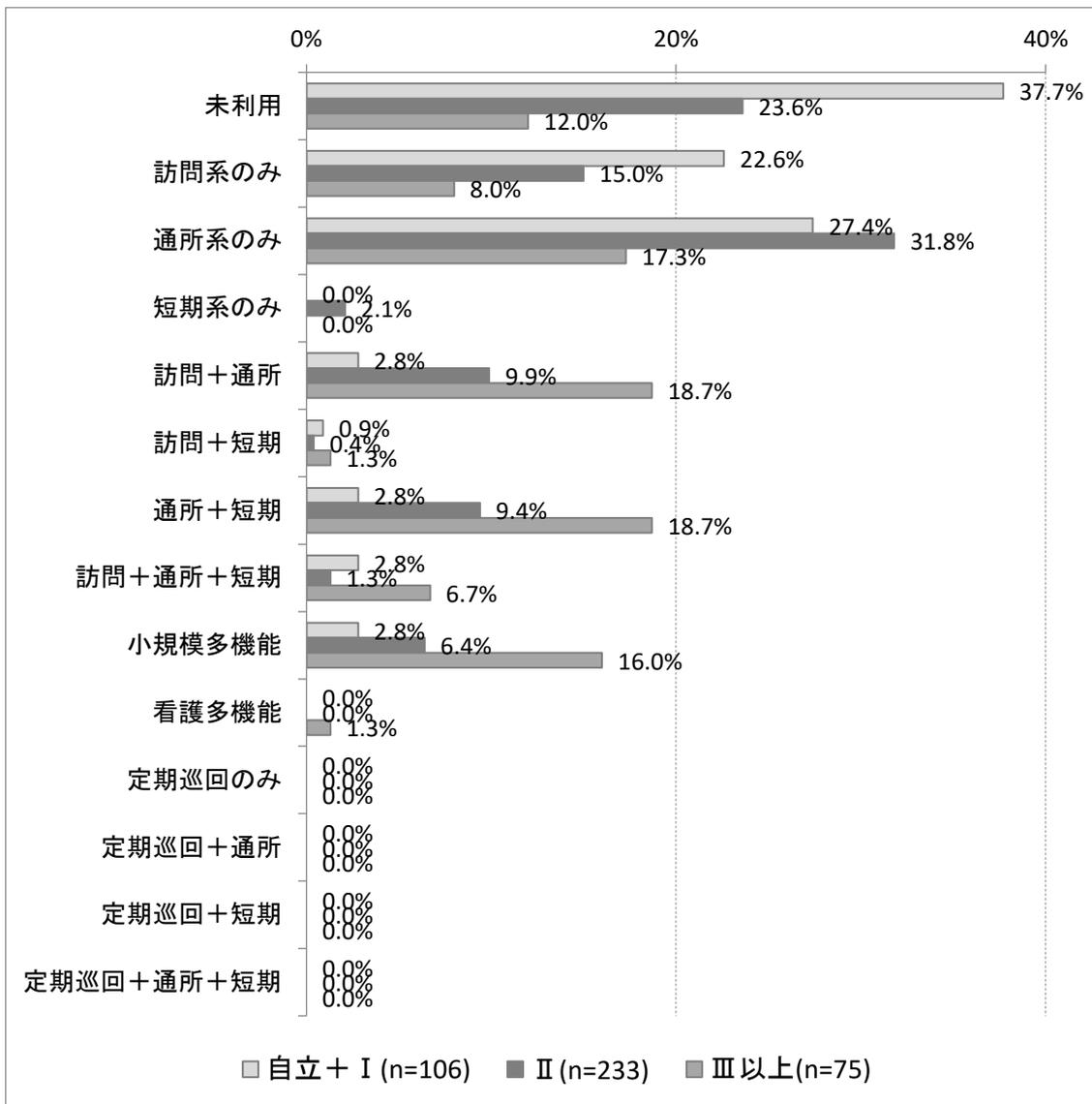
【サービス利用の組み合わせ（訪問診療の利用の有無別・要介護3以上）】



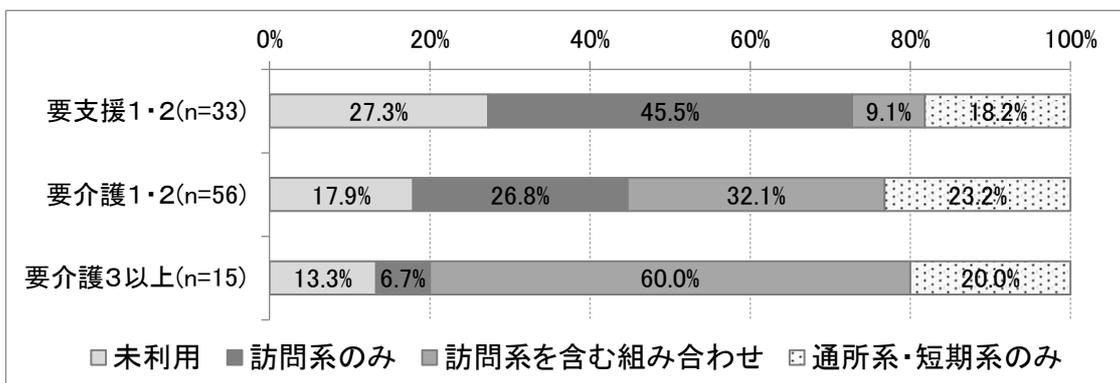
【サービス利用の組み合わせ（要介護度別）】



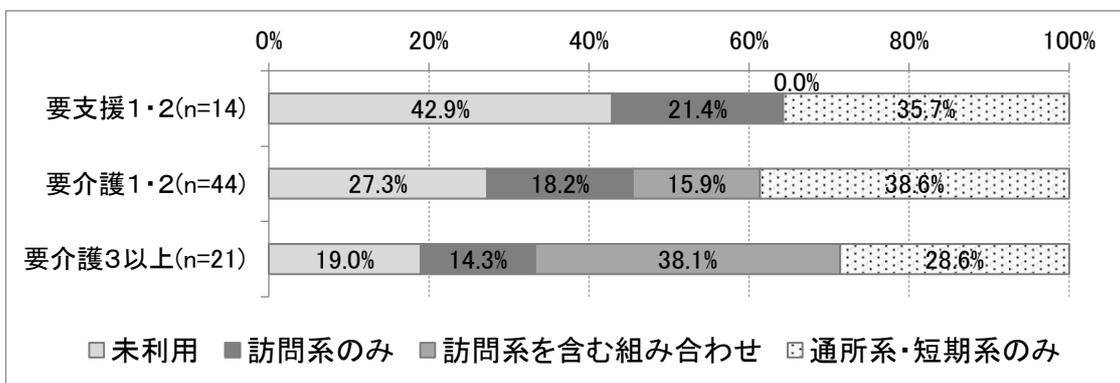
【サービス利用の組み合わせ（認知症高齢者自立度別）】



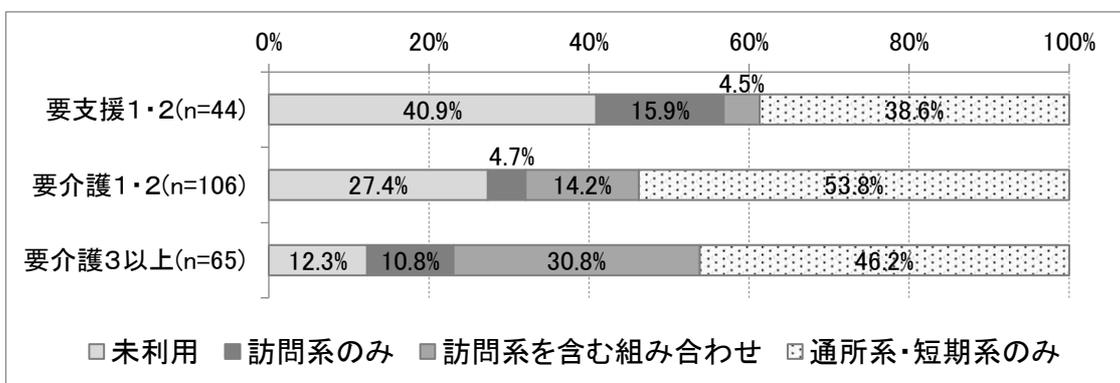
【サービス利用の組み合わせ（要介護度別・単身世帯）】



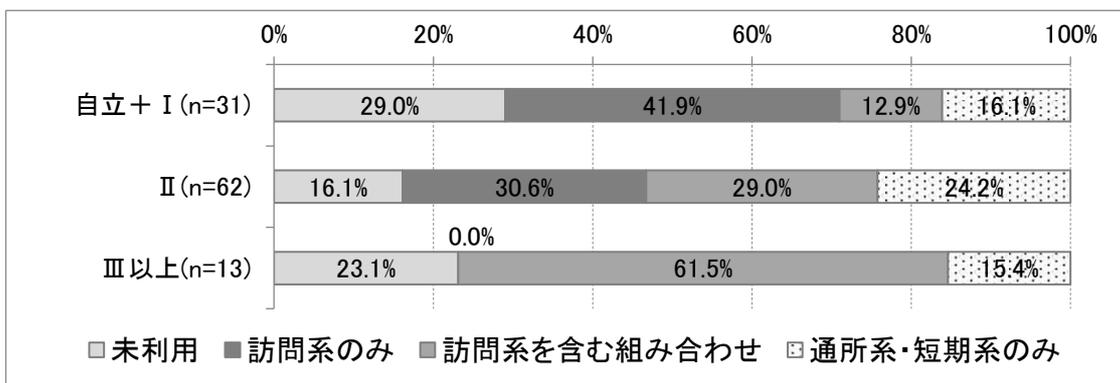
【サービス利用の組み合わせ（要介護度別・夫婦のみ世帯）】



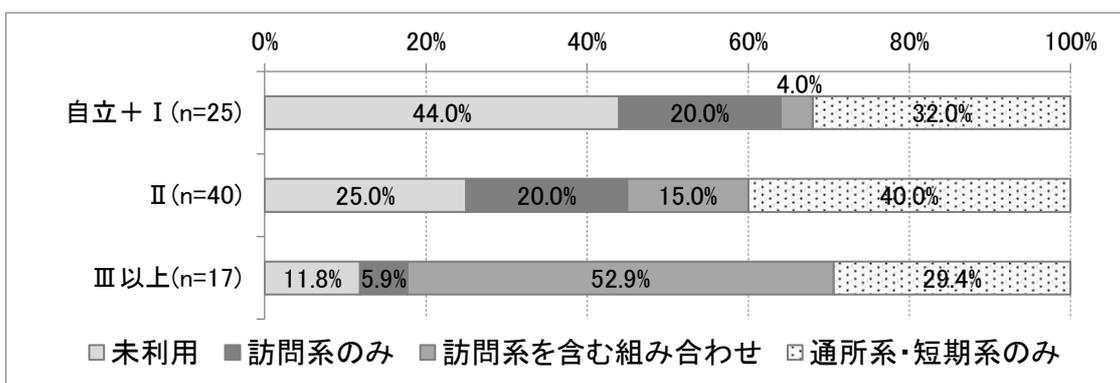
【サービス利用の組み合わせ（要介護度別・その他）】



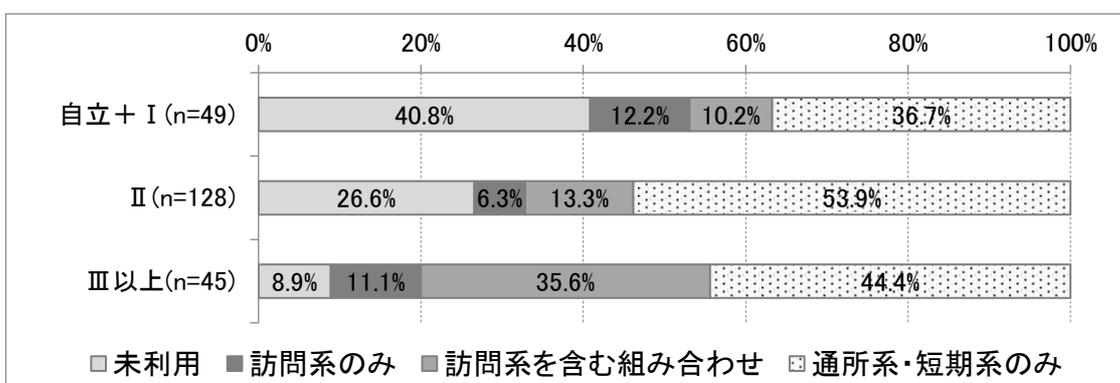
【サービス利用の組み合わせ（認知症高齢者自立度別・単身世帯）】



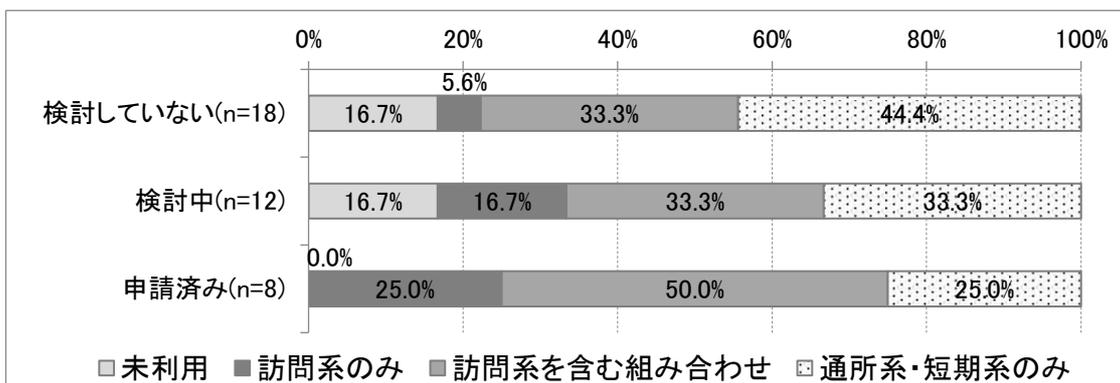
【サービス利用の組み合わせ（認知症高齢者自立度別・夫婦のみ世帯）】



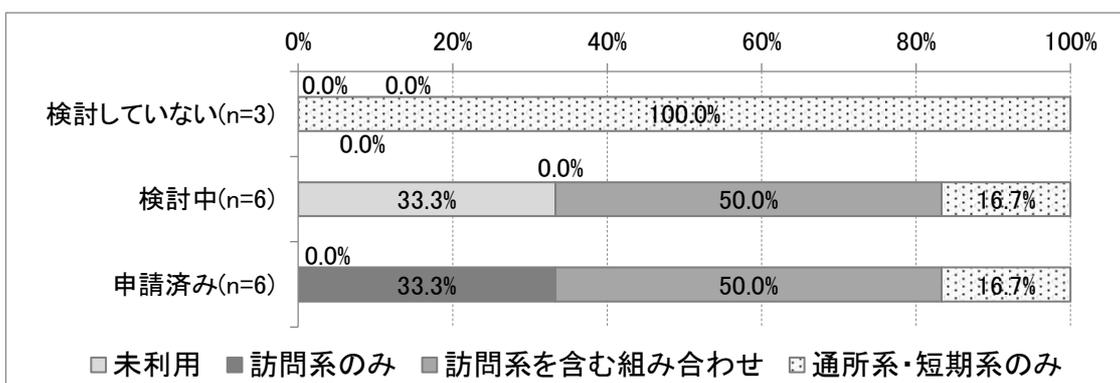
【サービス利用の組み合わせ（認知症高齢者自立度別・その他）】



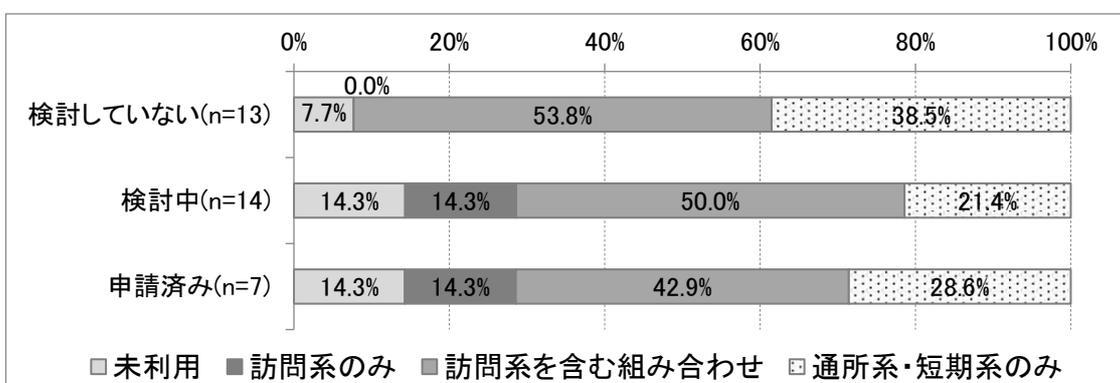
【サービス利用の組み合わせ（施設等検討の状況別・要介護3以上）】



【サービス利用の組み合わせ（施設等検討の状況別・要介護4以上）】

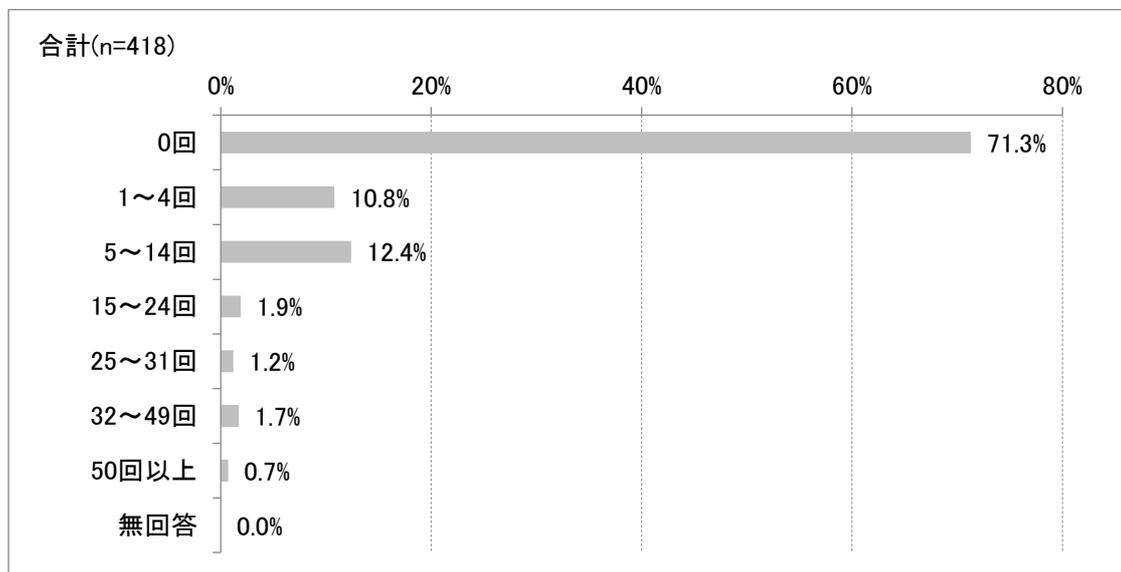


【サービス利用の組み合わせ（施設等検討の状況別・認知症Ⅲ以上）】



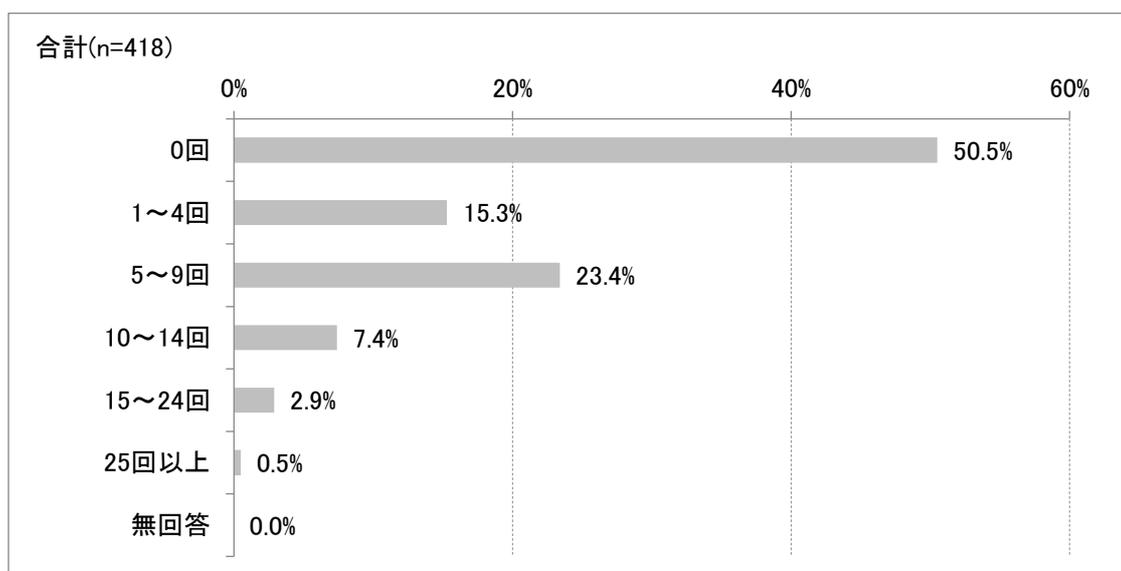
### 訪問系サービスの合計利用回数

本人の訪問系サービスの合計利用回数は、「0回」の割合が71.3%と最も高くなっており、次いで「5～14回」が12.4%、「1～4回」が10.8%となっています。



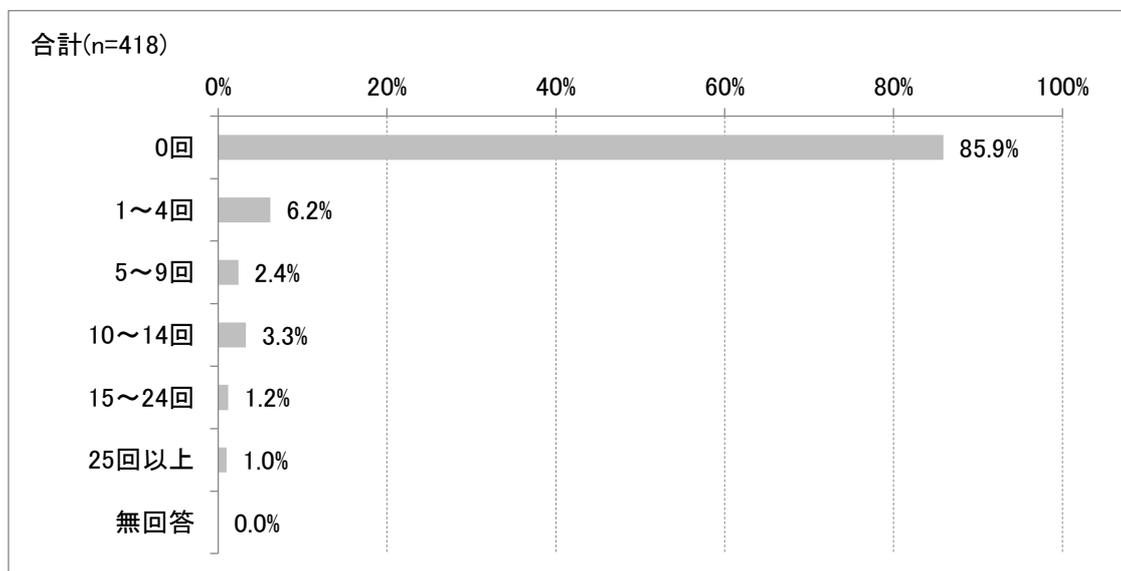
### 通所系サービスの合計利用回数

本人の通所系サービスの合計利用回数は、「0回」の割合が50.5%と最も高くなっており、次いで「5～9回」が23.4%、「1～4回」が15.3%となっています。



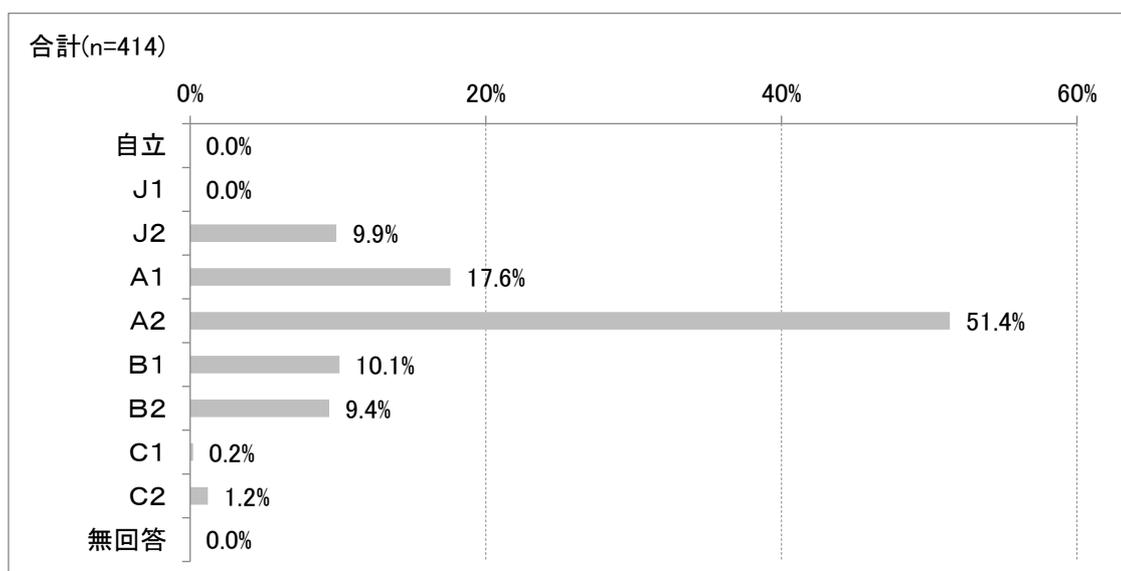
### 短期系サービスの合計利用回数

本人の短期系サービスの合計利用回数は、「0回」の割合が85.9%と最も高くなっており、次いで「1～4回」が6.2%、「10～14回」が3.3%となっています。



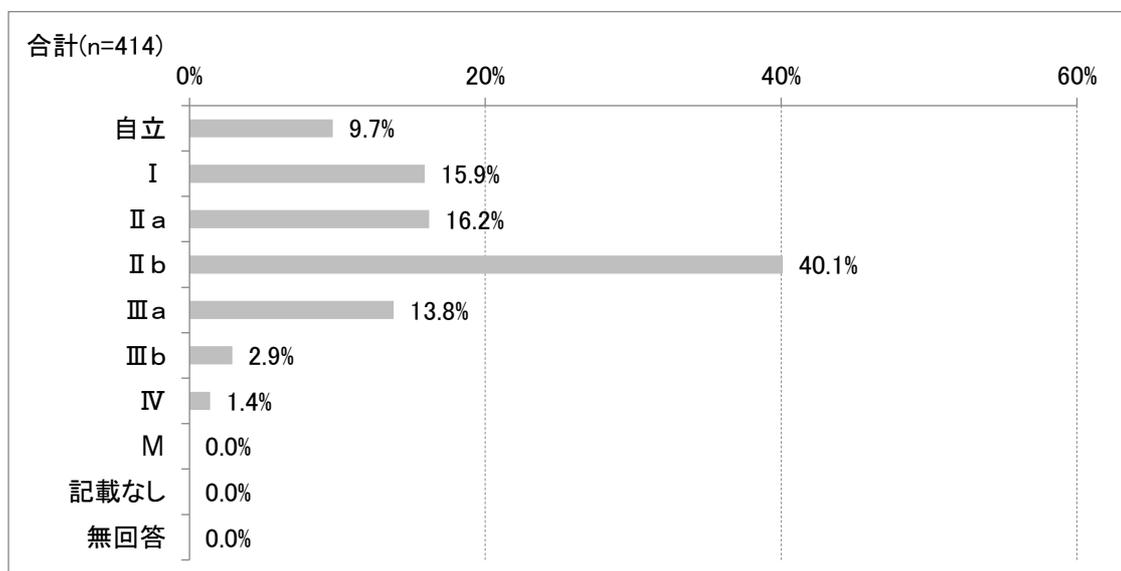
### 障がい高齢者の日常生活自立度

障がい高齢者の日常生活自立度は、「A2」の割合が51.4%と最も高くなっており、次いで「A1」が17.6%、「B1」が10.1%となっています。

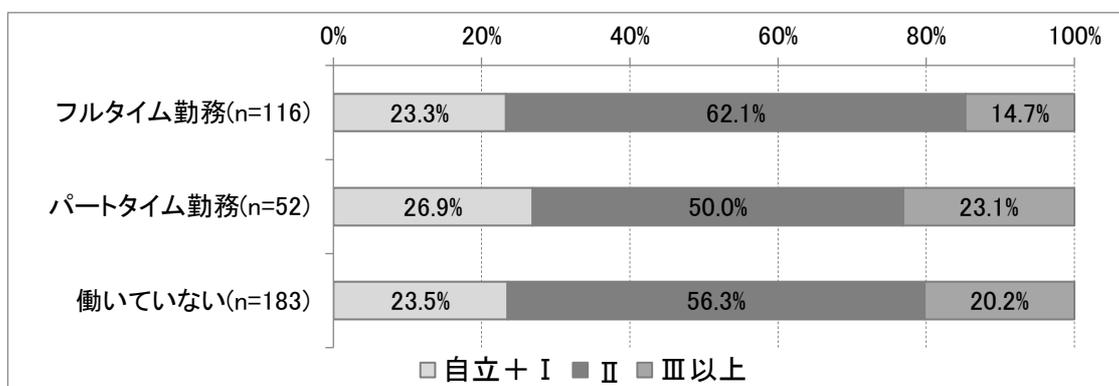


## 認知症高齢者の日常生活自立度

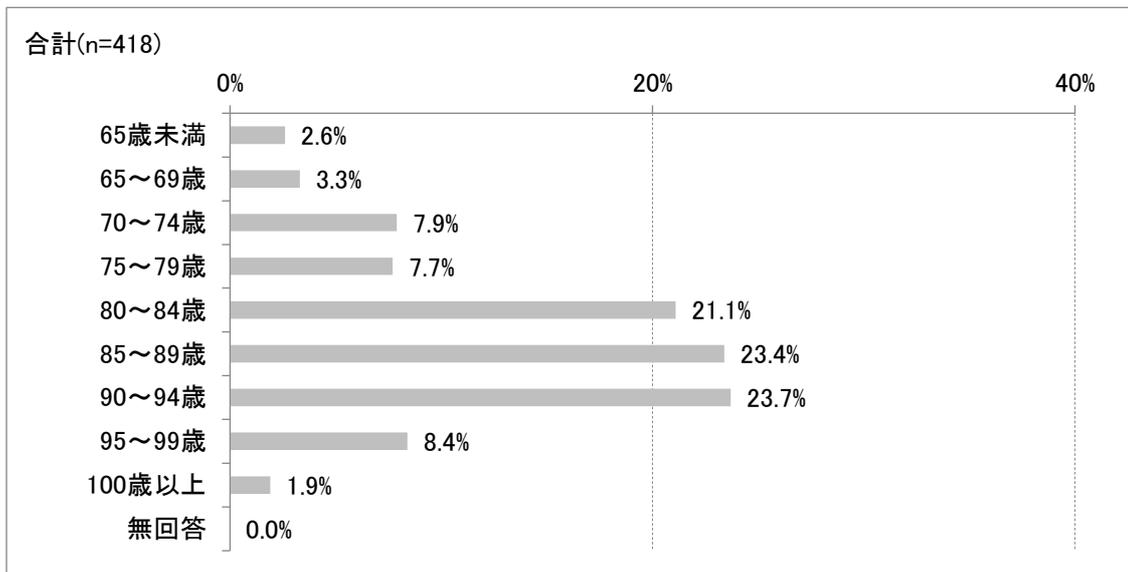
認知症高齢者の日常生活自立度は、「Ⅱ b」の割合が40.1%と最も高くなっており、次いで「Ⅱ a」が16.2%、「Ⅰ」が15.9%となっています。



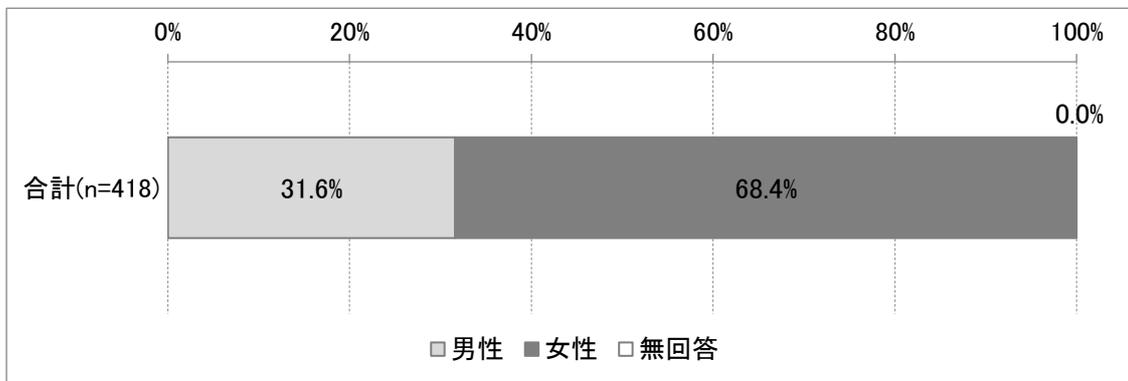
### 【認知症高齢者自立度（主な介護者の就労状況別）】



あて名のご本人の年齢



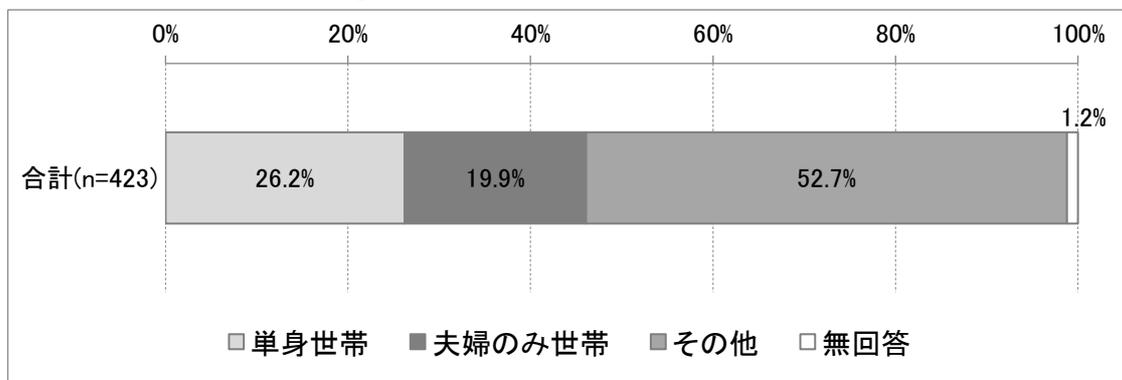
あて名のご本人の性別



## A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

### 問1 世帯類型について、ご回答ください

世帯類型は、「その他」の割合が52.7%と最も高くなっています。次いで「単身世帯」が26.2%、「夫婦のみ世帯」が19.9%となっています。

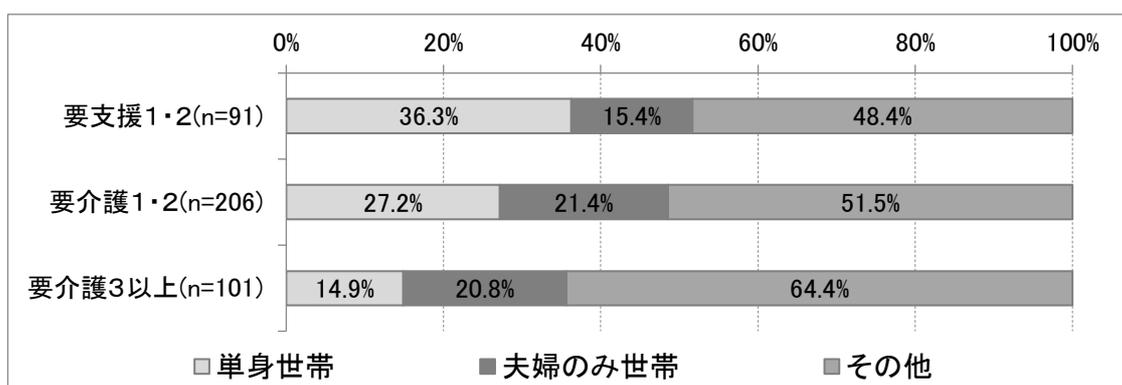


### 【世帯類型（要介護度別）】

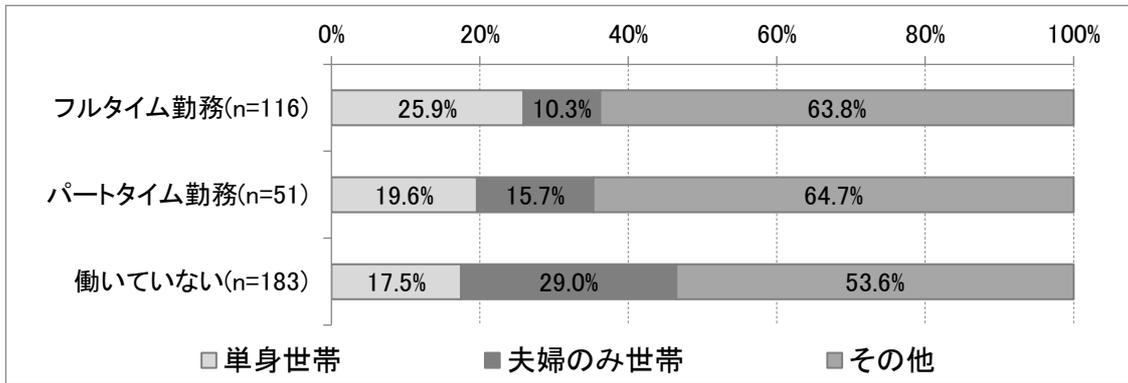
世帯類型を要介護度別にみると、「要支援1・2」と「要介護1・2」では、「その他」、「単身世帯」、「夫婦のみ世帯」の順に高くなっています。

「要介護3以上」では「その他」の割合が64.4%と最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」が20.8%、「単身世帯」が14.9%となっています。

なお、「単身世帯」の割合は、要介護度が上がるにつれて低くなっています。

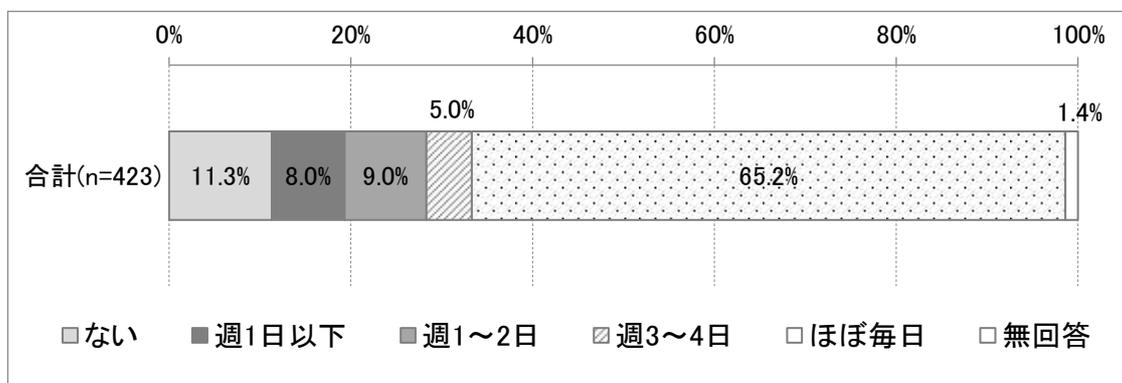


【世帯類型（主な介護者の就労状況別）】



問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）

ご家族やご親族の方からの1週間あたりの介護の頻度は、「ほぼ毎日」の割合が65.2%と最も高くなっており、次いで、「ない」が11.3%、「週1～2日」が9.0%となっています。

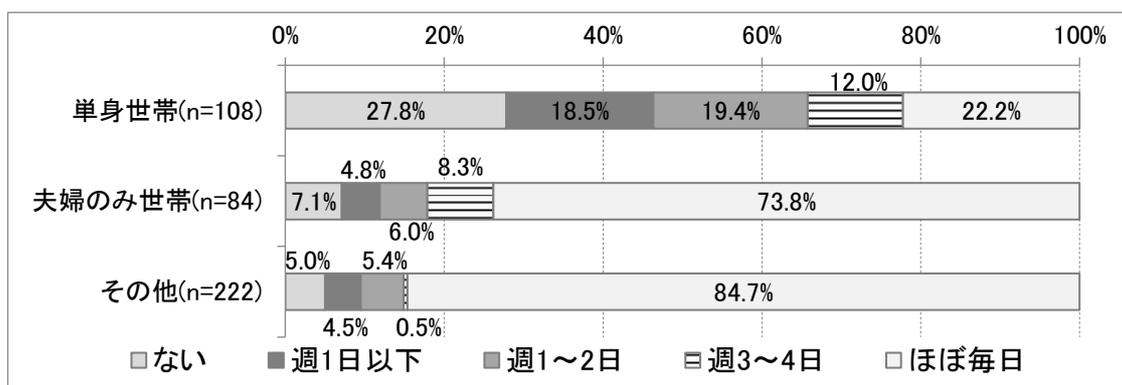


【1週間あたりの介護の頻度（世帯類型別）】

1週間あたりの介護の頻度を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「ない」の割合が27.8%と最も高く、次いで「ほぼ毎日」が22.2%、「週1～2日」が19.4%となっています。

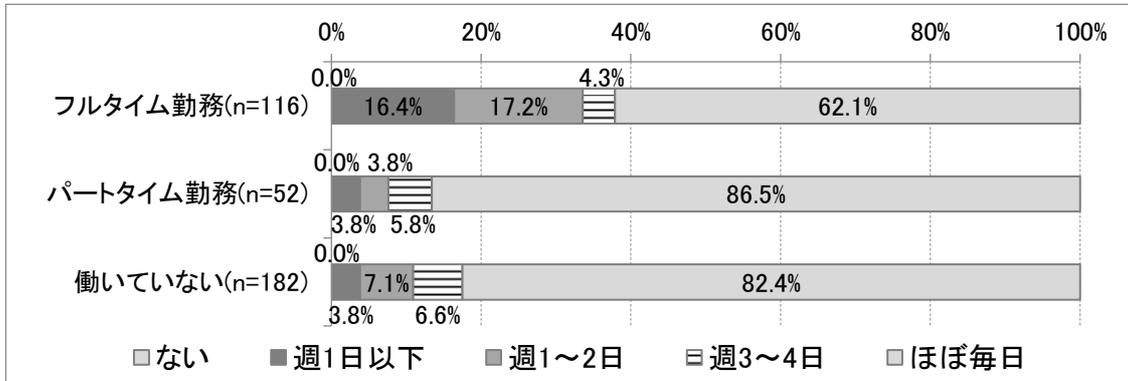
「夫婦のみ世帯」では「ほぼ毎日」の割合が73.8%と最も高く、次いで「週3～4日」が8.3%、「ない」が7.1%となっています。

「その他」では「ほぼ毎日」の割合が84.7%と最も高く、次いで「週1～2日」が5.4%、「ない」が5.0%となっています。

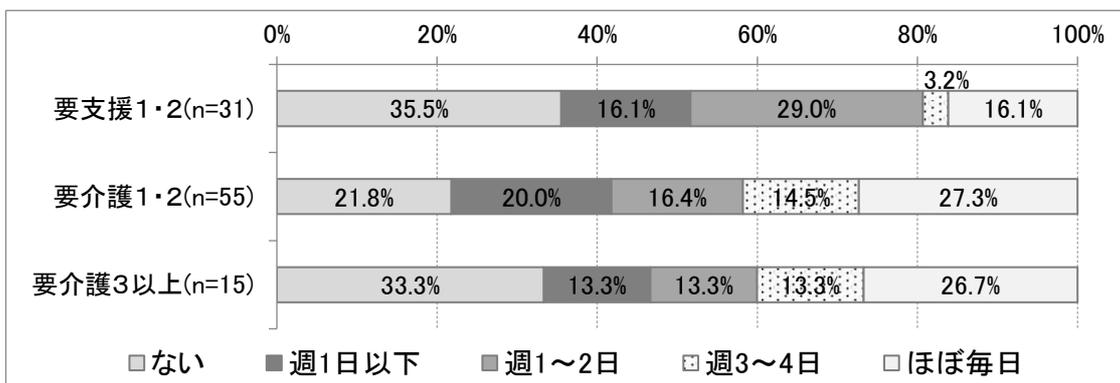


【1週間あたりの介護の頻度（主な介護者の就労状況別）】

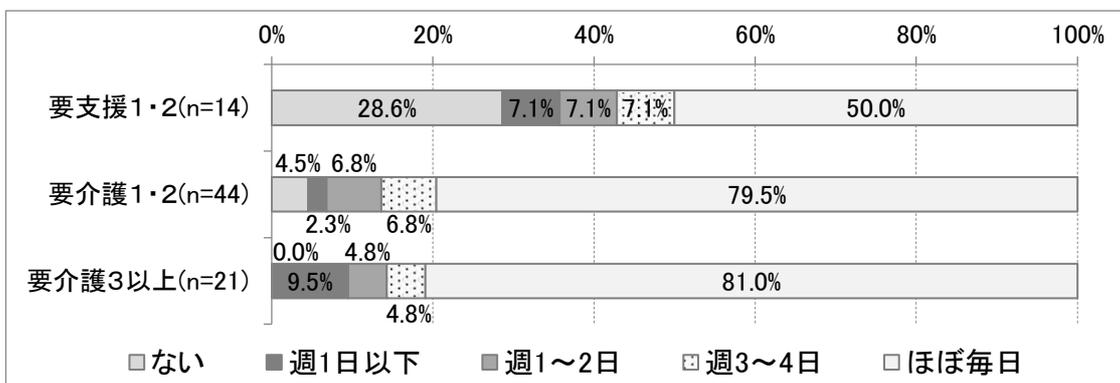
1週間あたりの介護の頻度を主な介護者の就労状況別にみると、いずれにおいても「ほぼ毎日」の割合が最も高く、特に、「パートタイム勤務」では86.5%と高い割合を示しています。



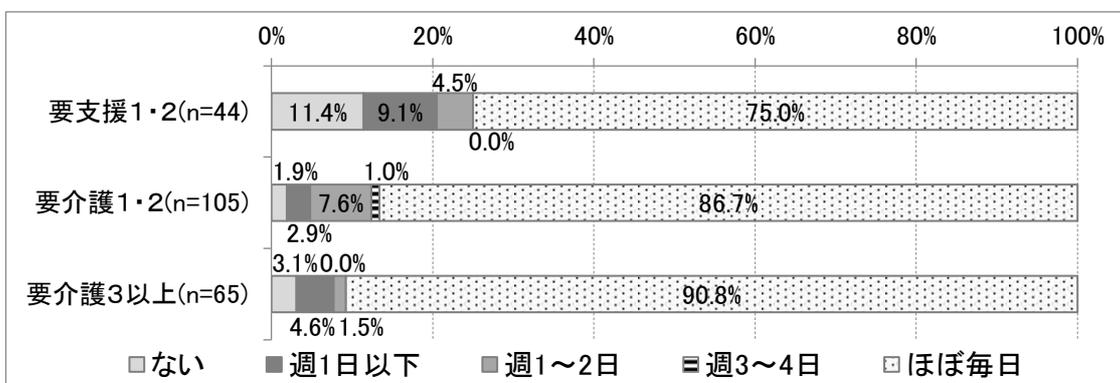
【1週間あたりの介護の頻度（要介護度別・単身世帯）】



【1週間あたりの介護の頻度（要介護度別・夫婦のみ世帯）】

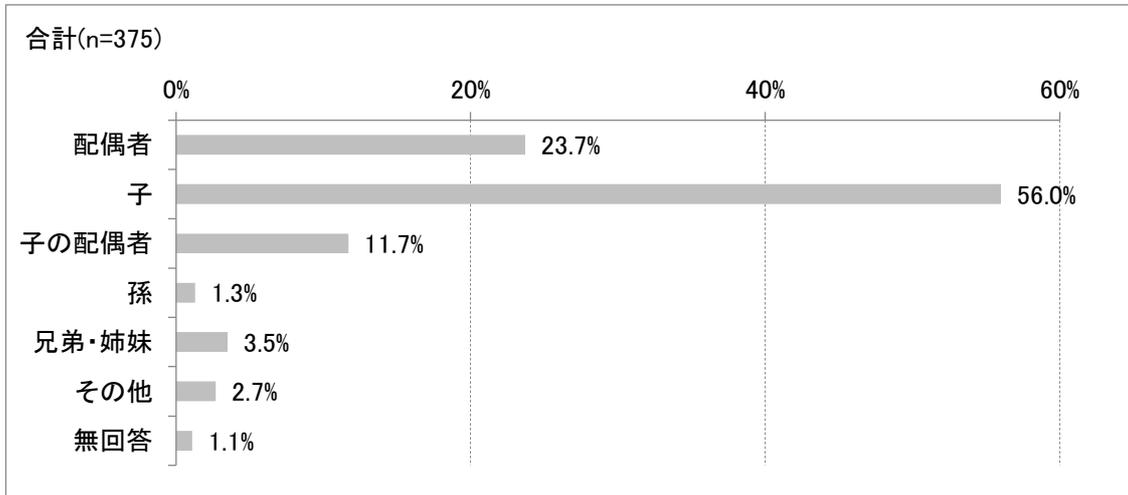


【1週間あたりの介護の頻度（要介護度別・その他）】



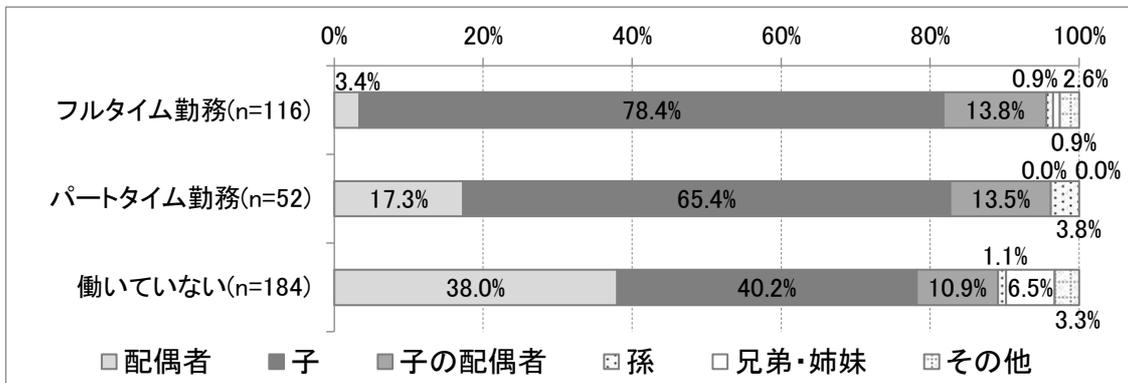
問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

主な介護者は、「子」の割合が56.0%と最も高く、次いで、「配偶者」（23.7%）、「子の配偶者」（11.7%）の順に高くなっています。



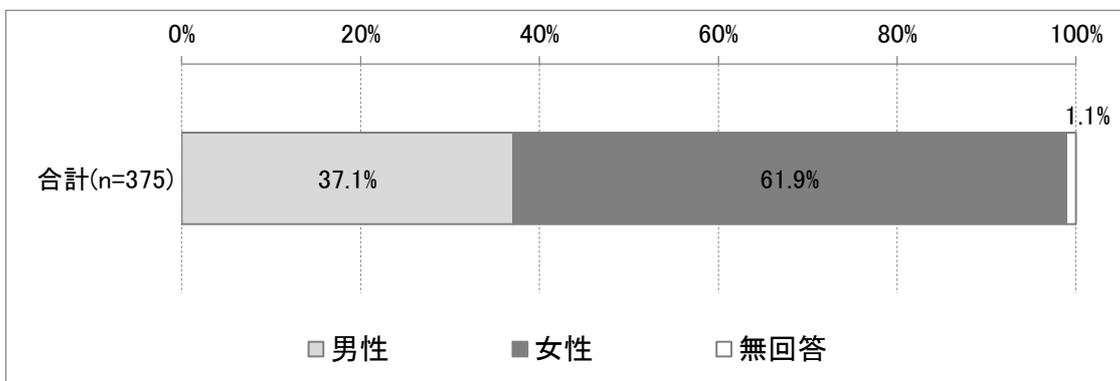
【主な介護者（主な介護者の就労状況別）】

主な介護者を介護者の就労状況別にみると、いずれも「子」の割合が最も高くなっていますが、「働いていない」では「配偶者」の割合が38.0%と、4割近くになっています。

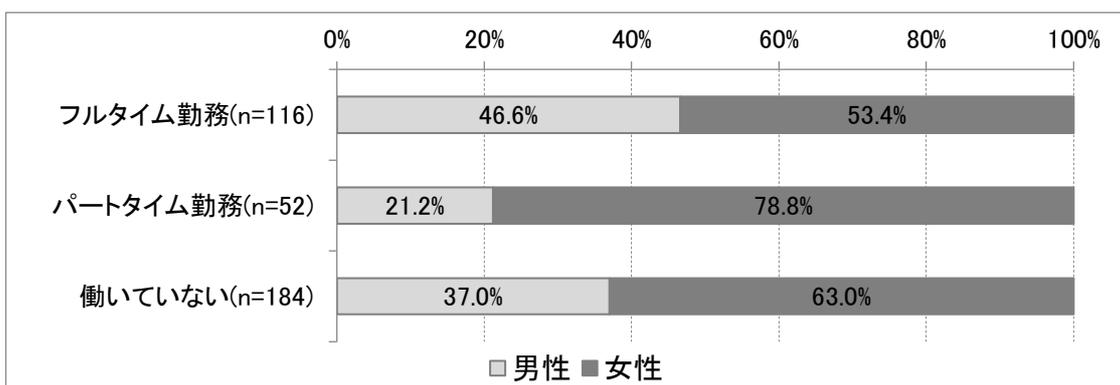


問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください

主な介護者の性別は、「男性」の割合が37.1%、「女性」の割合が61.9%となっています。

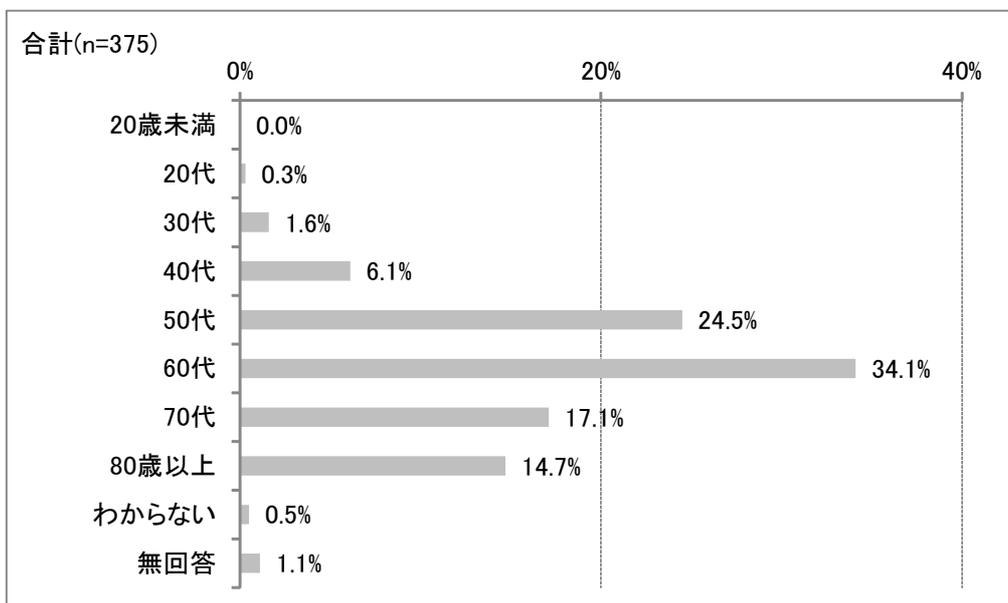


【主な介護者の性別（主な介護者の就労状況別）】



問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください

主な介護者の年齢は、「60代」の割合が34.1%と最も高く、次いで「50代」が24.5%、「70代」が17.1%、「80歳以上」が14.7%となっています。



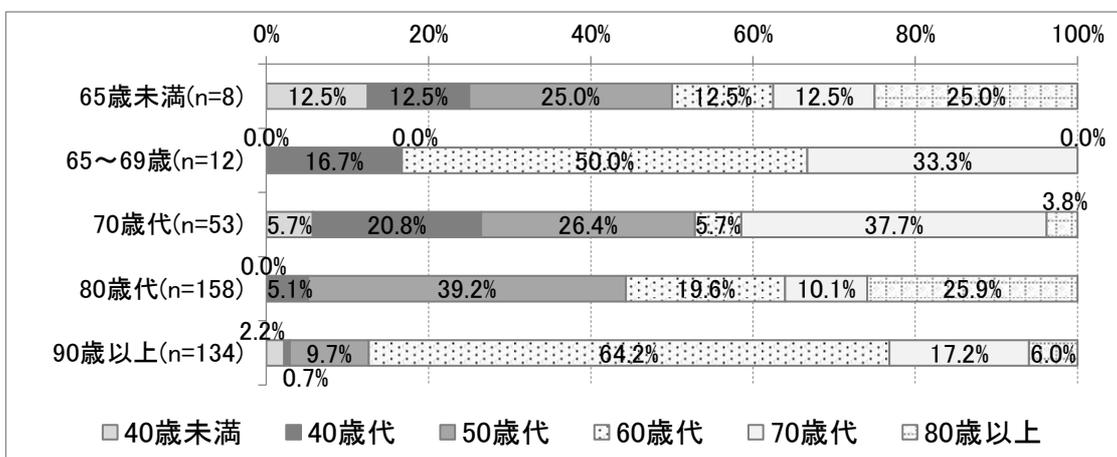
【主な介護者の年齢（本人の年齢別）】

主な介護者の年齢を本人の年齢別にみると、本人の年齢が65歳未満では、主な介護者の年齢は「50歳代」と「80歳以上」の割合が同率で25.0%と最も高くなっています。

本人の年齢が65～69歳では、主な介護者の年齢は「60歳代」の割合が50.0%と最も高く、次いで「70歳代」が33.3%、「40歳代」が16.7%となっています。

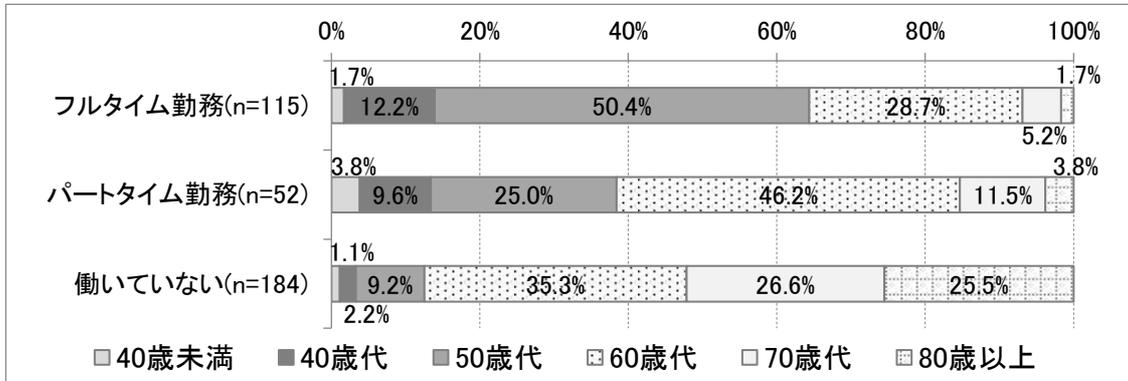
本人の年齢が70歳代では、主な介護者の年齢は「70歳代」の割合が37.7%と最も高くなっています。

本人の年齢が80歳代では、主な介護者の年齢は「50歳代」の割合が39.2%と最も高くなっていますが、「80歳代」も25.9%と比較的高い割合を示しています。



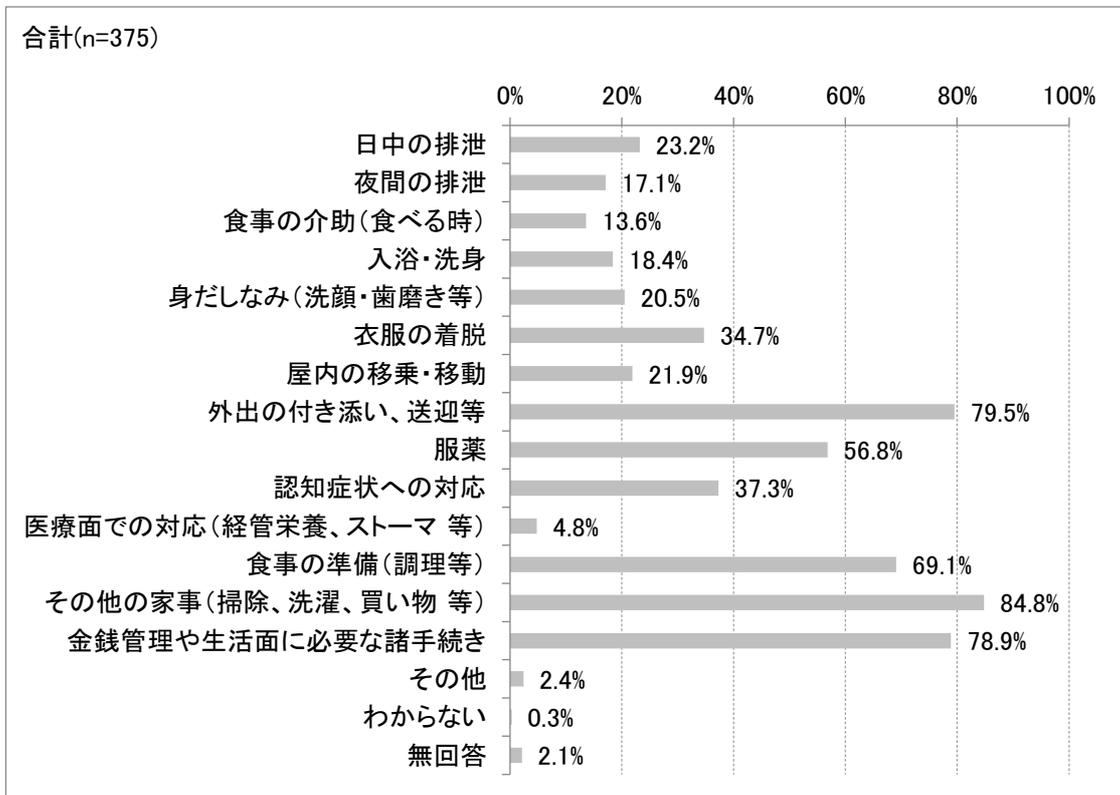
【主な介護者の年齢（主な介護者の就労状況別）】

主な介護者の年齢を介護者の就労状況別にみると、フルタイム勤務では「50歳代」の割合が50.4%、パートタイム勤務と働いていないでは「60歳代」の割合がそれぞれ46.2%と35.3%で、最も高くなっています。



問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）

主な介護者が現在行っている介護等は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が84.8%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が79.5%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が78.9%、「食事の準備（調理等）」が69.1%となっています。

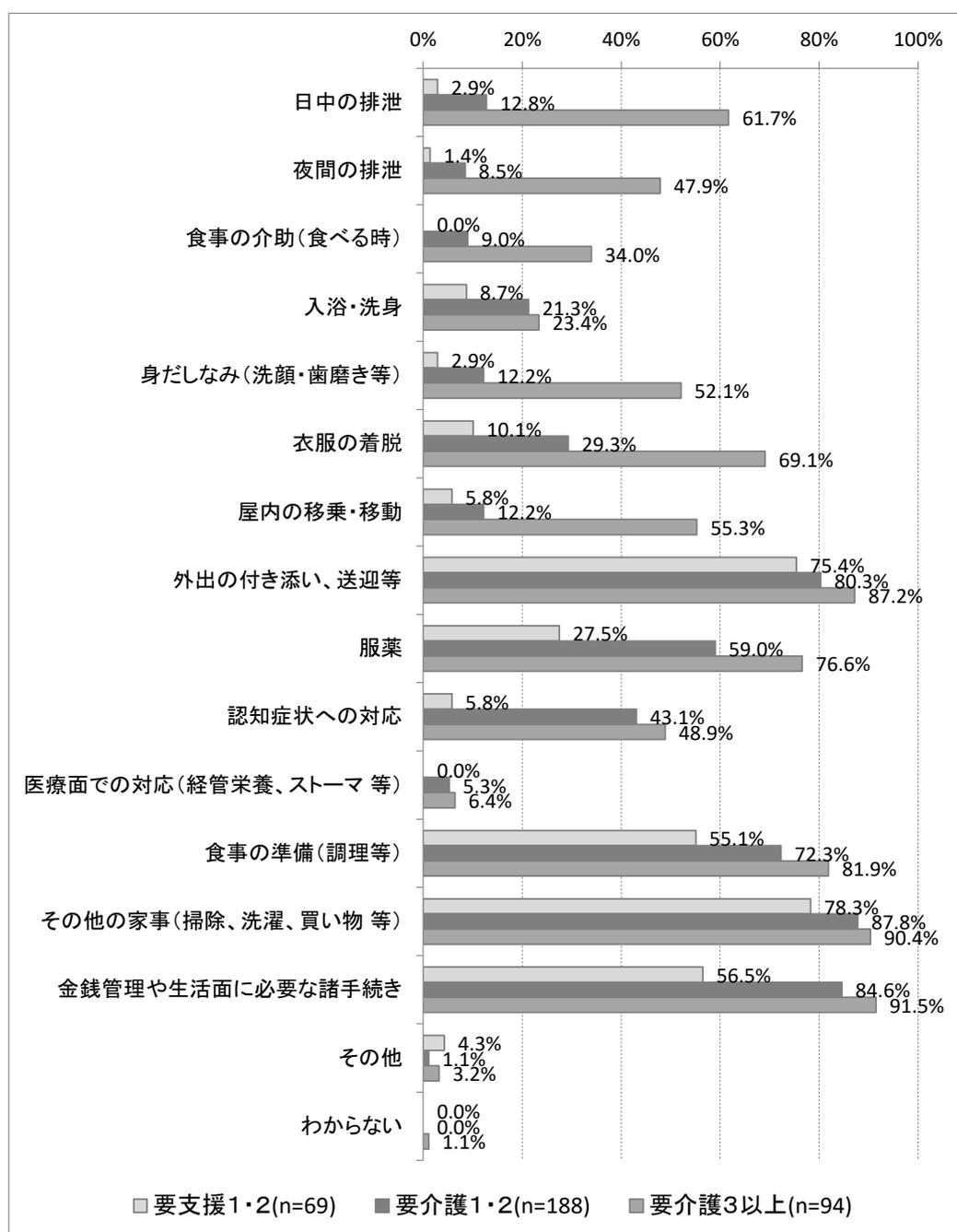


## 【主な介護者が行っている介護等（要介護度別）】

主な介護者が行っている介護等を要介護度別にみると、要支援1・2では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が78.3%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が75.4%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が56.5%、「食事の準備（調理等）」が55.1%となっています。

要介護1・2では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が87.8%と最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が84.6%、「外出の付き添い、送迎等」が80.3%、「食事の準備（調理等）」が72.3%となっています。

要介護3以上では、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が91.5%と最も高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が90.4%、「食事の準備（調理等）」が81.9%、「外出の付き添い、送迎等」が87.2%、「服薬」が76.6%、「衣服の着脱」が69.1%、「日中の排泄」が61.7%となっています。

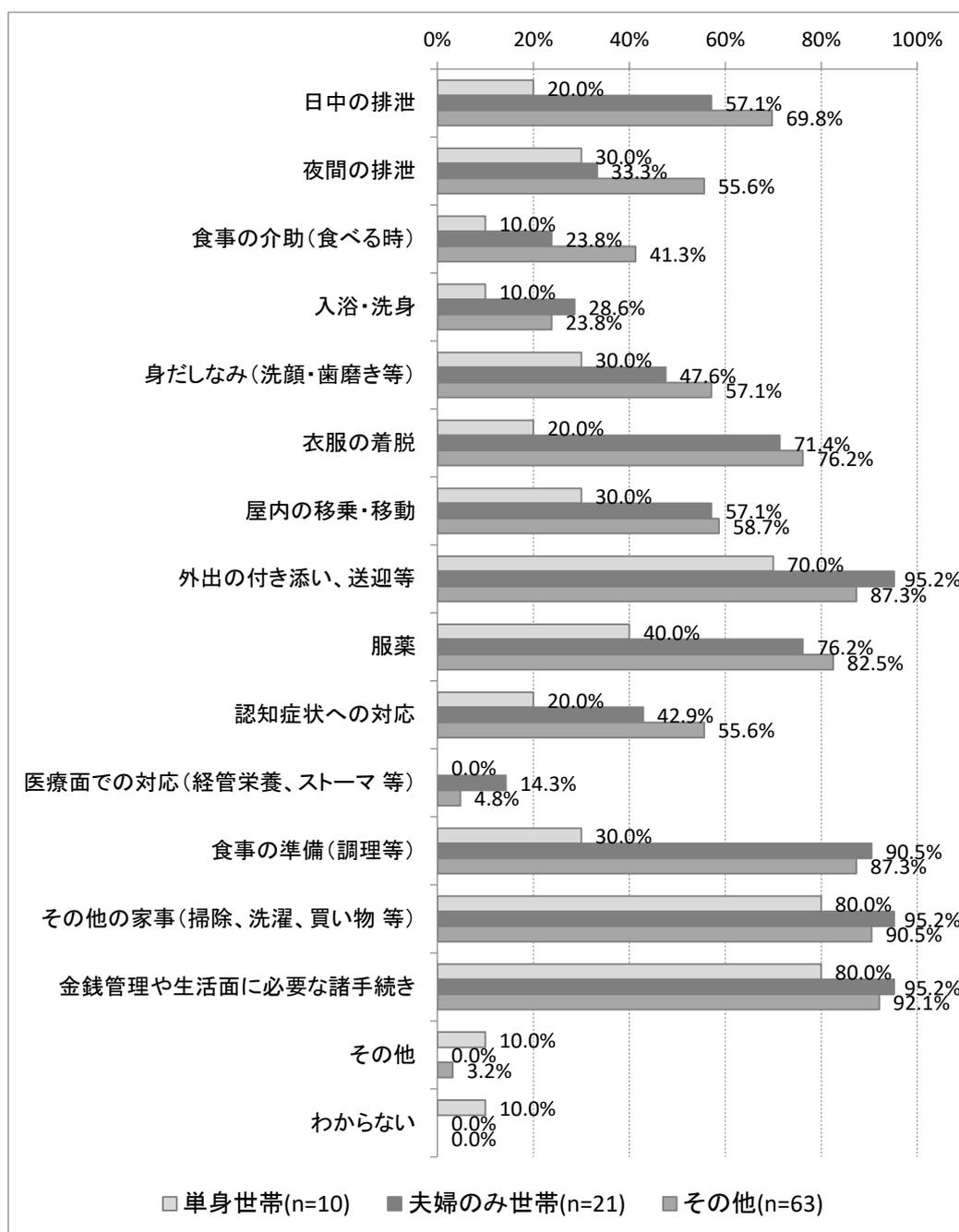


### 【主な介護者が行っている介護等（世帯類型別・要介護3以上）】

主な介護者が行っている介護等を世帯類型別にみると、単身世帯では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」と「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が同率で80.0%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が70.0%となっています。

夫婦のみ世帯では「外出の付き添い、送迎等」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が同率で95.2%と最も高く、次いで「食事の準備（調理等）」が90.5%、「服薬」が76.2%となっています。

その他では、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が92.1%と最も高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が90.5%、「外出の付き添い、送迎等」と「食事の準備（調理等）」が同率で87.3%となっています。

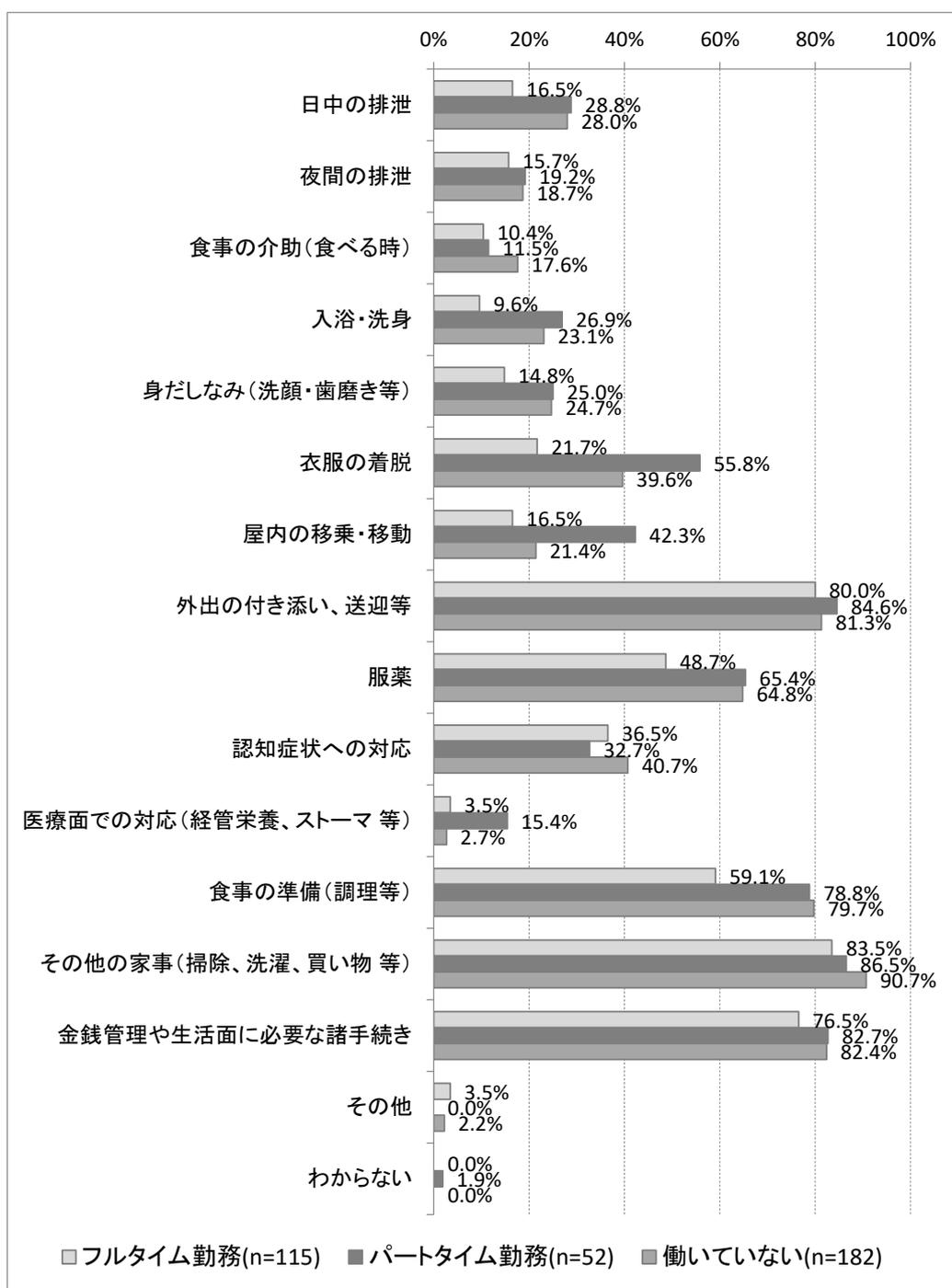


## 【主な介護者が行っている介護等（主な介護者の就労状況別）】

主な介護者が行っている介護等を主な介護者の就労状況別にみると、フルタイム勤務では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が83.5%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が80.0%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が76.5%となっています。

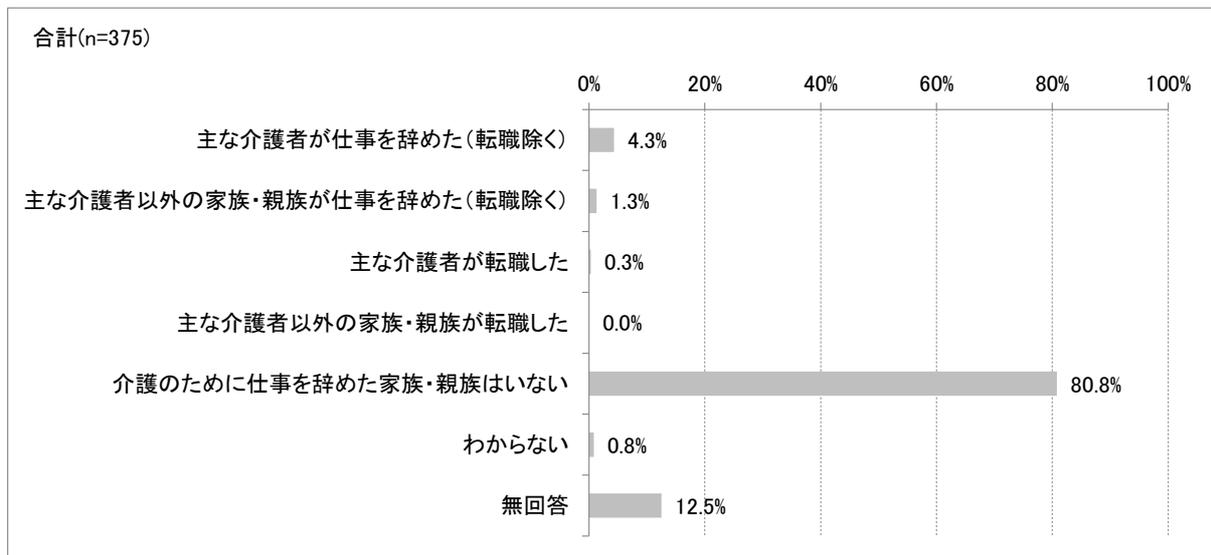
パートタイム勤務では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が86.5%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が84.6%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が82.7%となっています。

働いていないでは、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が90.7%と最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が82.4%、「外出の付き添い、送迎等」が81.3%となっています。



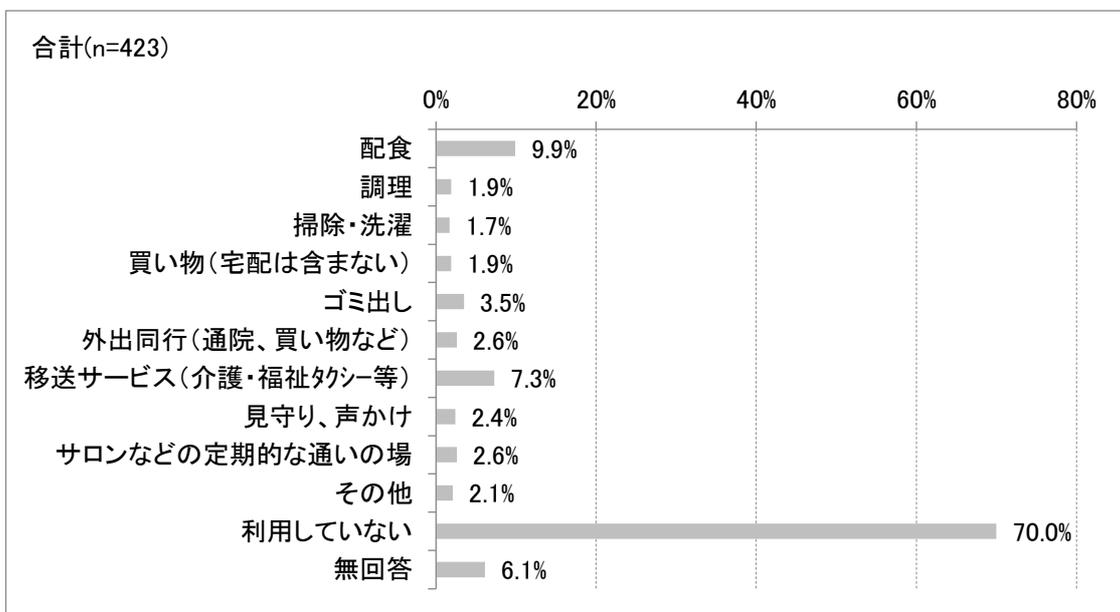
問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が80.8%と最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が4.3%となっています。



問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）

現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについては、「利用していない」の割合が70.0%と最も高くなっています。それ以外では、「配食」が9.9%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が7.3%となっています。



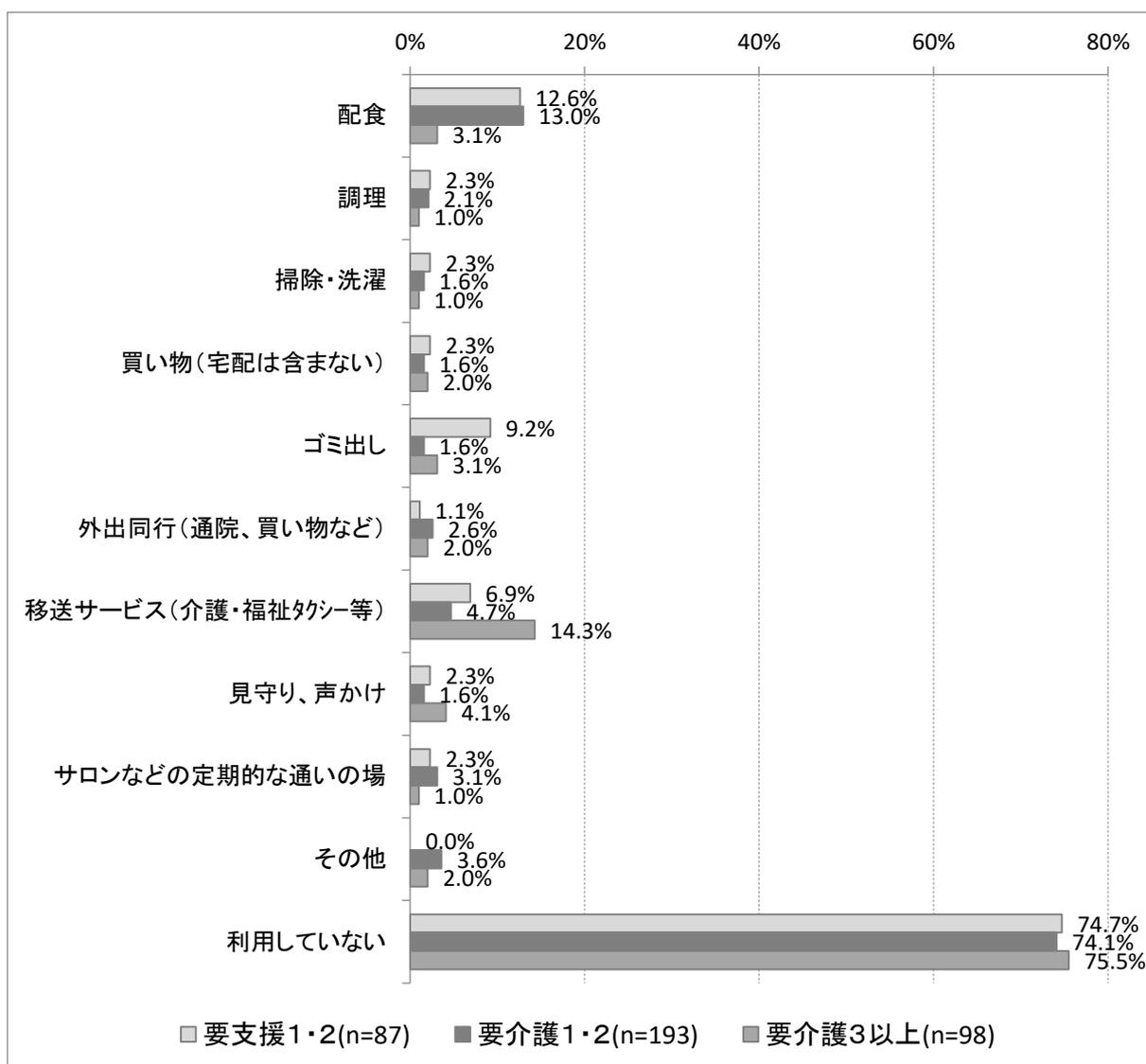
### 【現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス（要介護度別）】

現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスを要介護度別にみると、いずれにおいても「利用していない」が最も高い割合を示しています。

それ以外の割合をみると、要支援1・2では、「配食」の割合が12.6%と最も高く、次いで「ごみ出し」が9.2%となっています。

要介護1・2では、「配食」の割合が13.0%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が4.7%となっています。

要介護3以上では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が14.3%と最も高く、次いで「見守り、声かけ」が4.1%となっています。



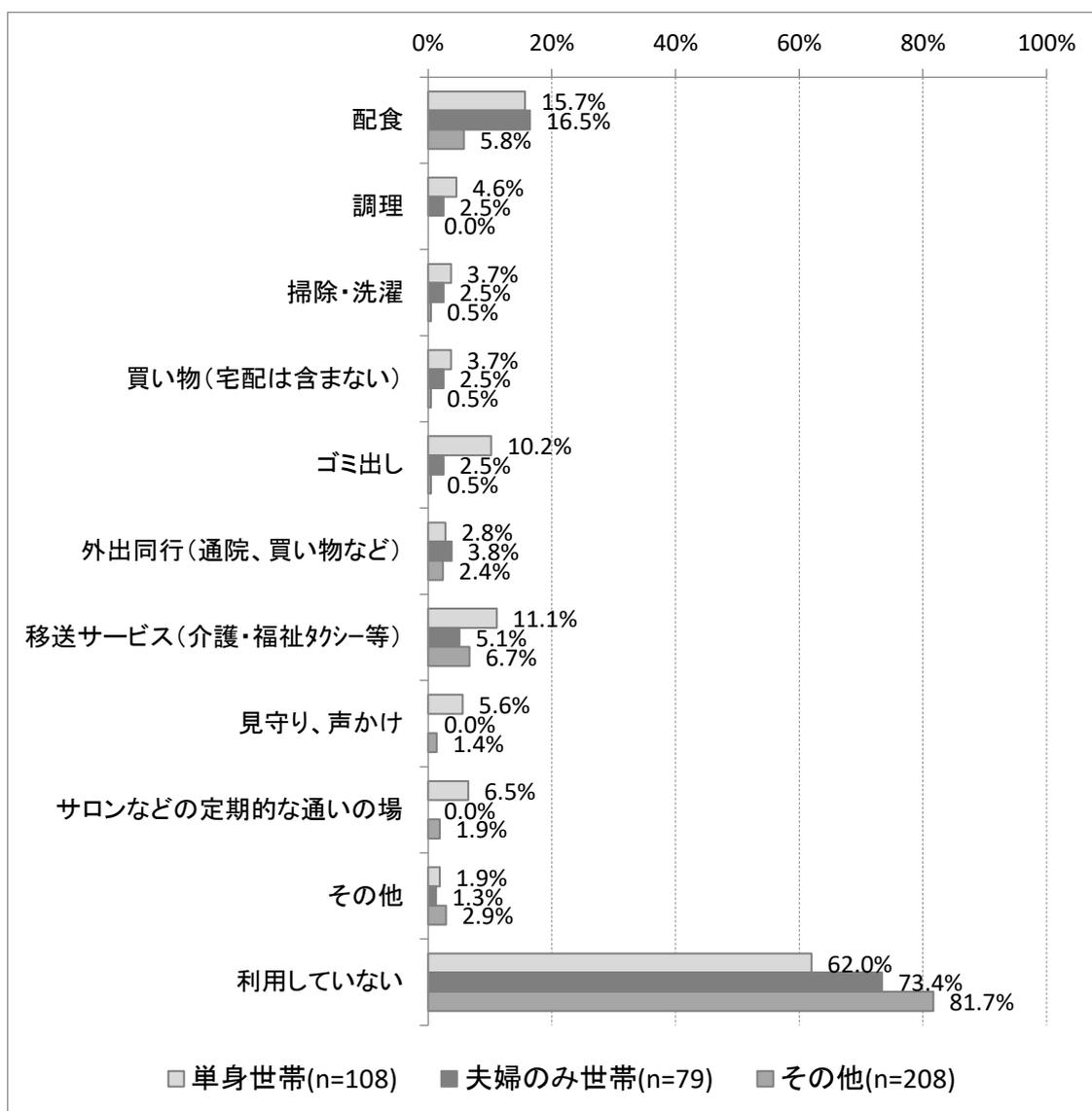
### 【現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス（世帯類型別）】

現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスを世帯類型別にみると、いずれの世帯においても「利用していない」が最も高い割合を示しています。

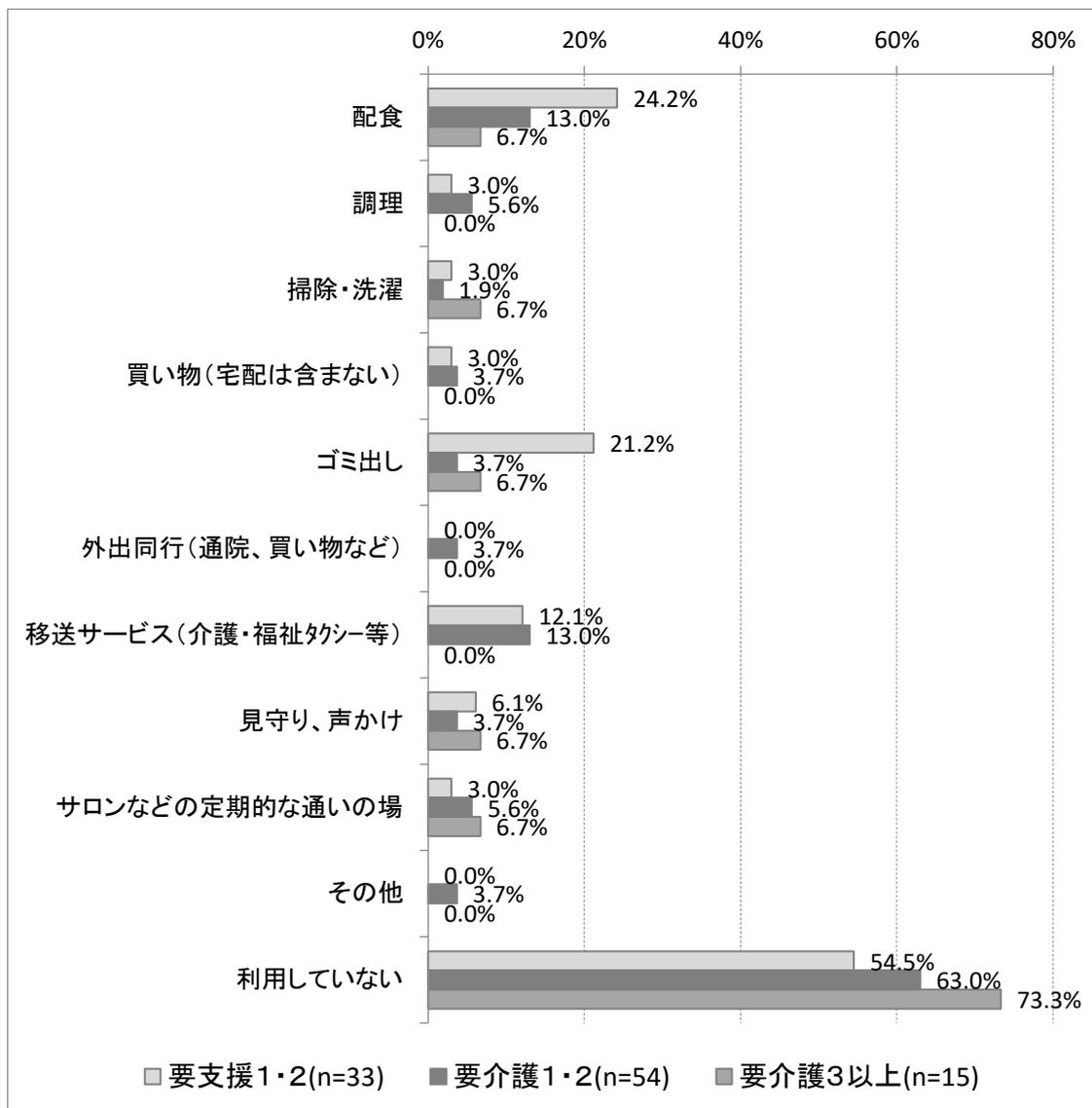
それ以外の割合をみると、単身世帯では、「配食」の割合が15.7%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が11.1%、「ゴミ出し」が10.2%となっています。

夫婦のみ世帯では、「配食」の割合が16.5%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が5.1%、「外出同行（通院、買い物など）」が3.8%となっています。

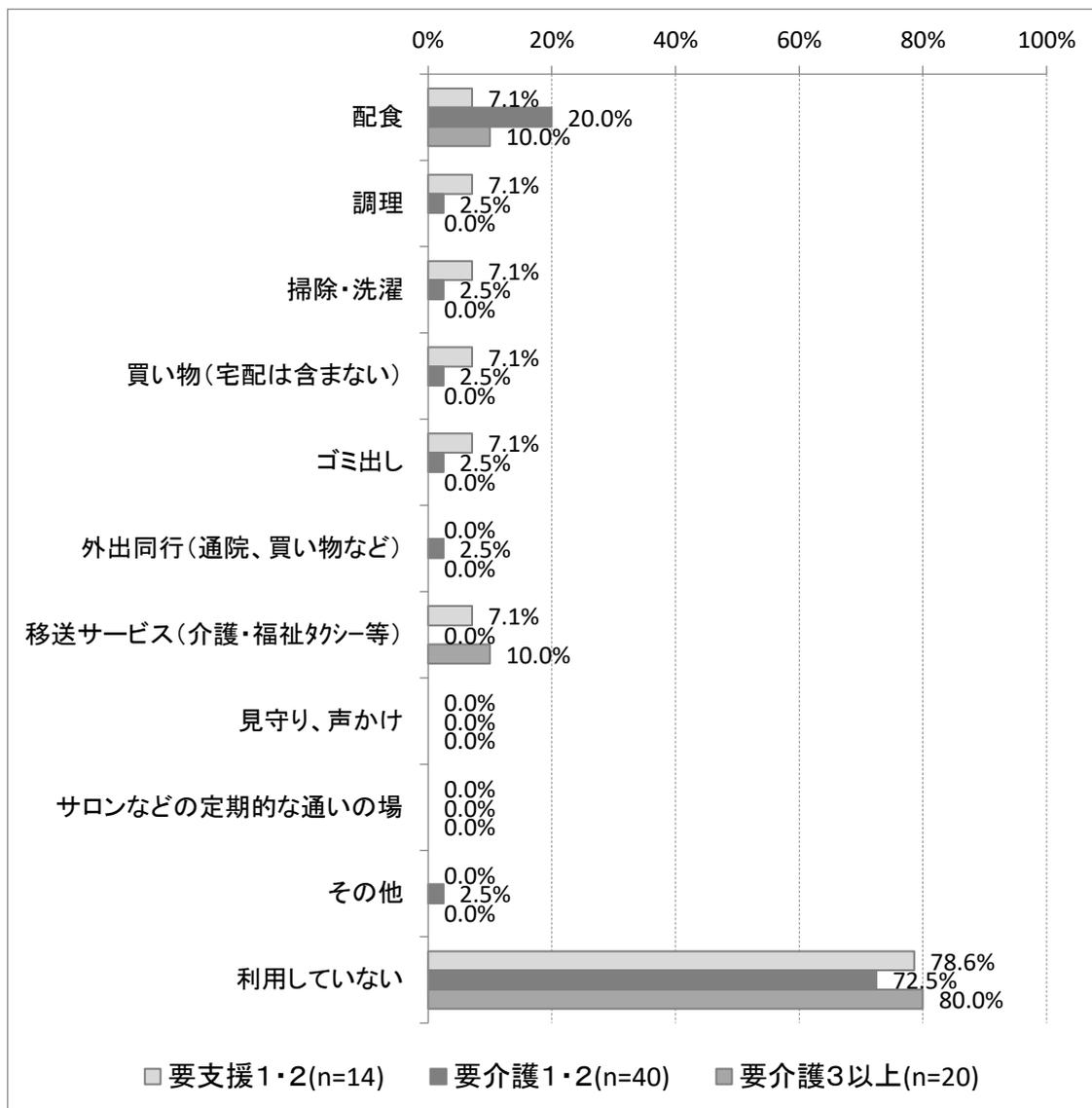
その他では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が6.7%と最も高く、次いで「配食」が5.8%となっています。



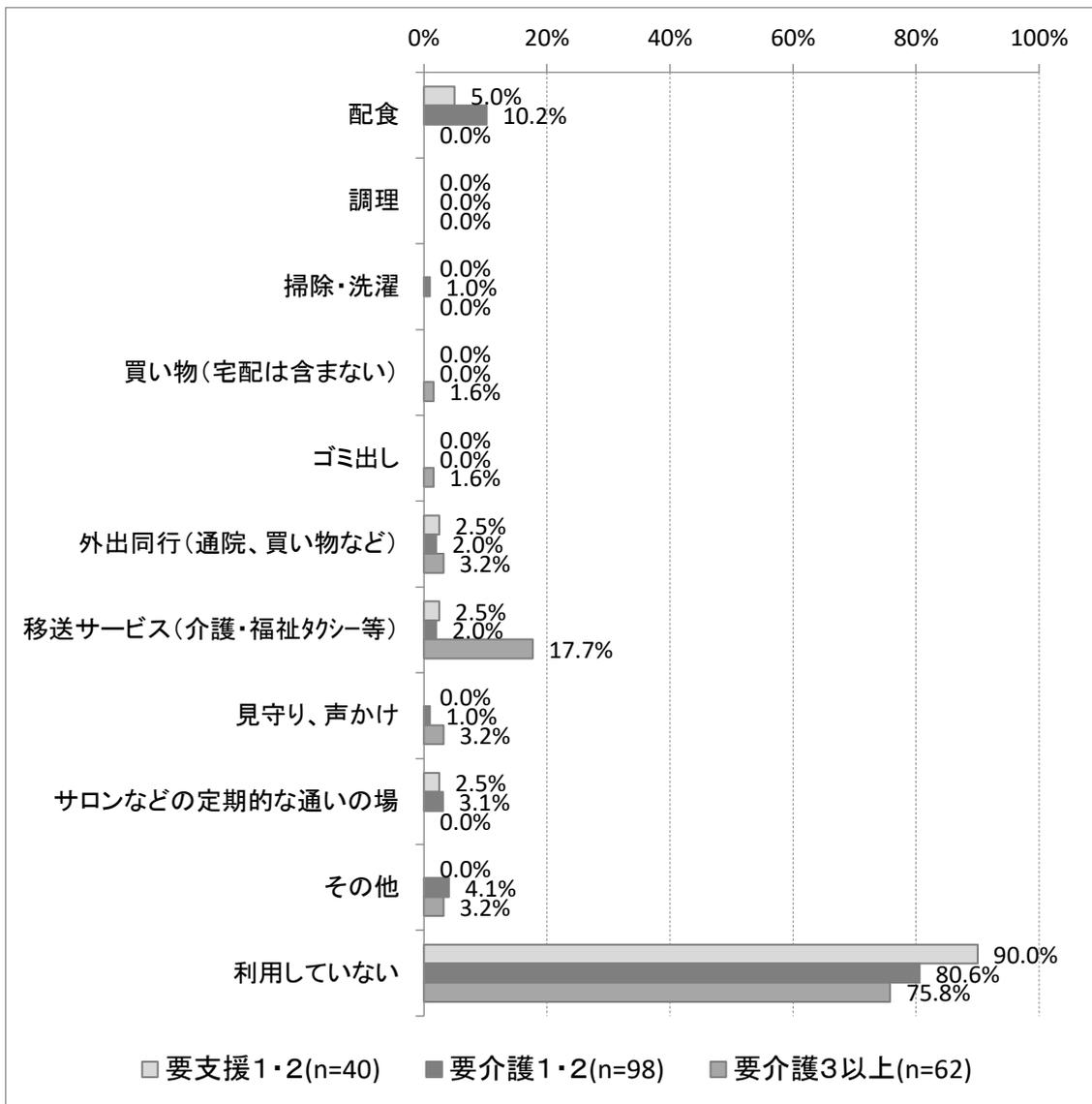
【現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス（要介護度別・単身世帯）】



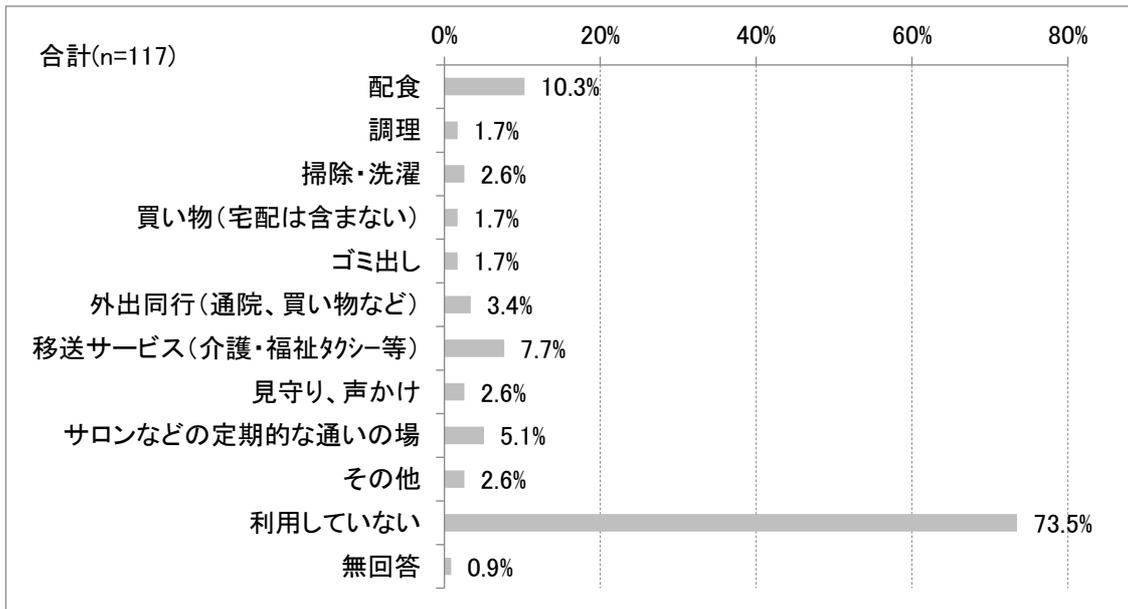
【現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス（要介護度別・夫婦のみ世帯）】



【現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス（要介護度別・その他）】

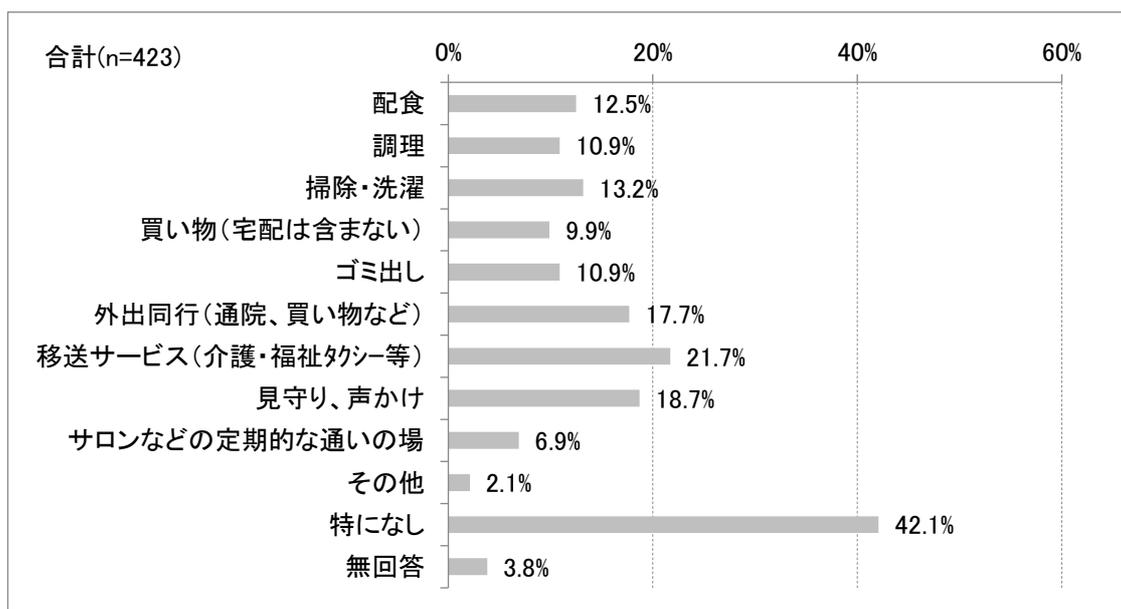


【現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス（フルタイム勤務）】



問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）については、「特になし」の割合が42.1%と最も高くなっています。それ以外では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が21.7%と最も高く、次いで「見守り、声かけ」が18.7%、「外出同行（通院、買い物など）」が17.7%となっています。

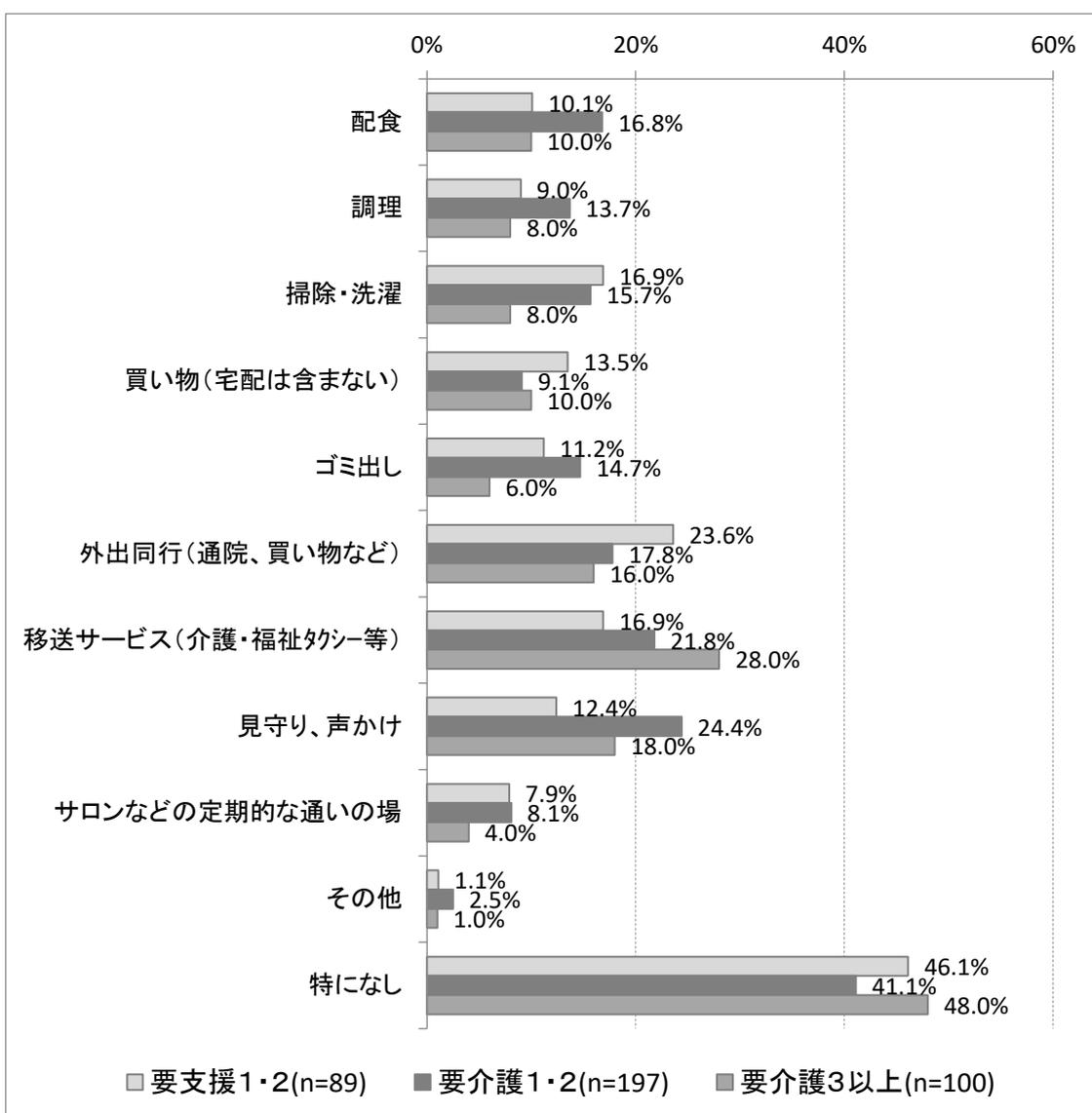


### 【必要と感じる支援・サービス（要介護度別）】

必要と感じる支援・サービスについて、「特になし」以外の割合を要介護度別にみると、要支援1・2では、「外出同行（通院、買い物など）」の割合が23.6%で最も高く、次いで「掃除・洗濯」と「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が同率で16.9%、「買い物（宅配は含まない）」が13.5%となっています。

要介護1・2では、「見守り、声かけ」の割合が24.4%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が21.8%、「外出同行（通院、買い物など）」が17.8%となっています。

要介護3以上では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が28.0%と最も高く、次いで「見守り、声かけ」が18.0%、「外出同行（通院、買い物など）」が16.0%となっています。

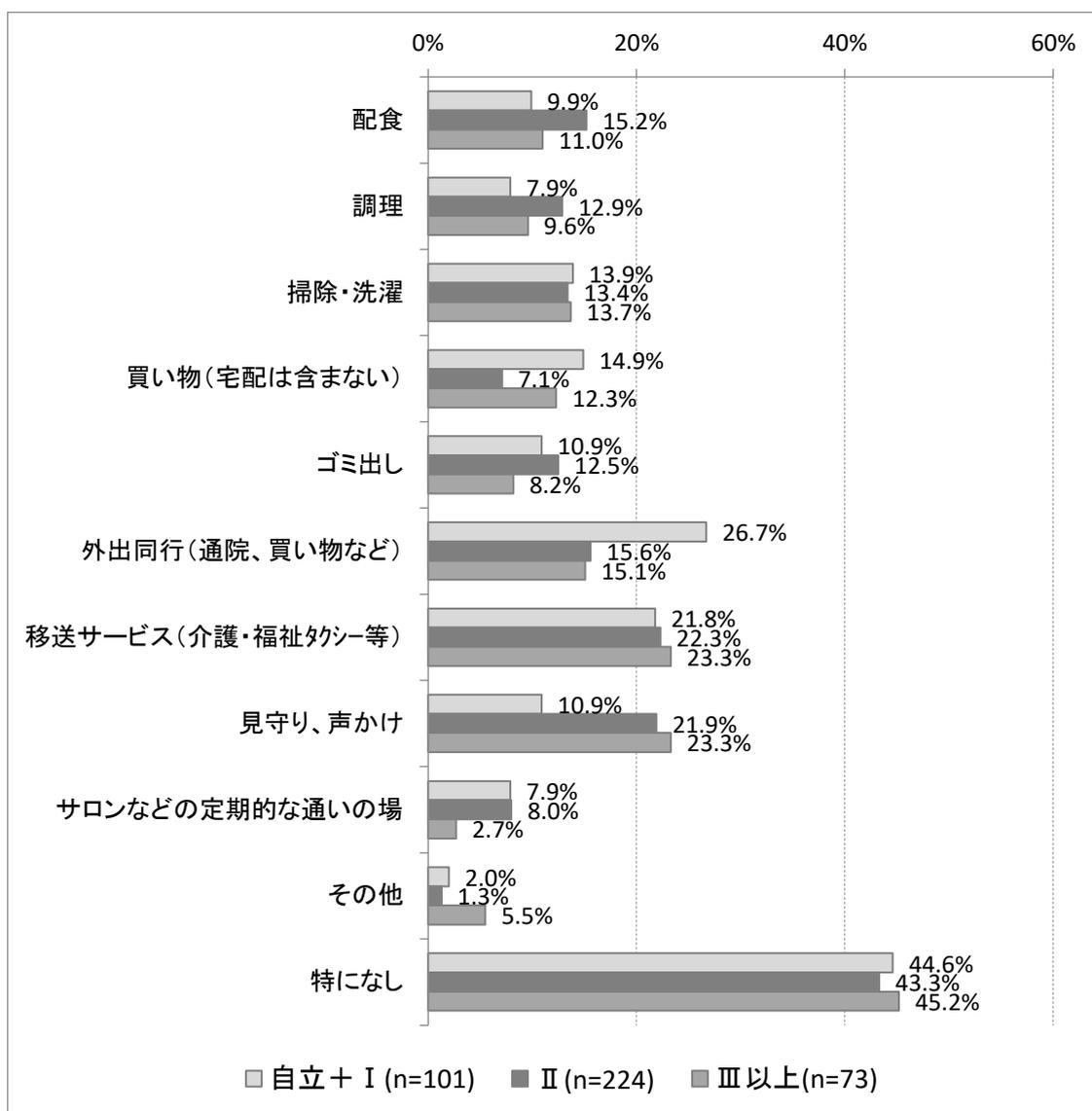


### 【必要と感じる支援・サービス（認知症高齢者自立度別）】

必要と感じる支援・サービスについて、「特になし」以外の割合を認知症高齢者自立度別にみると、自立+Ⅰでは、「外出同行（通院、買い物など）」の割合が26.7%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が21.8%となっています。

Ⅱでは、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が22.3%と最も高く、次いで「見守り、声かけ」が21.9%、「外出同行（通院、買い物など）」が15.6%、「配食」が15.2%となっています。

Ⅲ以上では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」と「見守り、声かけ」の割合が同率で23.3%と最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が15.1%、「掃除・洗濯」が13.7%となっています。

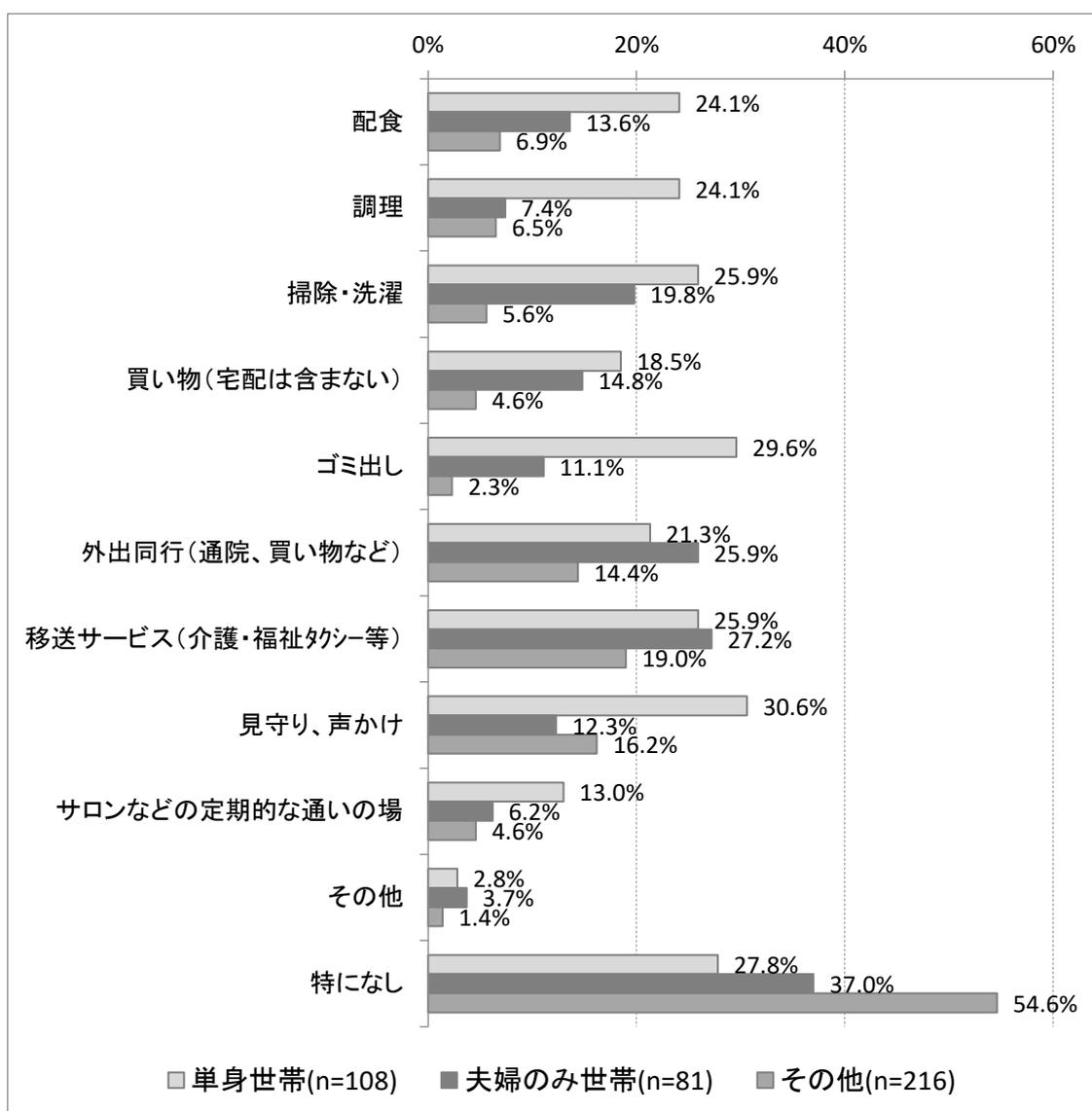


### 【必要と感じる支援・サービス（世帯類型別）】

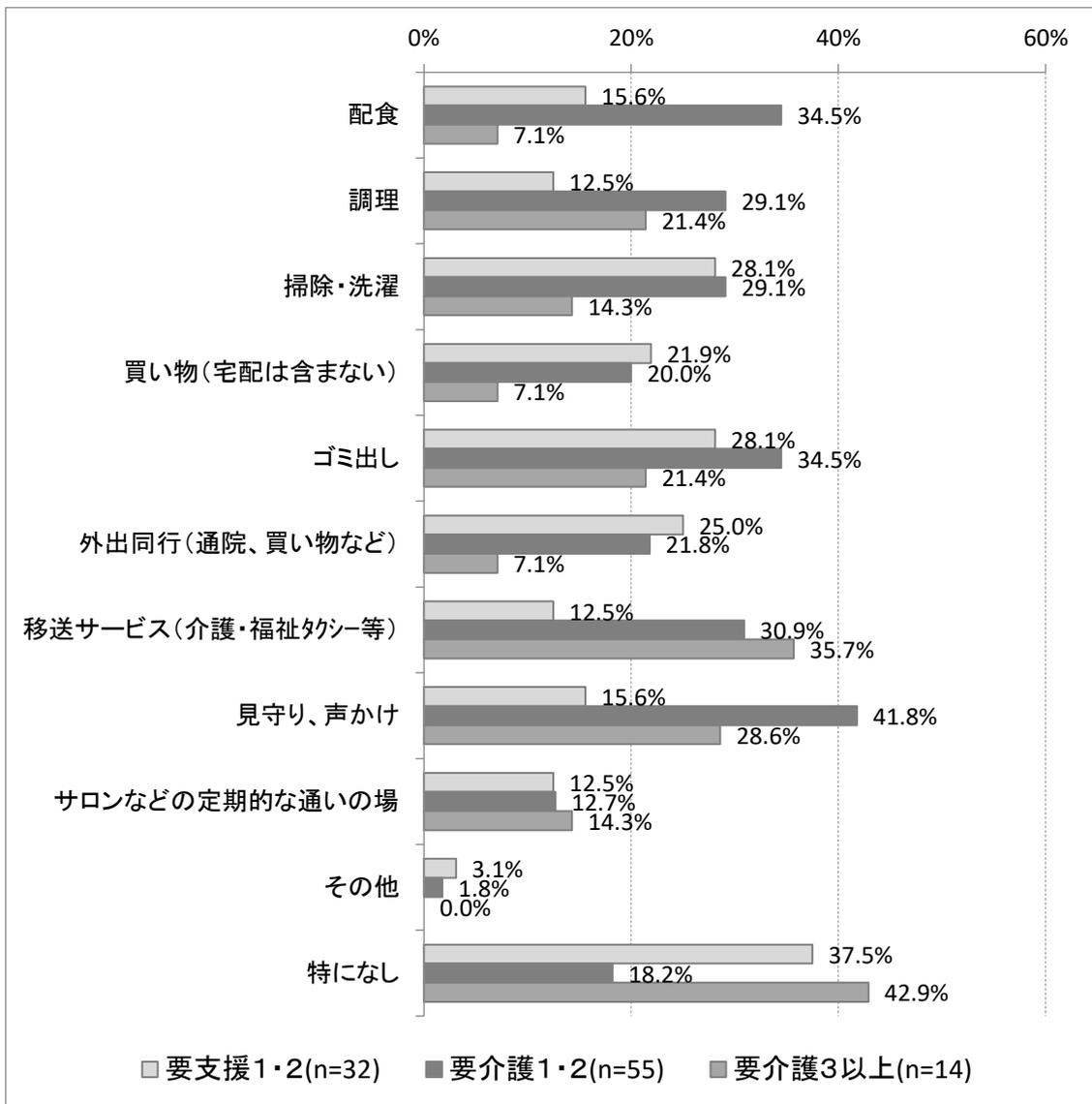
必要と感じる支援・サービスについて、「特になし」以外の割合を世帯類型別にみると、単身世帯では、「見守り、声かけ」の割合が30.6%で最も高く、次いで「ごみ出し」が29.6%、「掃除・洗濯」と「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が同率で25.9%となっています。

夫婦のみ世帯では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が27.2%と最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が25.9%、「掃除・洗濯」が19.8%となっています。

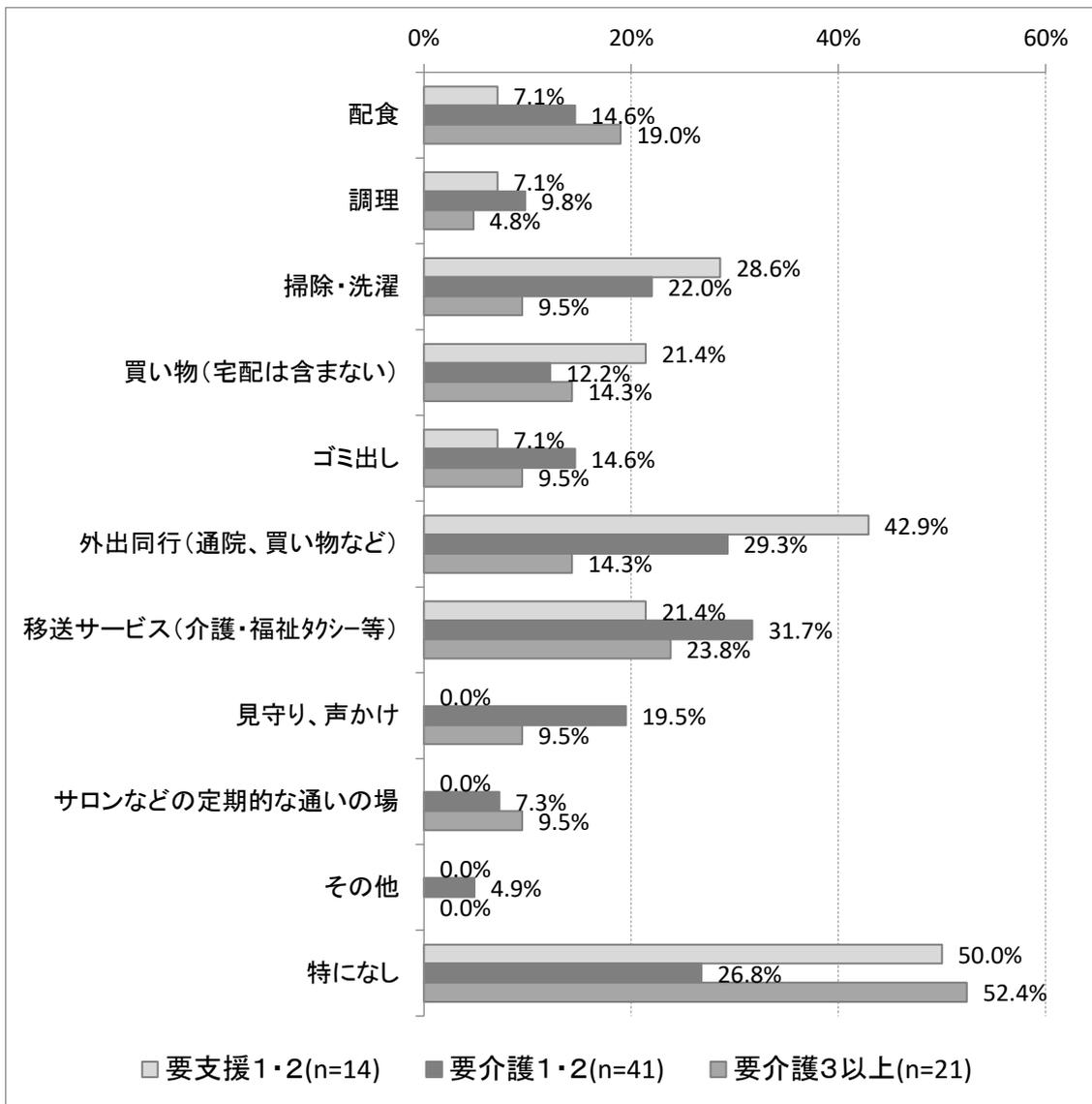
その他では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が19.0%と最も高く、次いで「見守り、声かけ」が16.2%、「外出同行（通院、買い物など）」が14.4%となっています。



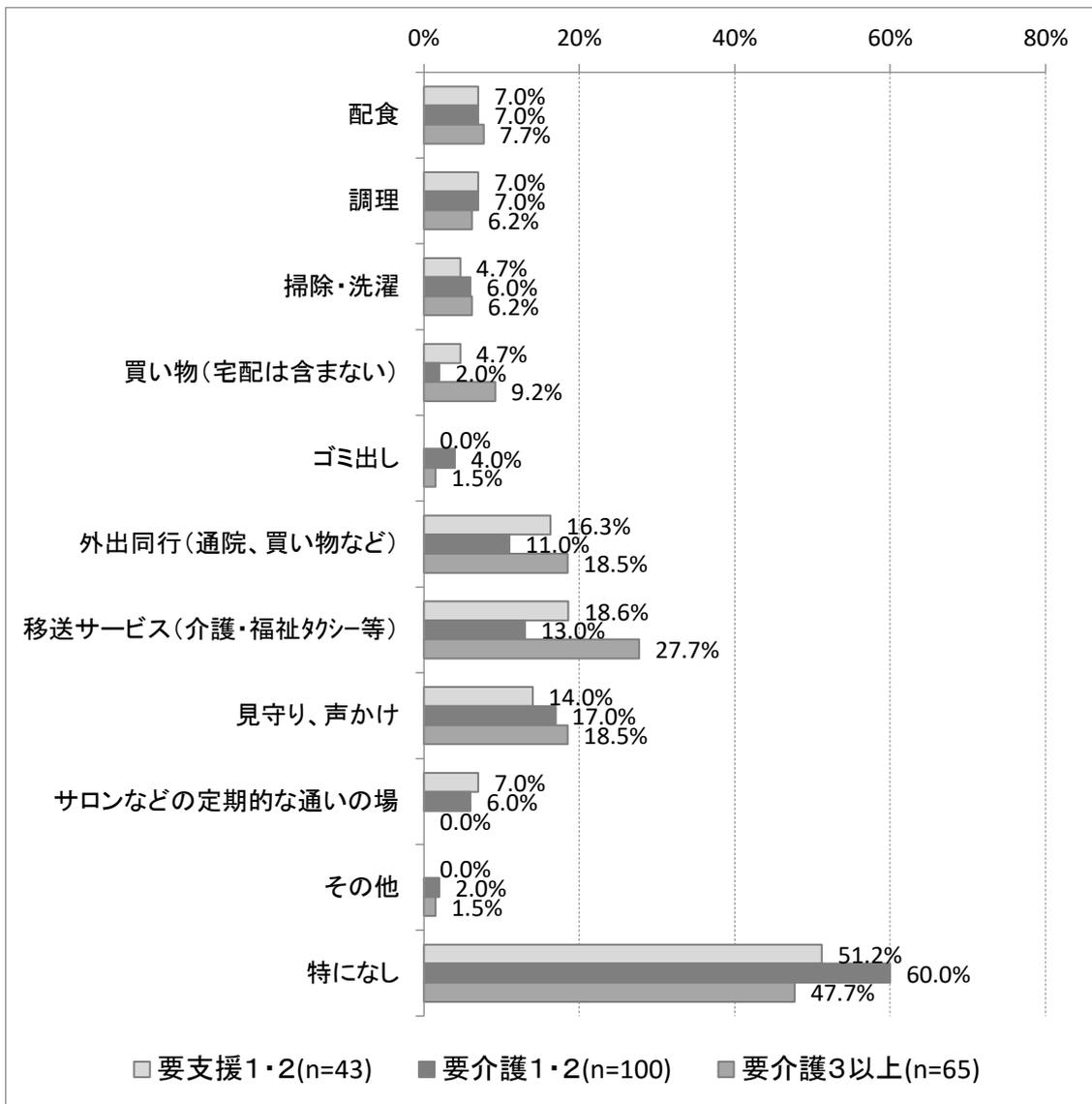
【必要と感じる支援・サービス（要介護度別・単身世帯）】



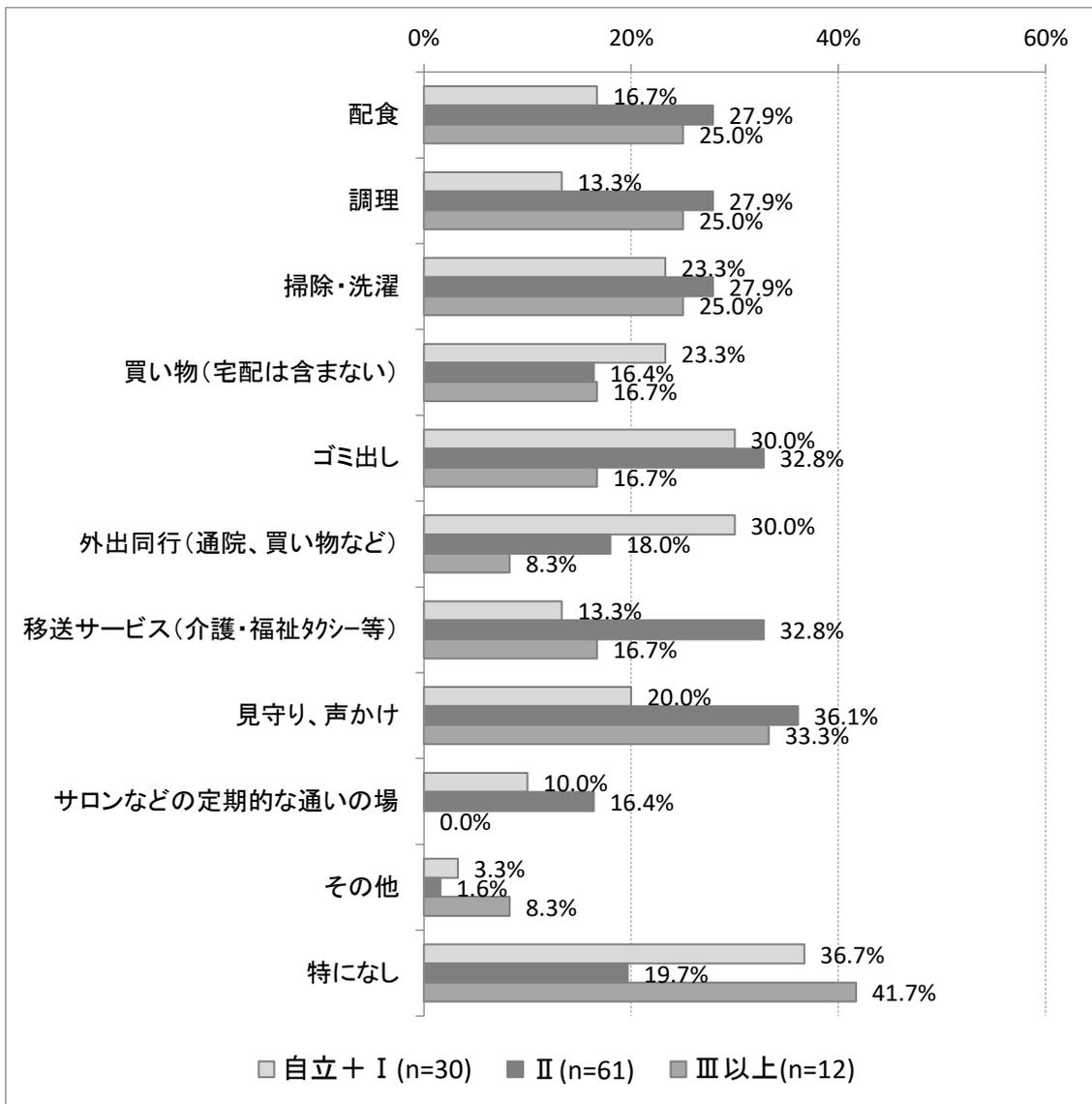
【必要と感じる支援・サービス（要介護度別・夫婦のみ世帯）】



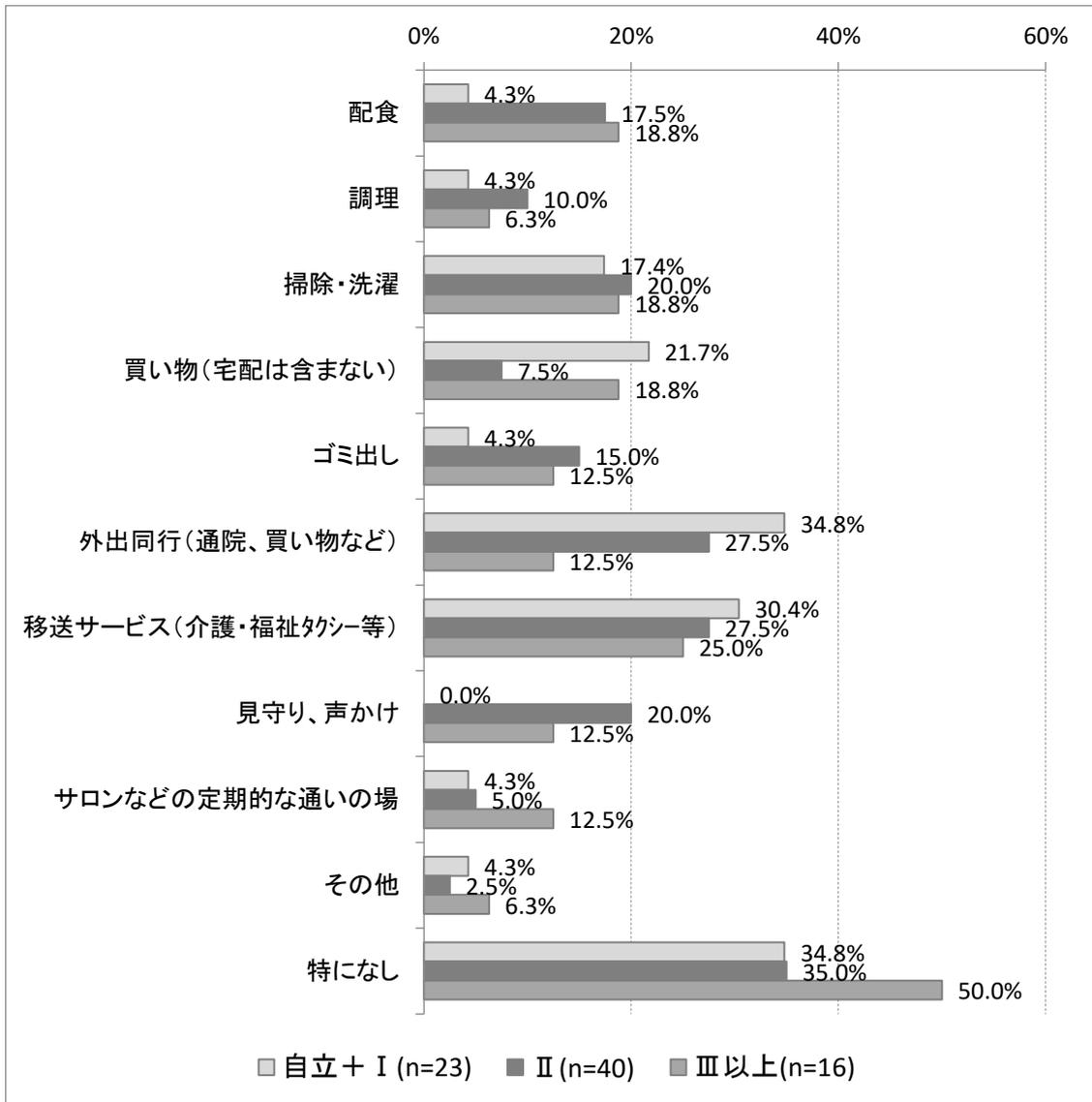
【必要と感じる支援・サービス（要介護度別・その他）】



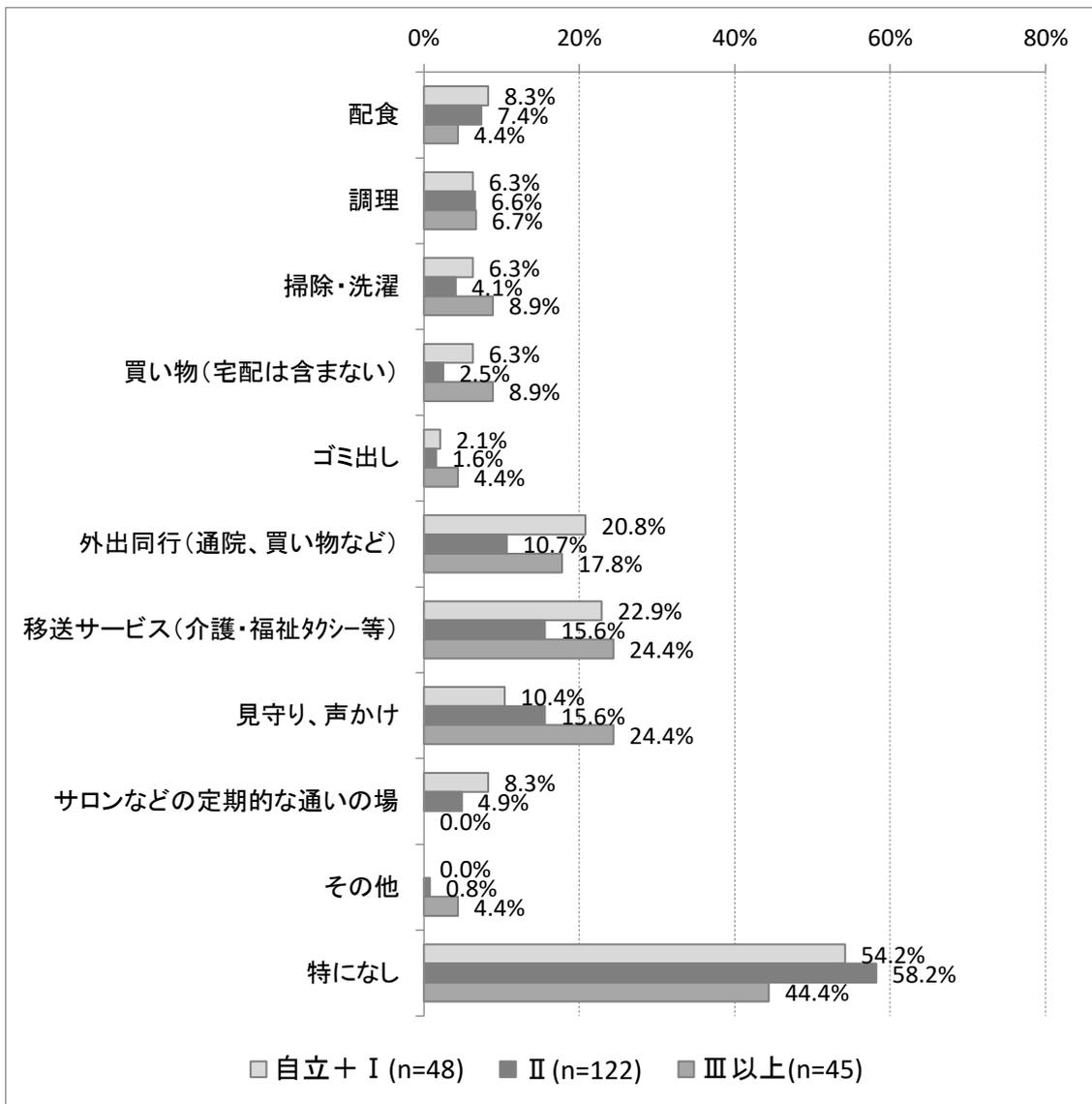
【必要と感じる支援・サービス（認知症高齢者自立度別・単身世帯）】



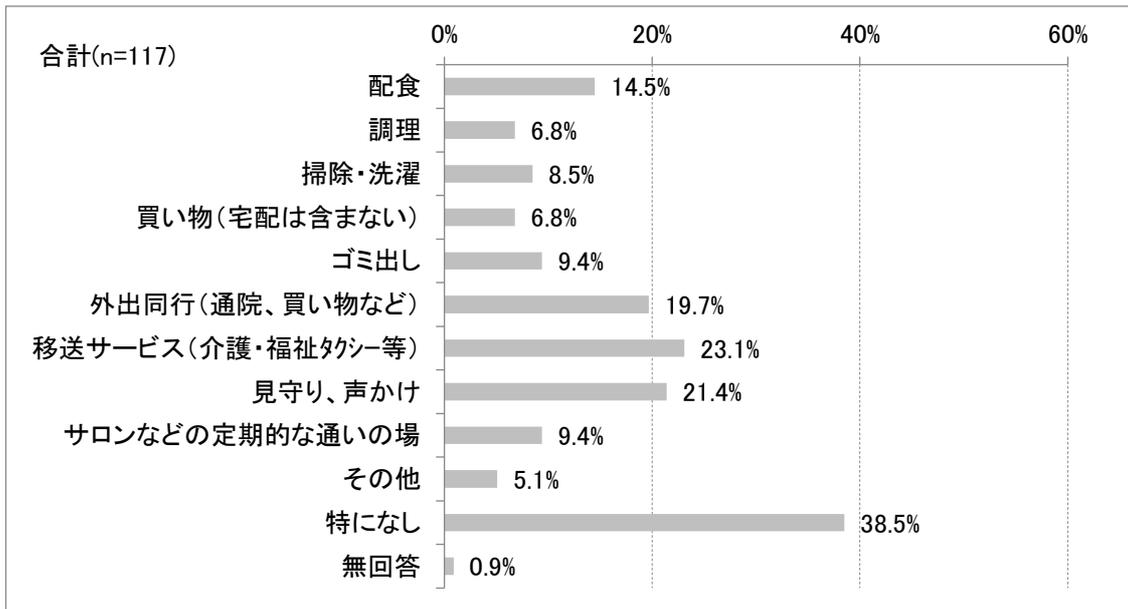
【必要と感じる支援・サービス（認知症高齢者自立度別・夫婦のみ世帯）】



【必要と感じる支援・サービス（認知症高齢者自立度別・その他）】

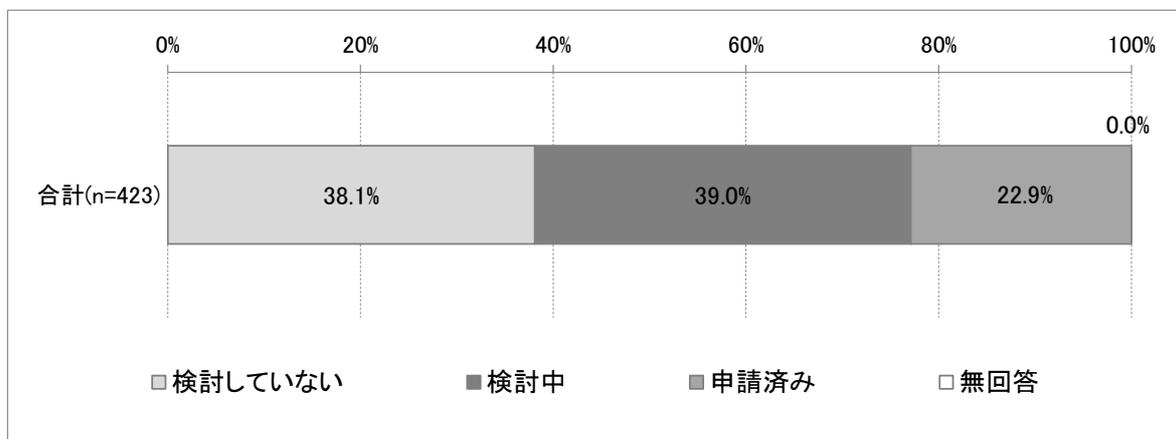


【必要と感じる支援・サービス（フルタイム勤務）】



問 10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、1つ選択してください

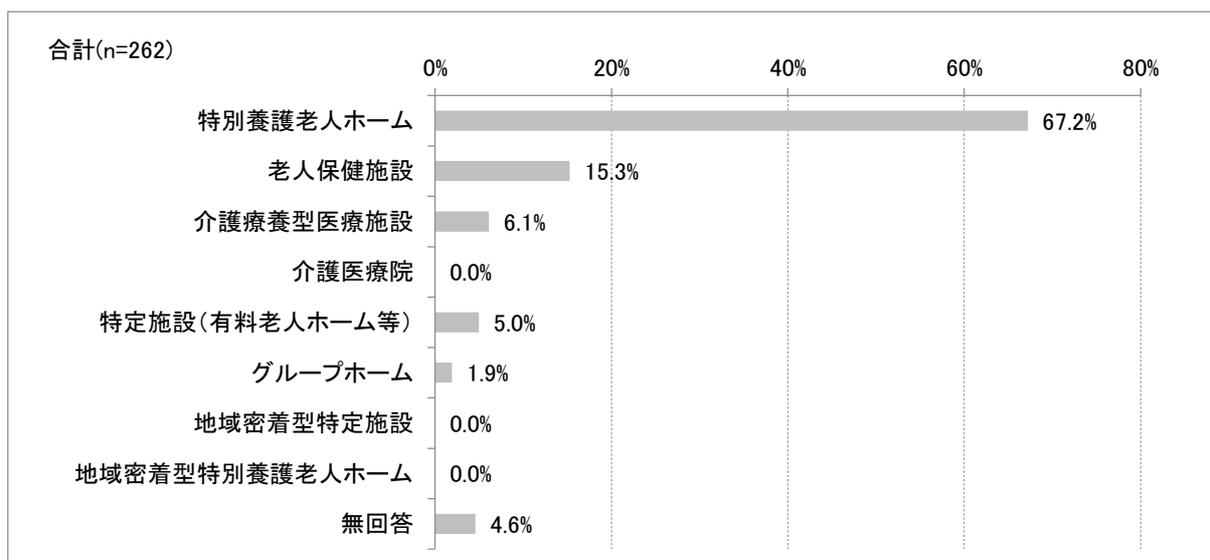
施設等への入所・入居の検討状況については、「検討中」の割合が 39.0%と最も高く、次いで「検討していない」が 38.1%、「申請済み」が 22.9%となっています。



※本設問で「無回答」のまま次の【入所・入居を検討している施設】に回答するケースが多かったため、前回調査の結果を基に本設問の「2 検討中」と「3 すでに入所・入居申し込みをしている」（申請済み）の比率を按分し、結果に反映させた。そのため、本設問以降のクロス集計グラフと回答数が異なっている。

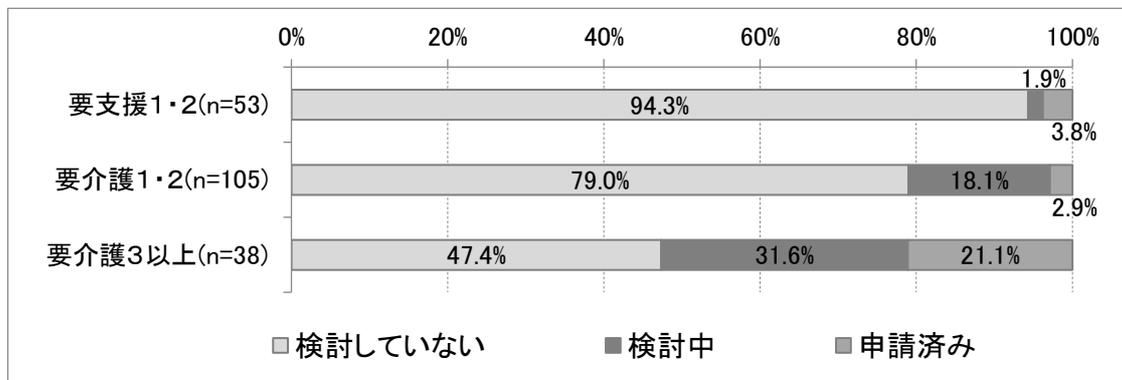
【入所・入居を検討している施設】

入所・入居を「検討中」または「申請済み」の施設は、「特別養護老人ホーム」の割合が 67.2%と最も高く、次いで「老人保健施設」が 15.3%、「介護療養型医療施設」が 6.1%、「特定施設（有料老人ホーム等）」が 5.0%、「グループホーム」が 1.9%となっています。



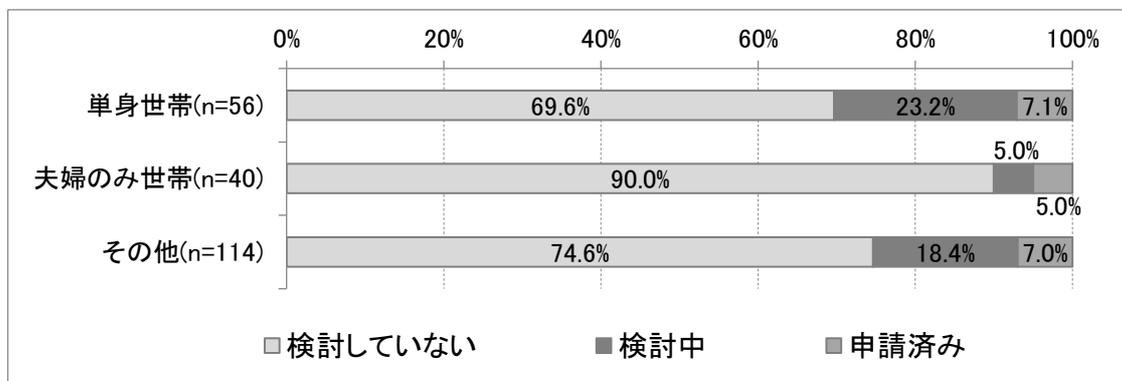
### 【施設等への入所・入居の検討状況（要介護度別）】

施設等への入所・入居の検討状況を要介護度別にみると、要介護度が上がるにつれて「検討していない」の割合が低くなり、「検討中」と「申請済み」の割合が高くなる傾向がみられます。



### 【施設等への入所・入居の検討状況（世帯類型別）】

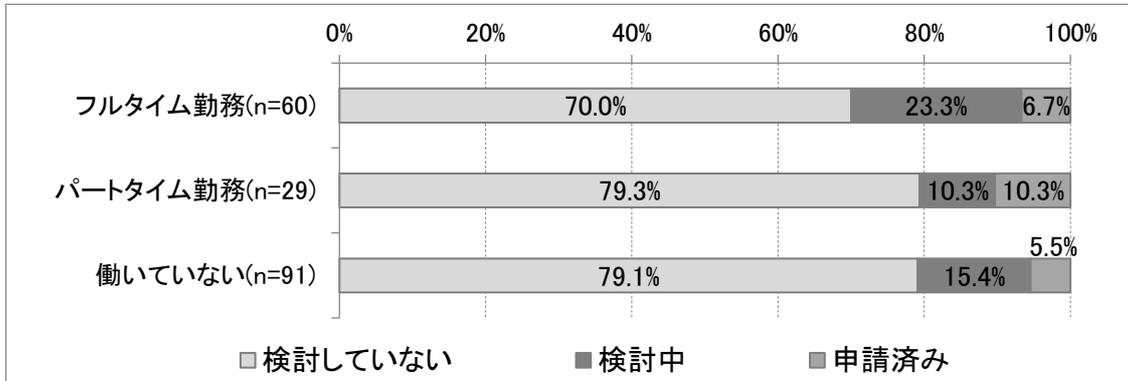
施設等への入所・入居の検討状況を世帯類型別にみると、いずれの世帯においても「検討していない」が最も高い割合を示していますが、夫婦のみ世帯が90.0%、その他が74.6%であるのに対し、単身世帯では69.6%と比較的低くなっています。一方、「検討中」の割合については、単身世帯が23.2%と高くなっています。



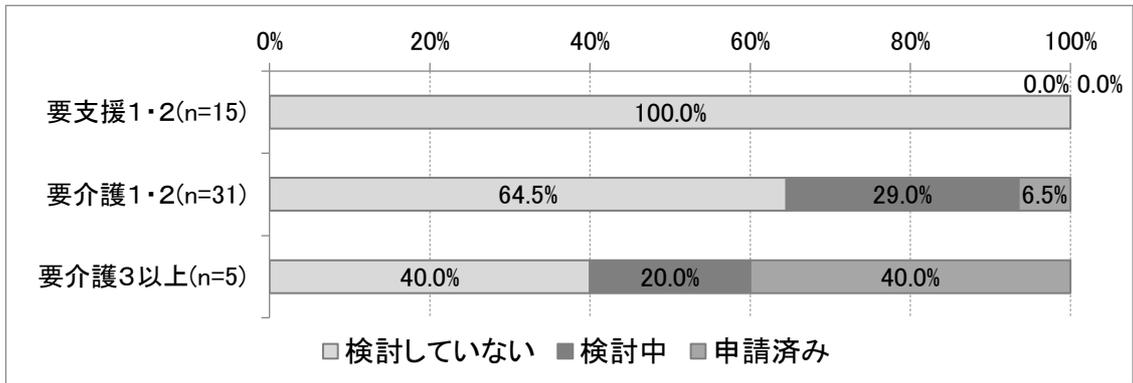
### 【施設等への入所・入居の検討状況（主な介護者の就労状況別）】

施設等への入所・入居の検討状況について、いずれの就労状況においても「検討していない」が最も高い割合を示しています。

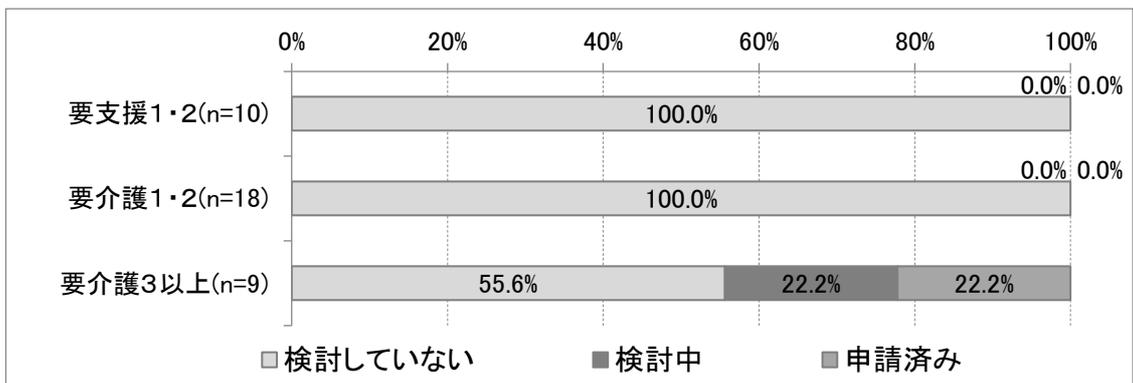
「申請済み」の割合をみると、パートタイム勤務のみが 10.3%と 1 割を超えています。



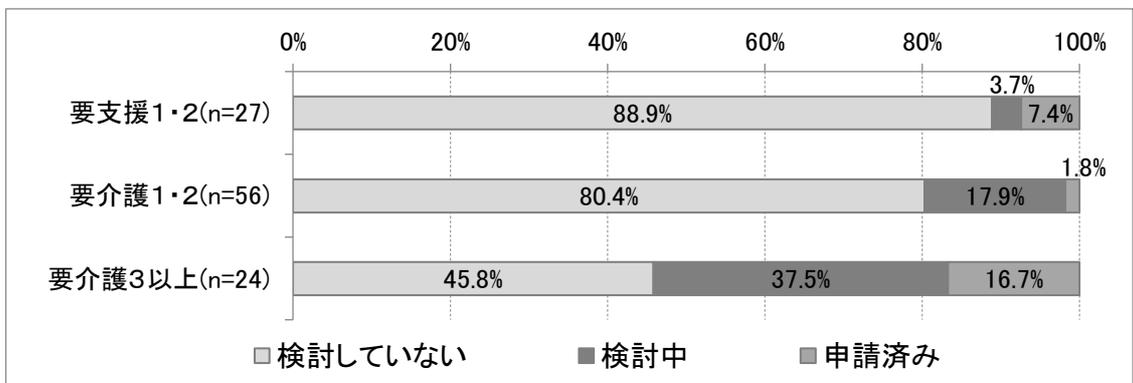
【施設等への入所・入居の検討状況（要介護度別・単身世帯）】



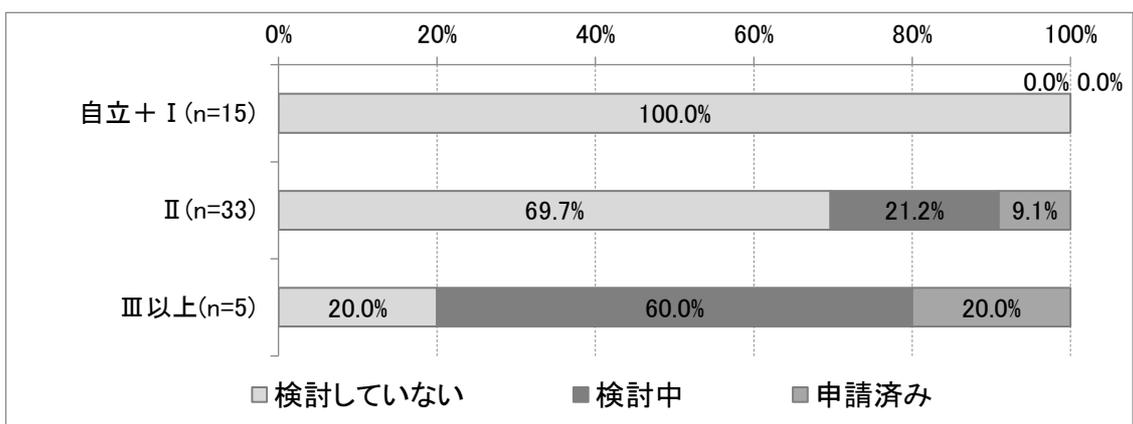
【施設等への入所・入居の検討状況（要介護度別・夫婦のみ世帯）】



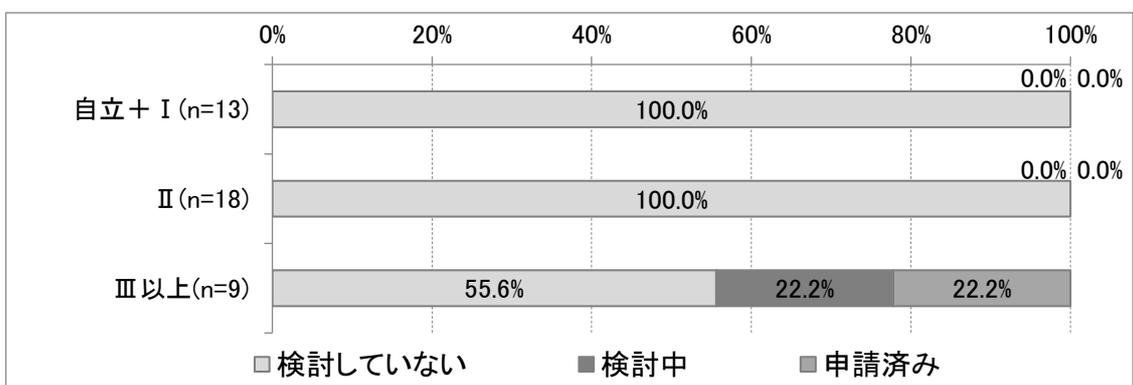
【施設等への入所・入居の検討状況（要介護度別・その他）】



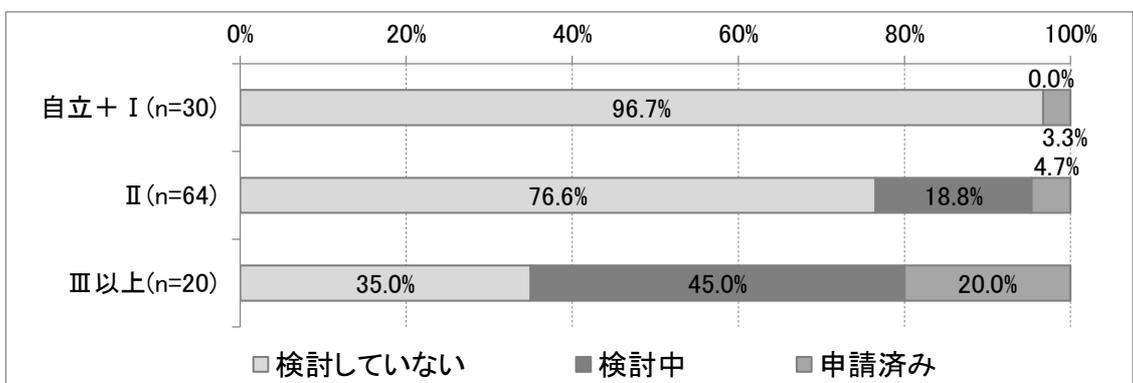
【施設等への入所・入居の検討状況（認知症高齢者自立度別・単身世帯）】



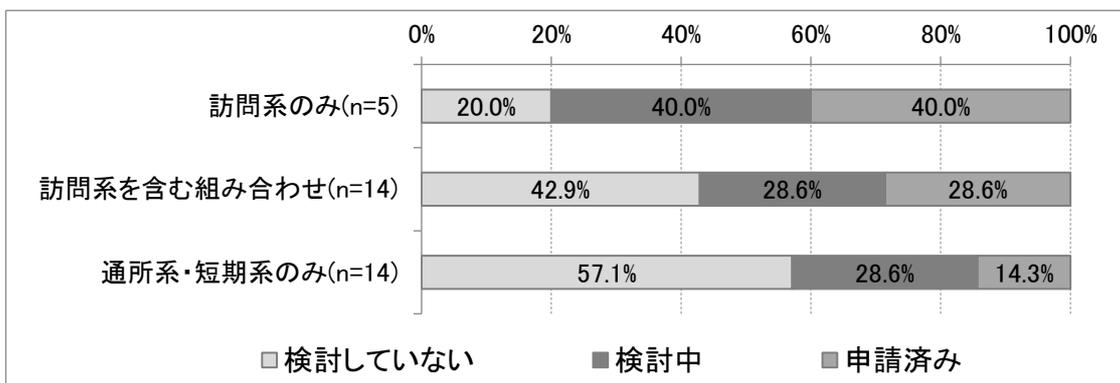
【施設等への入所・入居の検討状況（認知症高齢者自立度別・夫婦のみ世帯）】



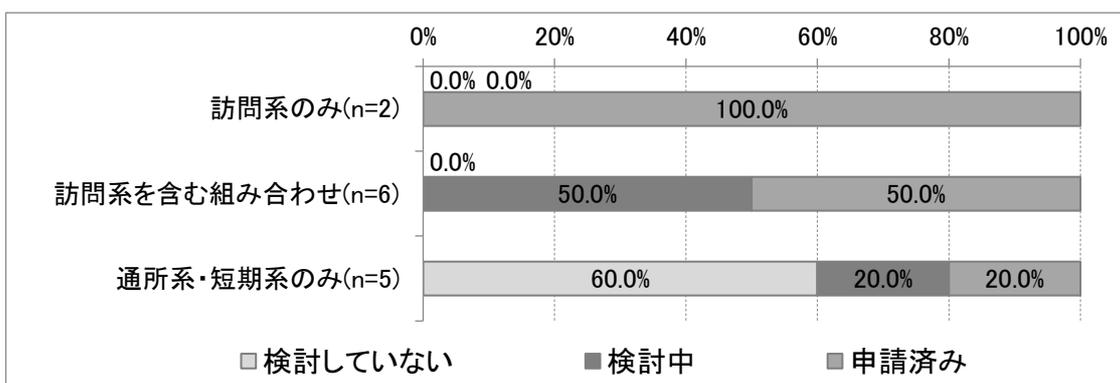
【施設等への入所・入居の検討状況（認知症高齢者自立度別・その他）】



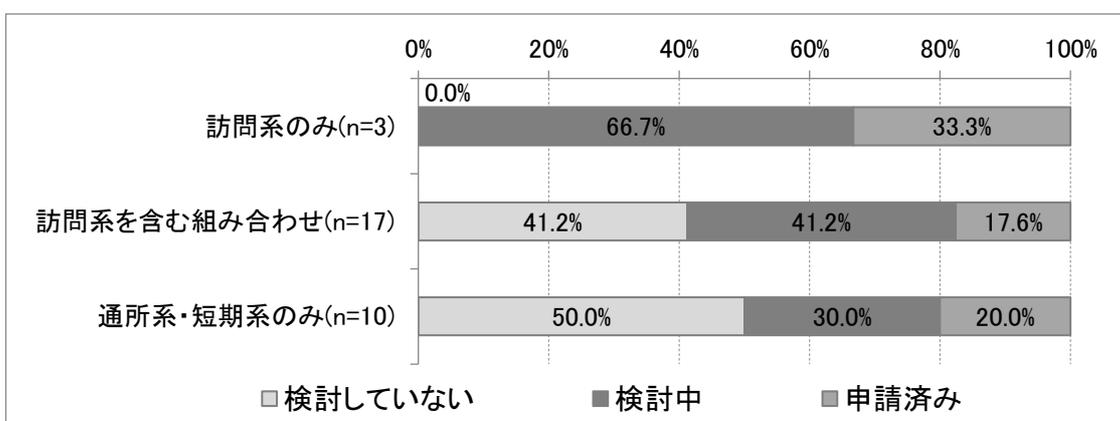
【施設等への入所・入居の検討状況（サービス利用の組み合わせ別・要介護3以上）】



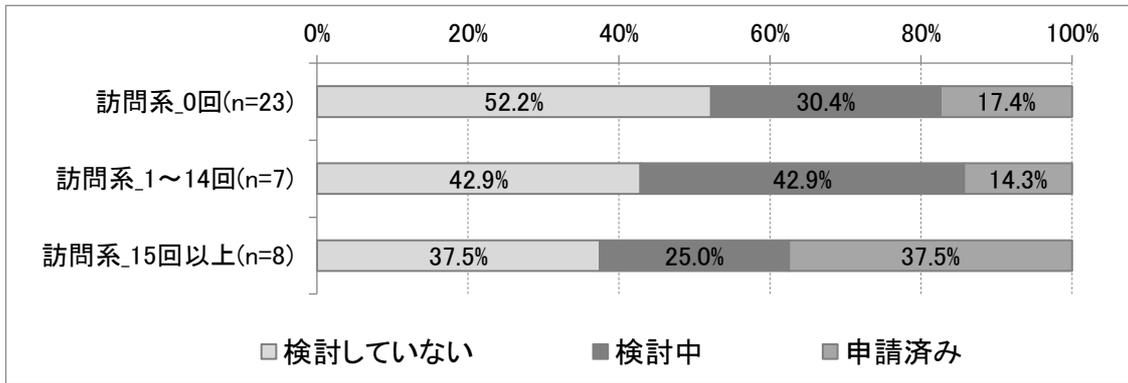
【施設等への入所・入居の検討状況（サービス利用の組み合わせ別・要介護4以上）】



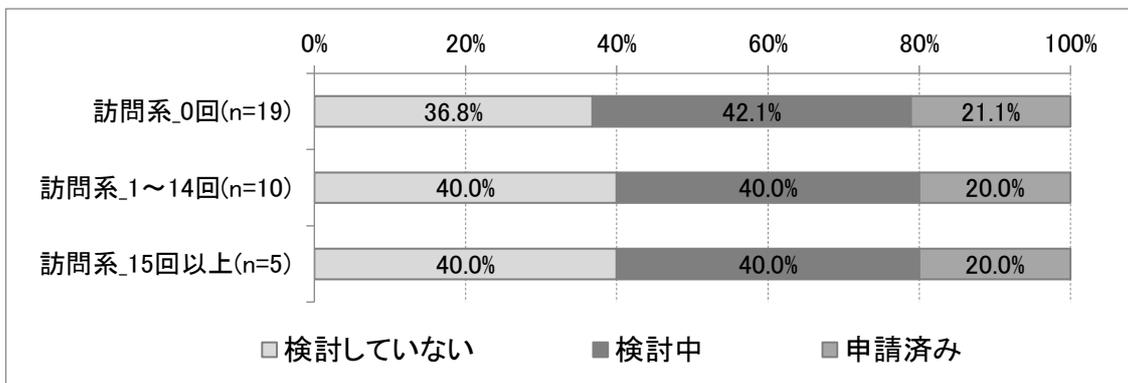
【施設等への入所・入居の検討状況（サービス利用の組み合わせ別・認知症Ⅲ以上）】



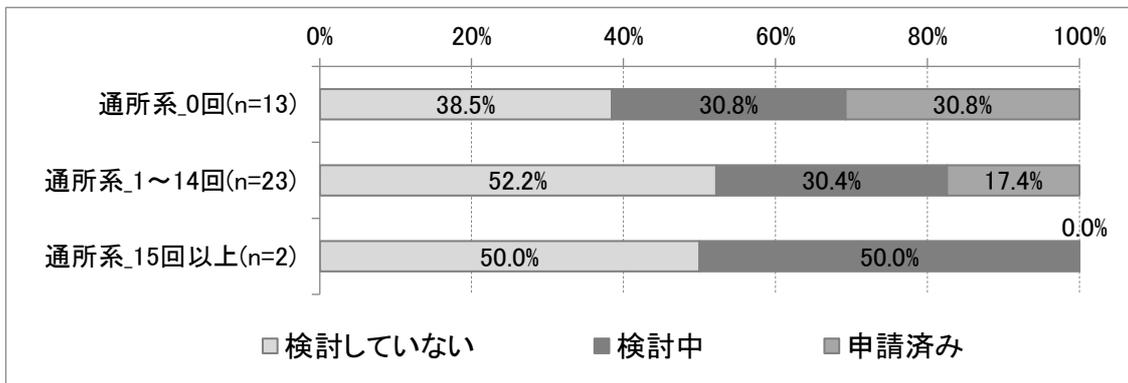
【施設等への入所・入居の検討状況（サービス利用回数別・訪問系・要介護3以上）】



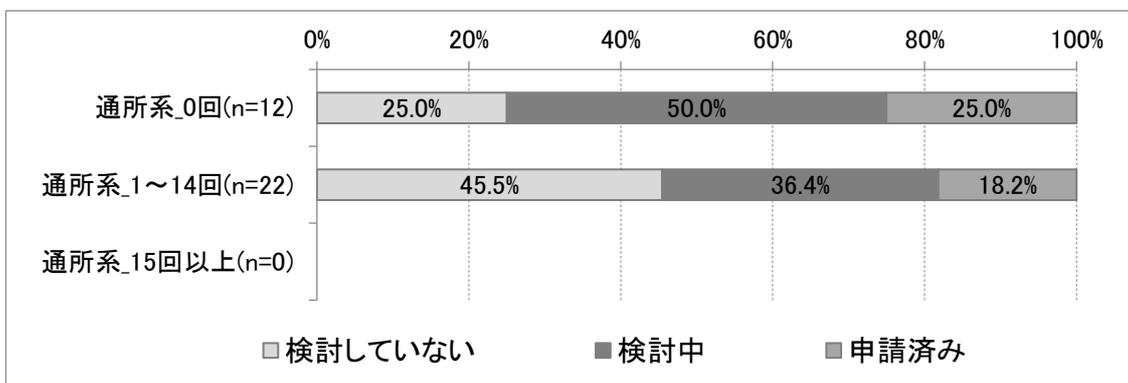
【施設等への入所・入居の検討状況（サービス利用回数別・訪問系・認知症Ⅲ以上）】



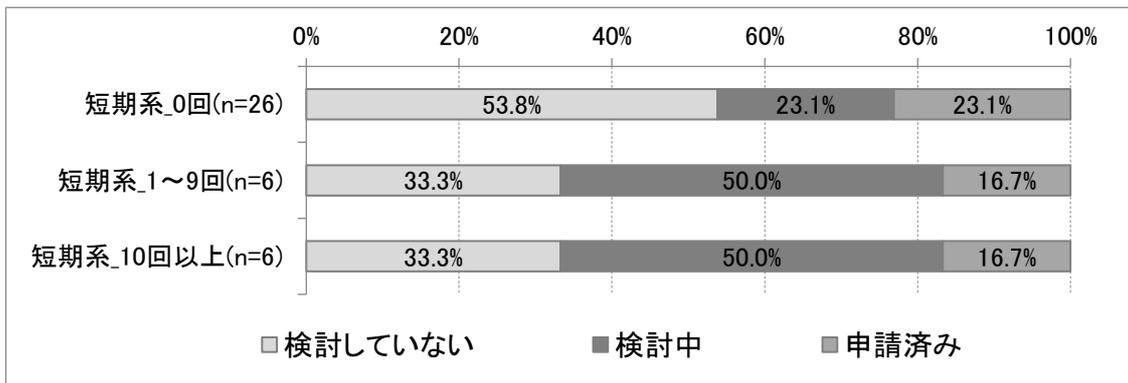
【施設等への入所・入居の検討状況（サービス利用回数別・通所系・要介護3以上）】



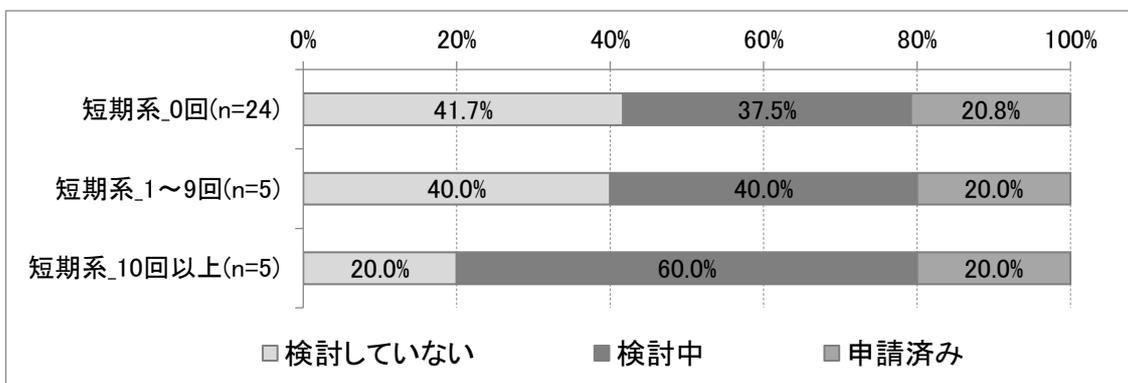
【施設等への入所・入居の検討状況（サービス利用回数別・通所系・認知症Ⅲ以上）】



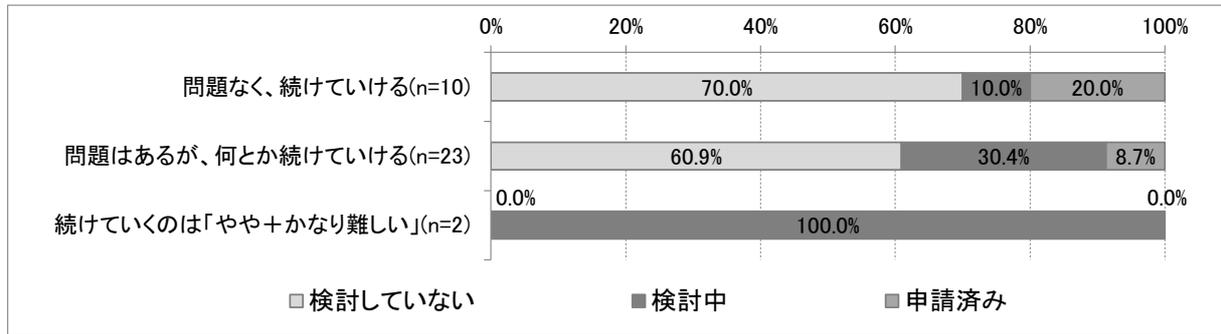
【施設等への入所・入居の検討状況（サービス利用回数別・短期系・要介護3以上）】



【施設等への入所・入居の検討状況（サービス利用回数別・短期系・認知症Ⅲ以上）】

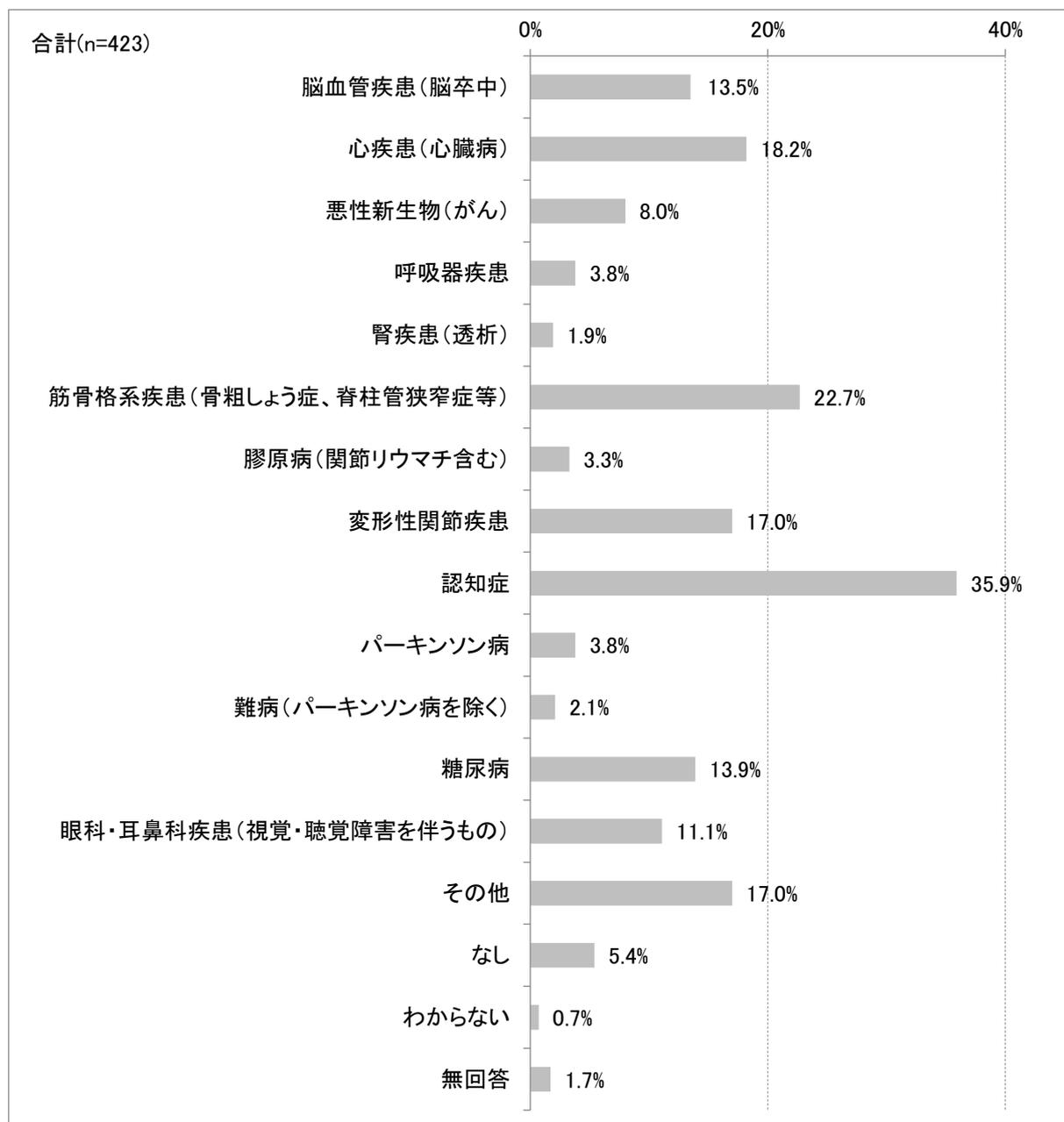


【施設等への入所・入居の検討状況（働きながらの介護継続の見込み別・要介護2以上・フルタイム勤務+パートタイム勤務）】



問 11 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（複数選択可）

本人が現在抱えている傷病は、「認知症」の割合が 35.9%と最も高く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が 22.7%、「心疾患（心臓病）」が 18.2%、「変形性関節疾患」が 17.0%、「糖尿病」が 13.9%、「脳血管疾患（脳卒中）」が 13.5%となっています。

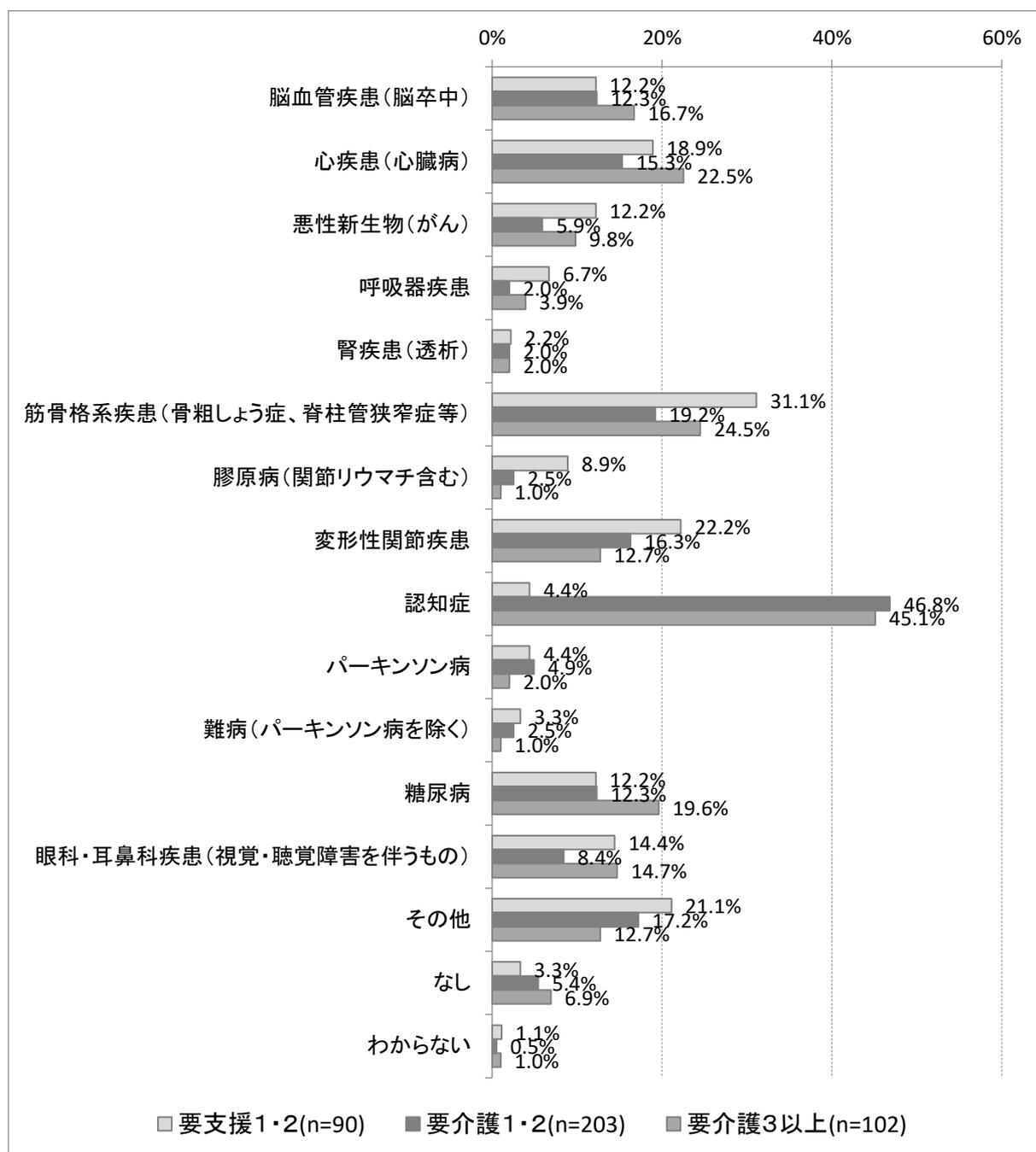


## 【本人が現在抱えている傷病（要介護度別）】

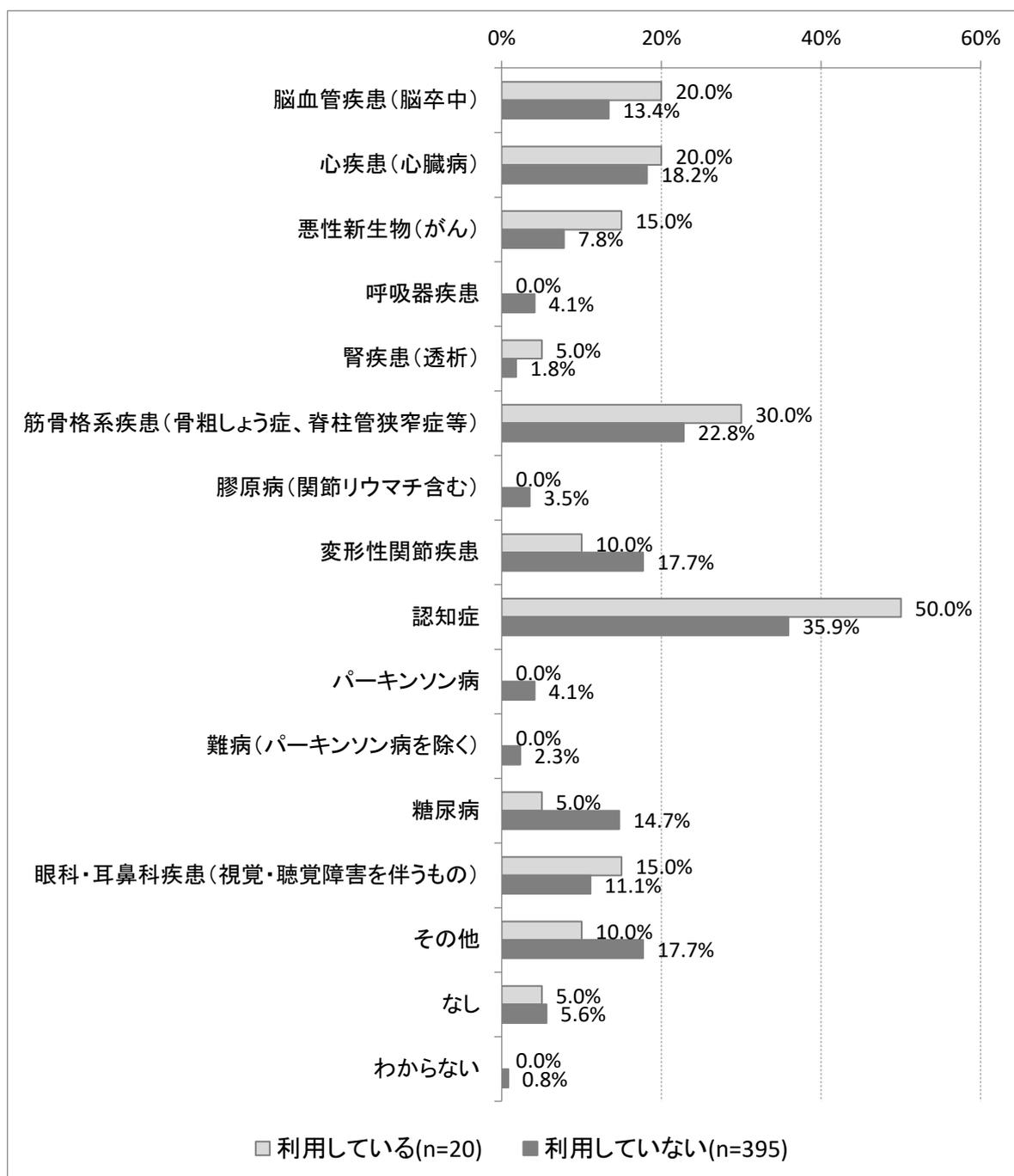
本人が現在抱えている傷病を要介護度別にみると、要支援1・2では、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」の割合が31.1%と最も高く、次いで「変形性関節疾患」が22.2%、「心疾患（心臓病）」が18.9%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が14.4%となっています。

要介護1・2では、「認知症」の割合が46.8%と最も高く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が19.2%、「変形性関節疾患」が16.3%となっています。

要介護3以上では、「認知症」の割合が45.1%と最も高く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が24.5%、「心疾患（心臓病）」が22.5%となっています。

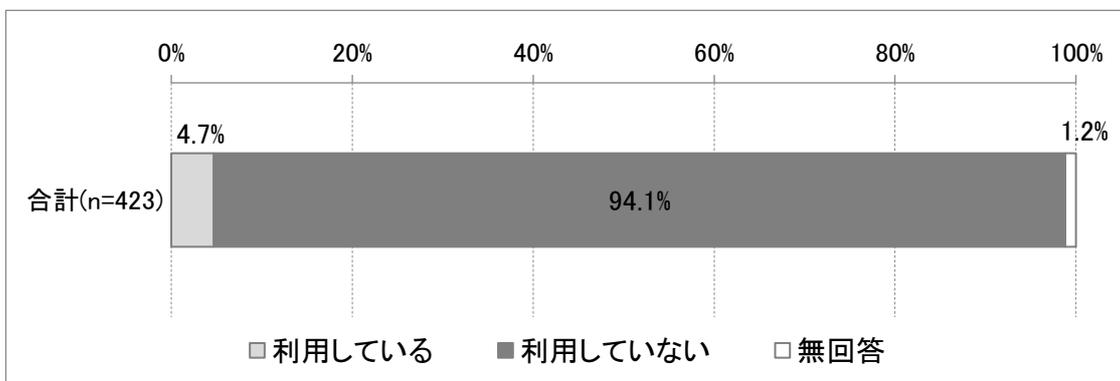


【本人が現在抱えている傷病（訪問診療の利用の有無別）】

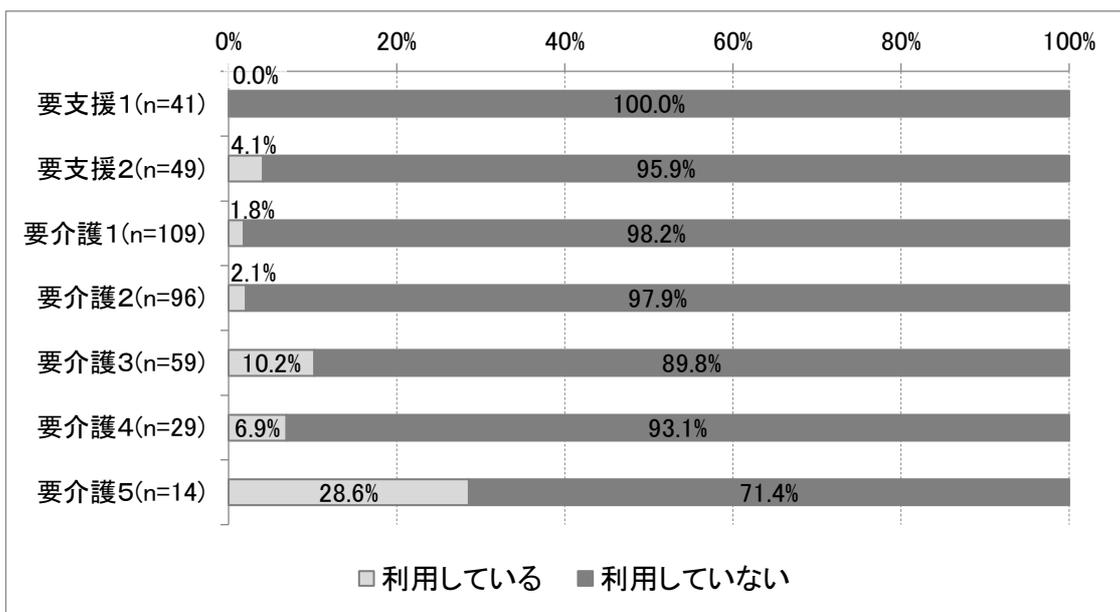


問 12 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか

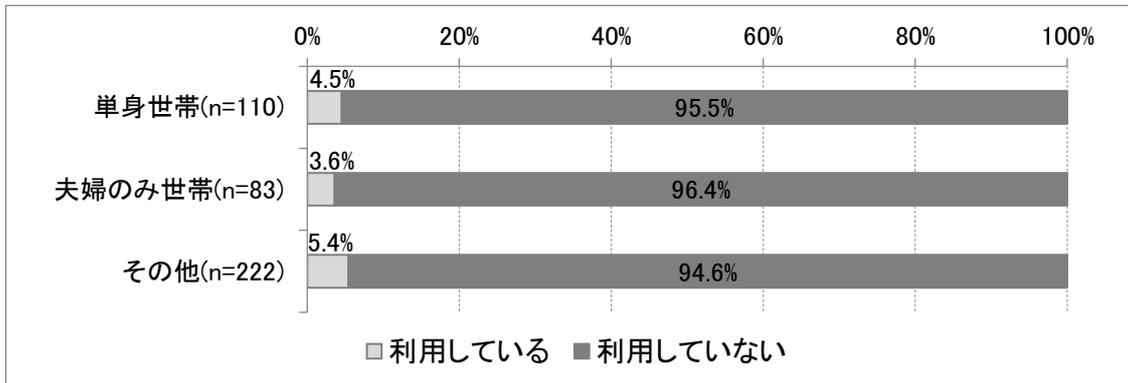
訪問診療の利用状況については、「利用している」の割合が 4.7%、「利用していない」の割合が 94.1%となっています。



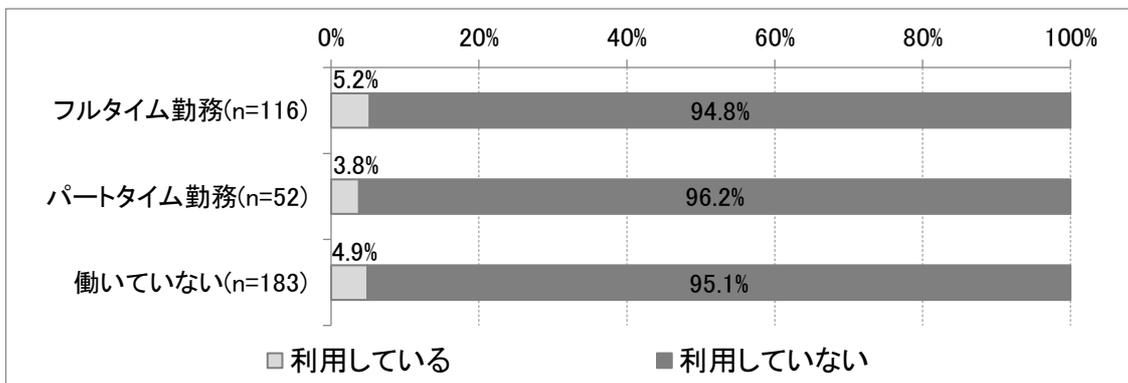
【訪問診療の利用の有無（要介護度別）】



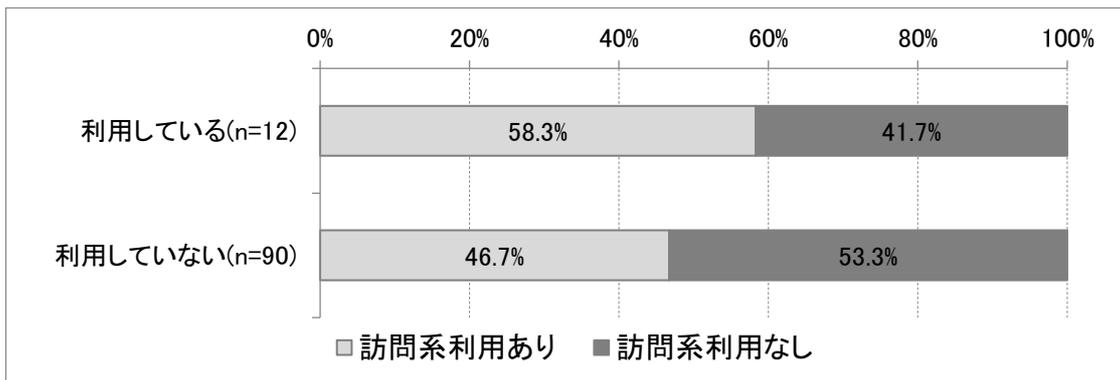
【訪問診療の利用の有無（世帯類型別）】



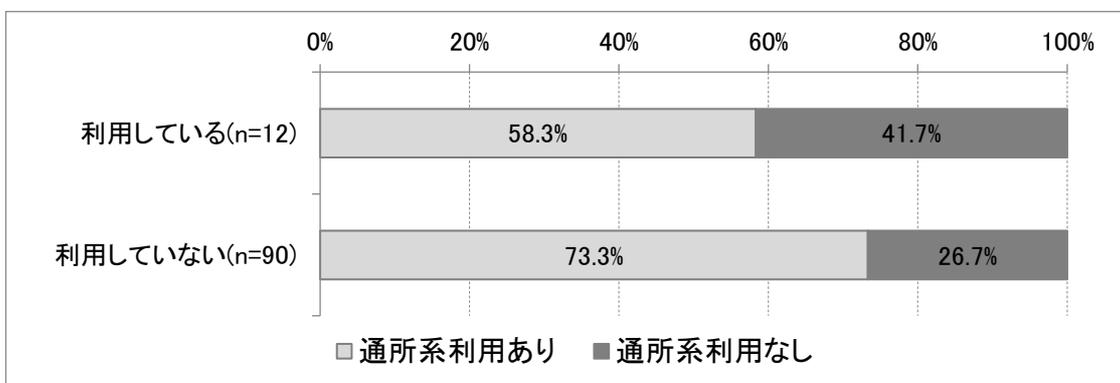
【訪問診療の利用の有無（主な介護者の就労状況別）】



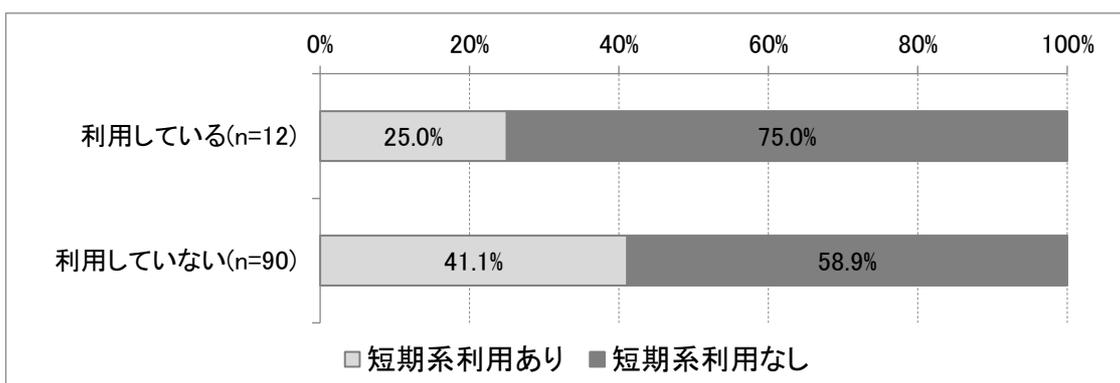
【訪問系サービス利用の有無（要介護3以上）（訪問診療の利用の有無別）】



【通所系サービス利用の有無（要介護3以上）（訪問診療の利用の有無別）】

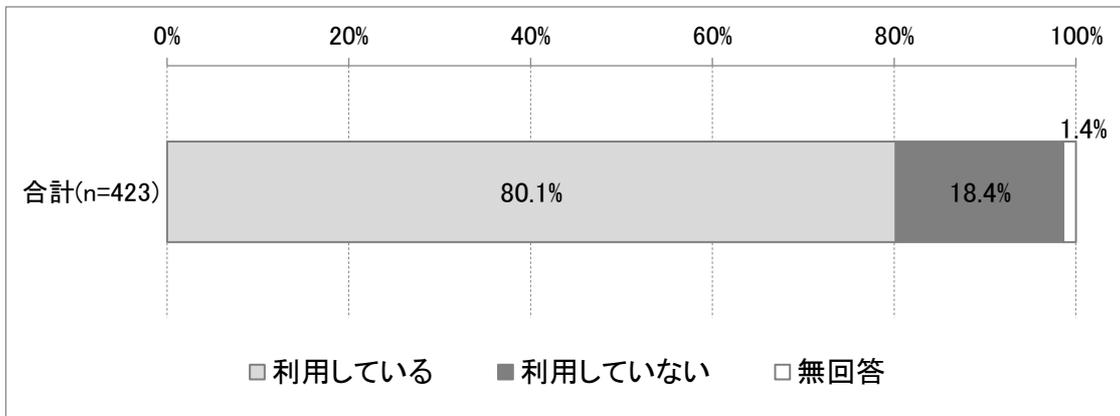


【短期系サービス利用の有無（要介護3以上）（訪問診療の利用の有無別）】

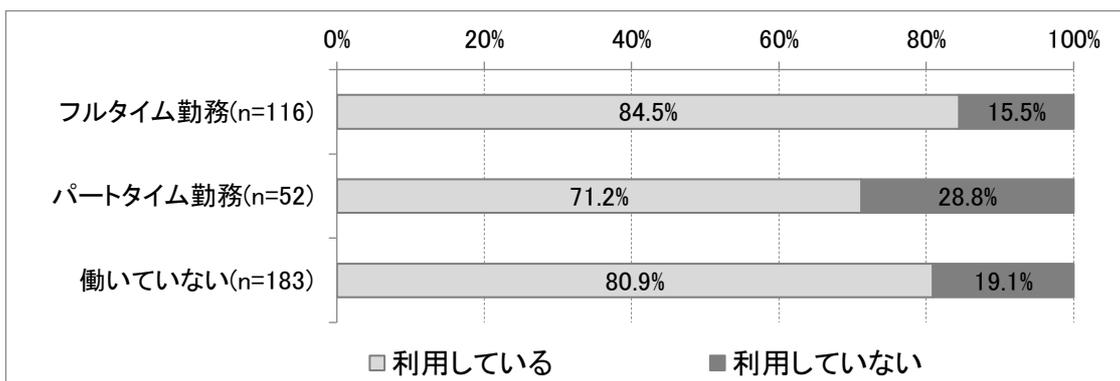


問 13 現在、介護保険サービスを利用していますか（住宅改修、福祉用具貸与・購入を除く）

介護保険サービスの利用状況については、「利用している」の割合が 80.1%、「利用していない」の割合が 18.4%となっています。

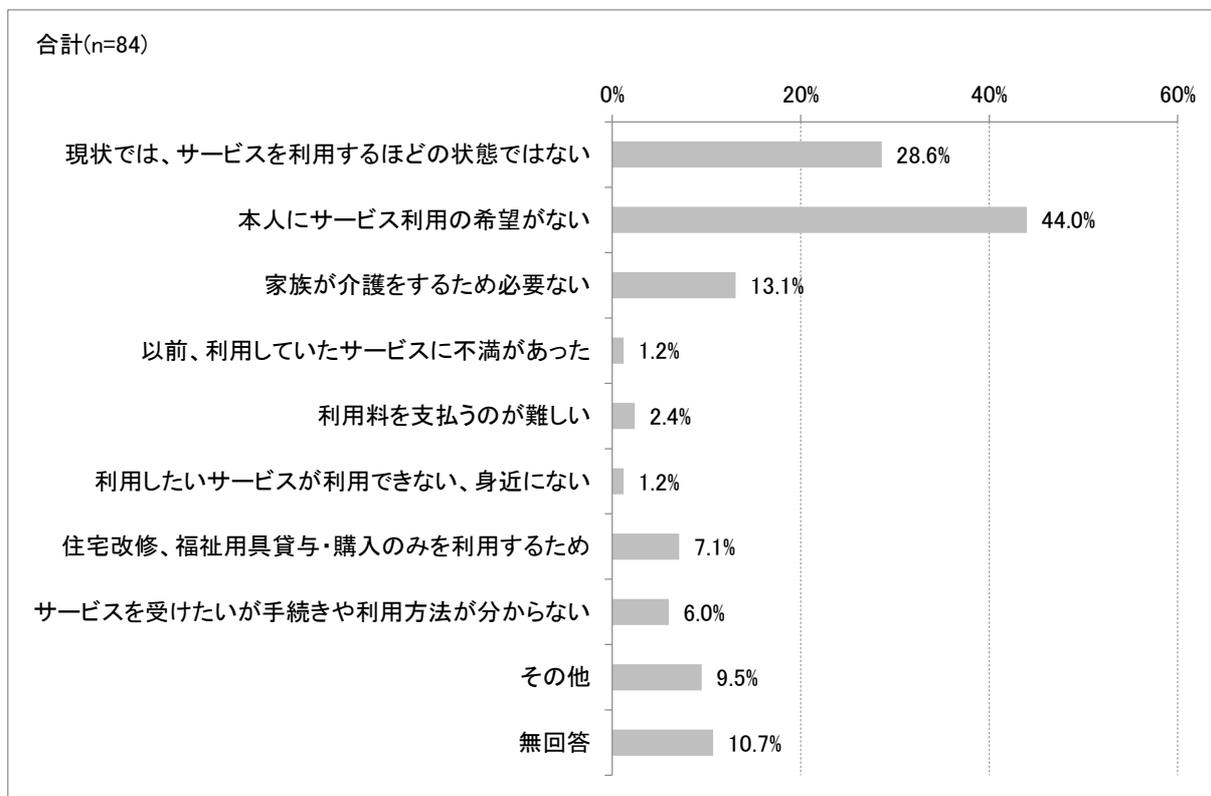


【介護保険サービス利用の有無（主な介護者の就労状況別）】



問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

介護保険サービスを利用していない理由は、「本人にサービス利用の希望がない」の割合が 44.0%と最も高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 28.6%となっています。

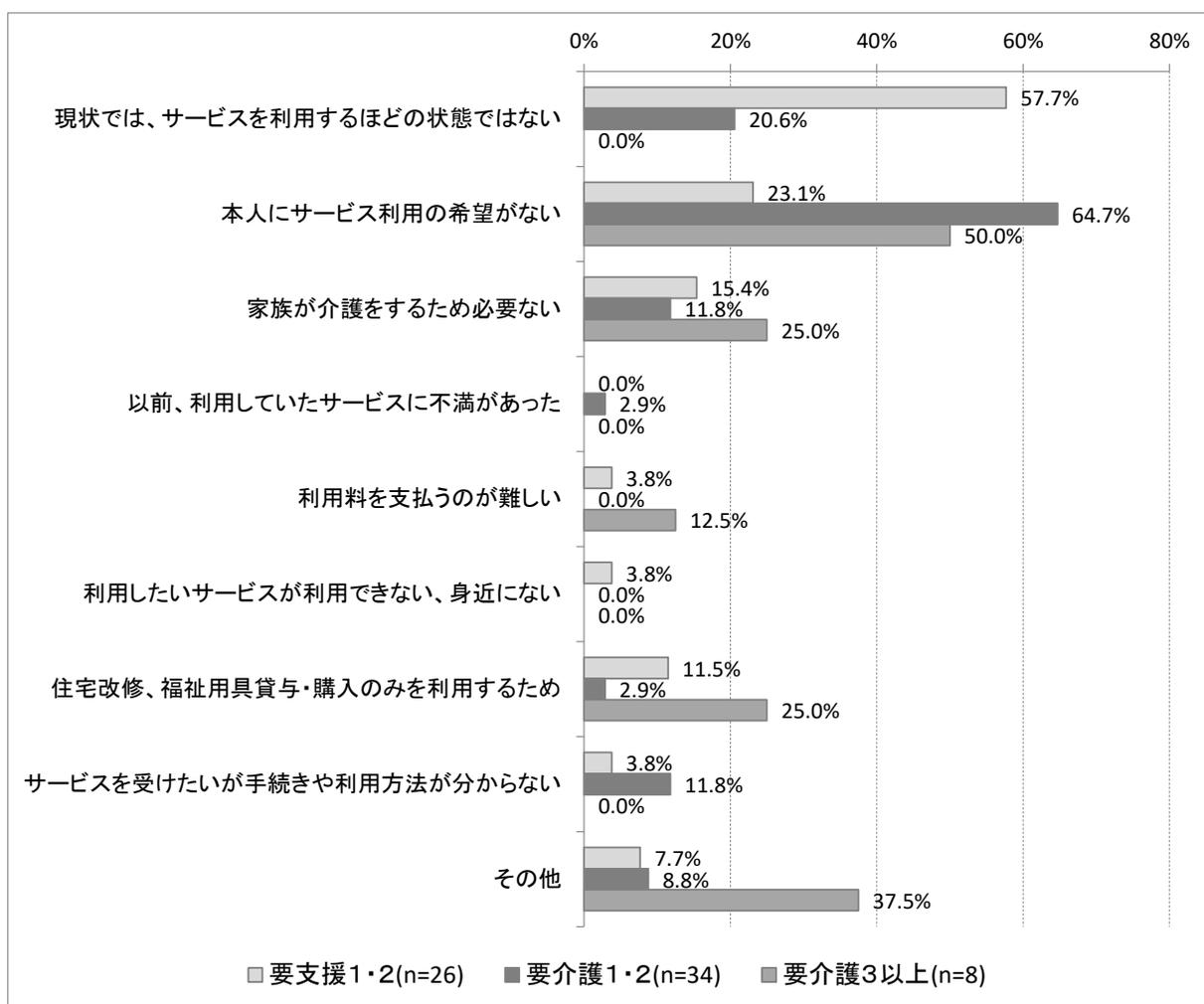


### 【介護保険サービスを利用していない理由（要介護度別）】

介護保険サービスを利用していない理由を要介護度別にみると、要支援1・2では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が57.7%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が23.1%となっています。

要介護1・2では、「本人にサービス利用の希望がない」の割合が64.7%と最も高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が20.6%となっています。

要介護3以上では、「本人にサービス利用の希望がない」の割合が50.0%と最も高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」と「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が同率で25.0%となっています。

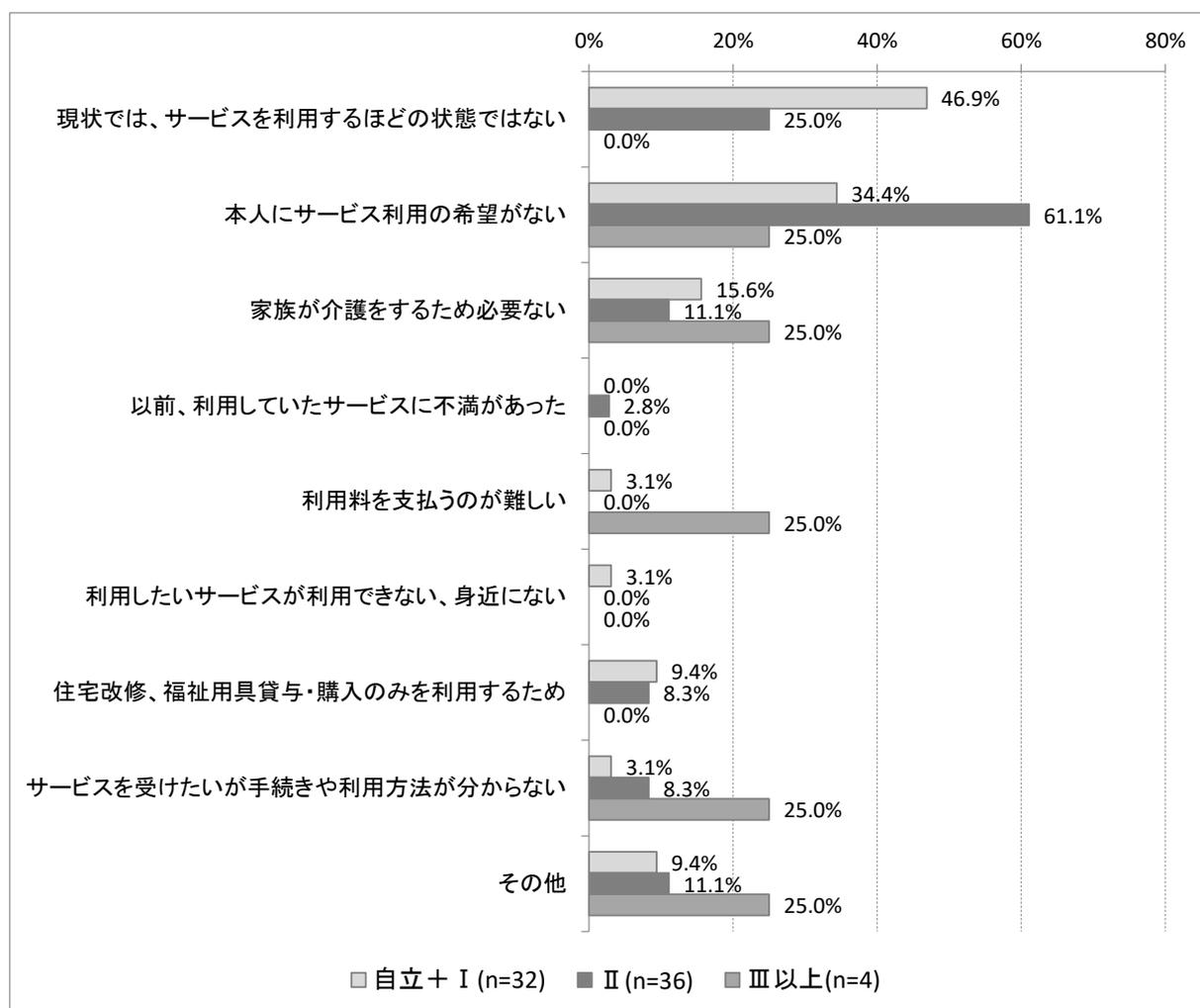


### 【介護保険サービスを利用していない理由（認知症高齢者自立度別）】

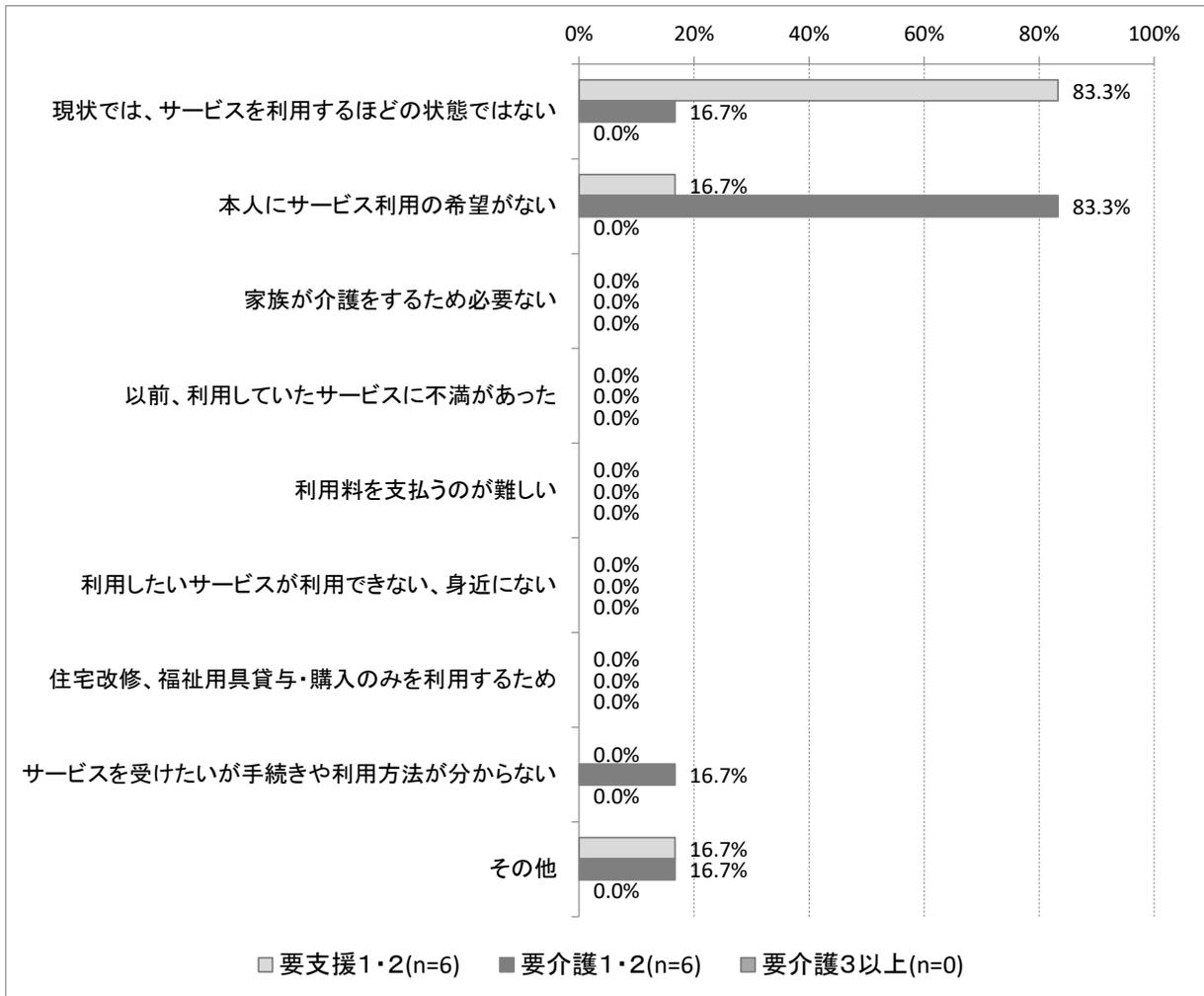
介護保険サービスを利用していない理由を認知症高齢者自立度別にみると、自立+ I では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が 46.9%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 34.4%となっています。

II では、「本人にサービス利用の希望がない」の割合が 61.1%と最も高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 25.0%となっています。

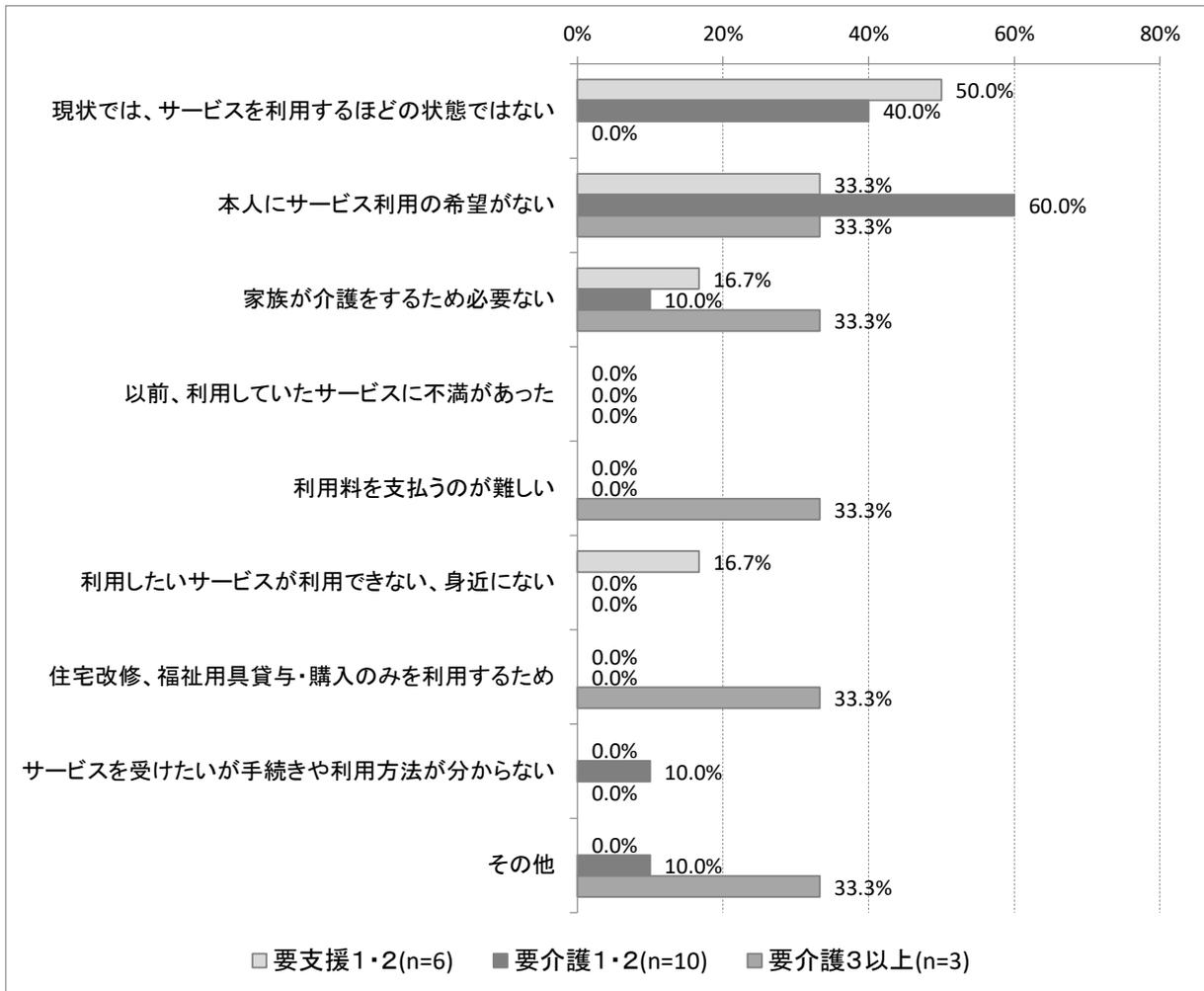
III 以上では、「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」、「利用料を支払うのが難しい」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」の割合が同率で 25.0%となっています。



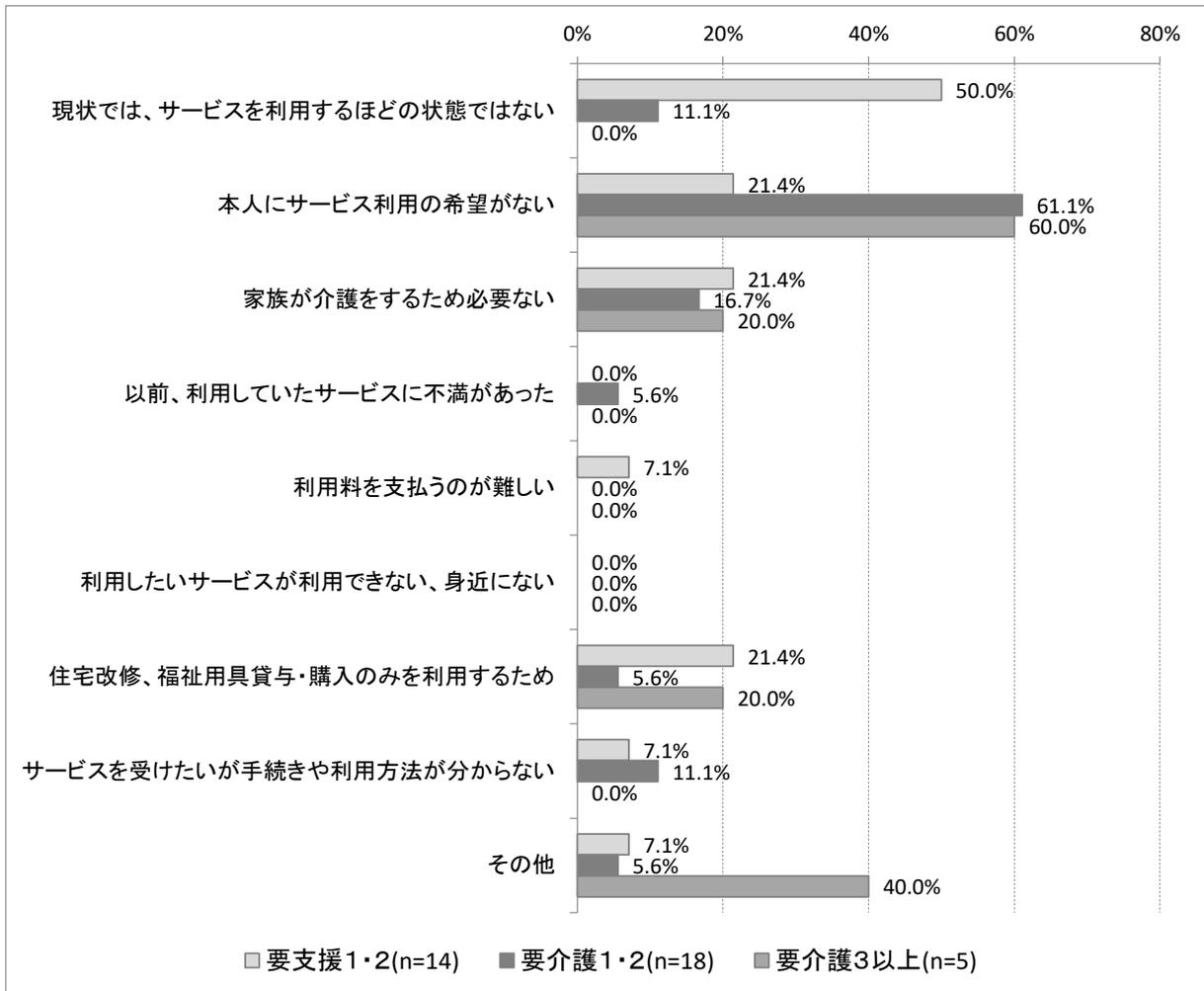
【介護保険サービスを利用していない理由（要介護度別・単身世帯）】



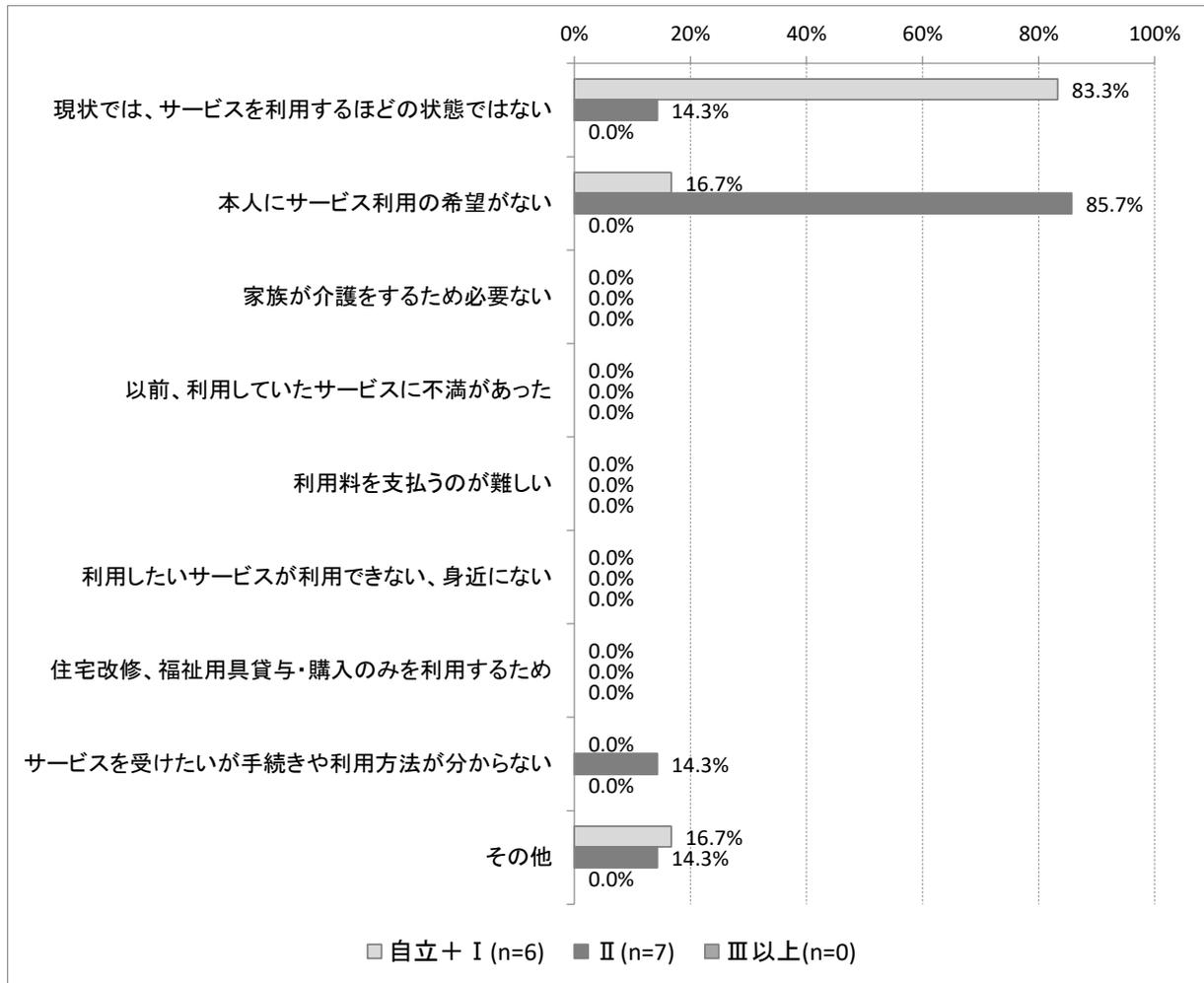
【介護保険サービスを利用していない理由（要介護度別・夫婦のみ世帯）】



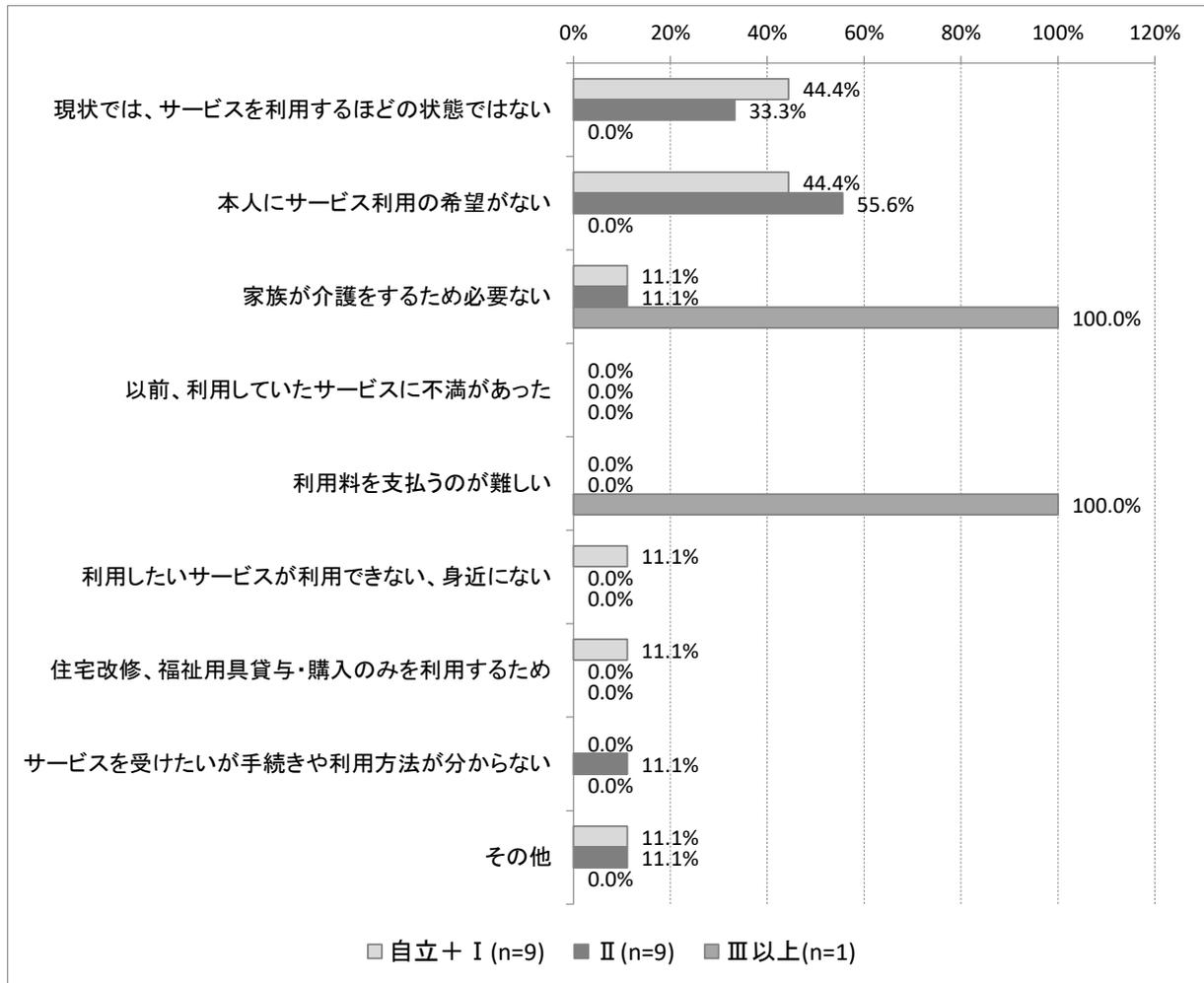
【介護保険サービスを利用していない理由（要介護度別・その他）】



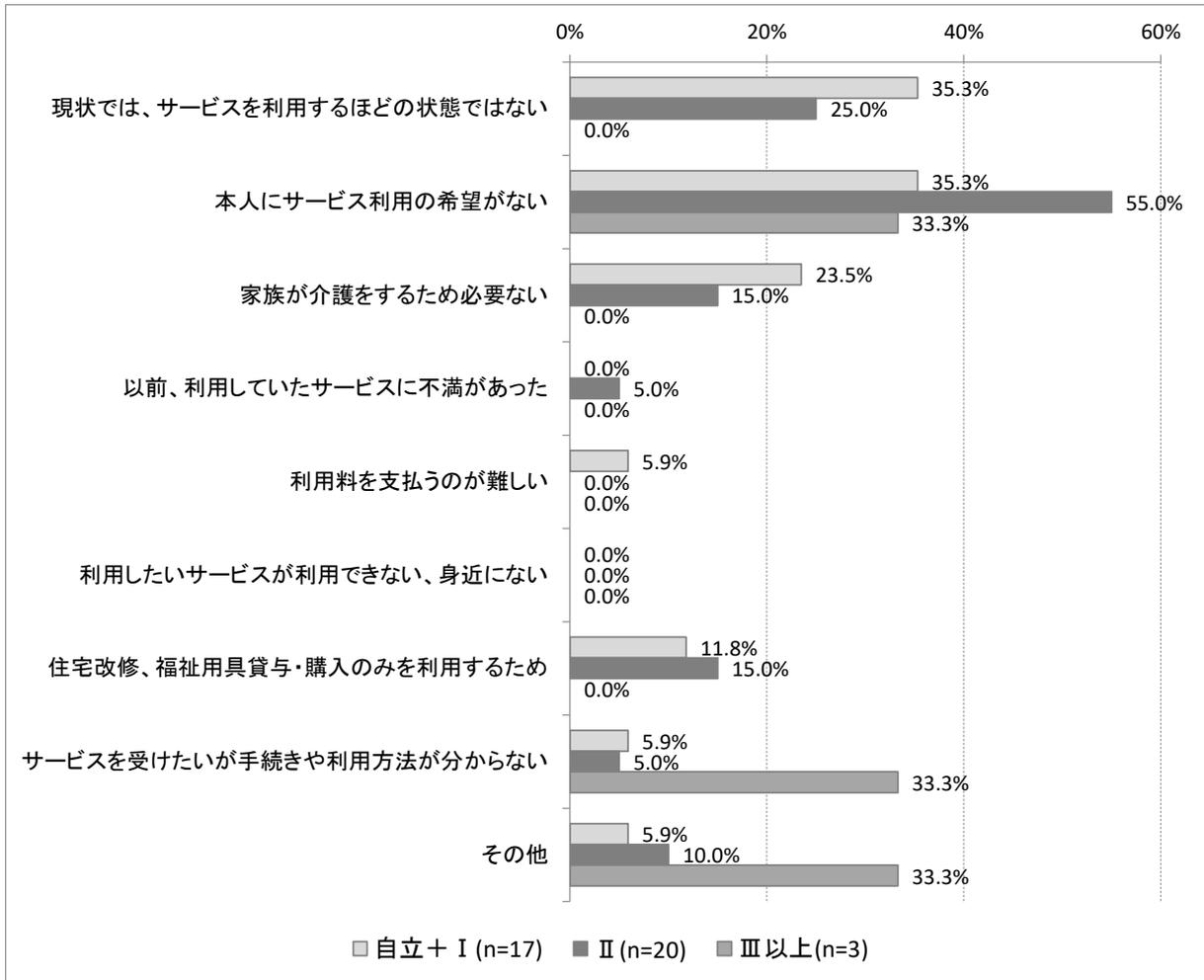
【介護保険サービスを利用していない理由（認知症高齢者自立度別・単身世帯）】



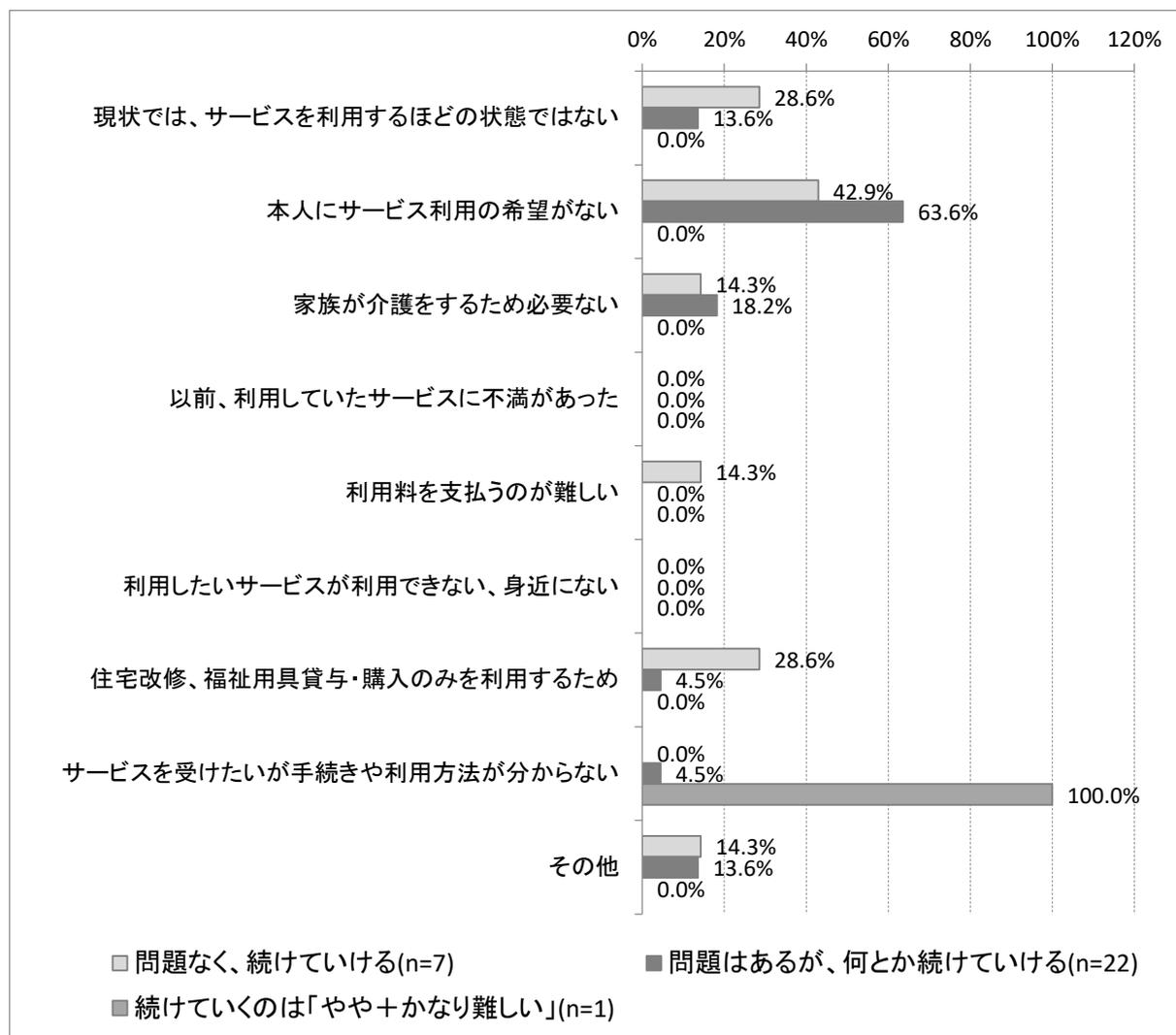
【介護保険サービスを利用していない理由（認知症高齢者自立度別・夫婦のみ世帯）】



【介護保険サービスを利用していない理由（認知症高齢者自立度別・その他）】

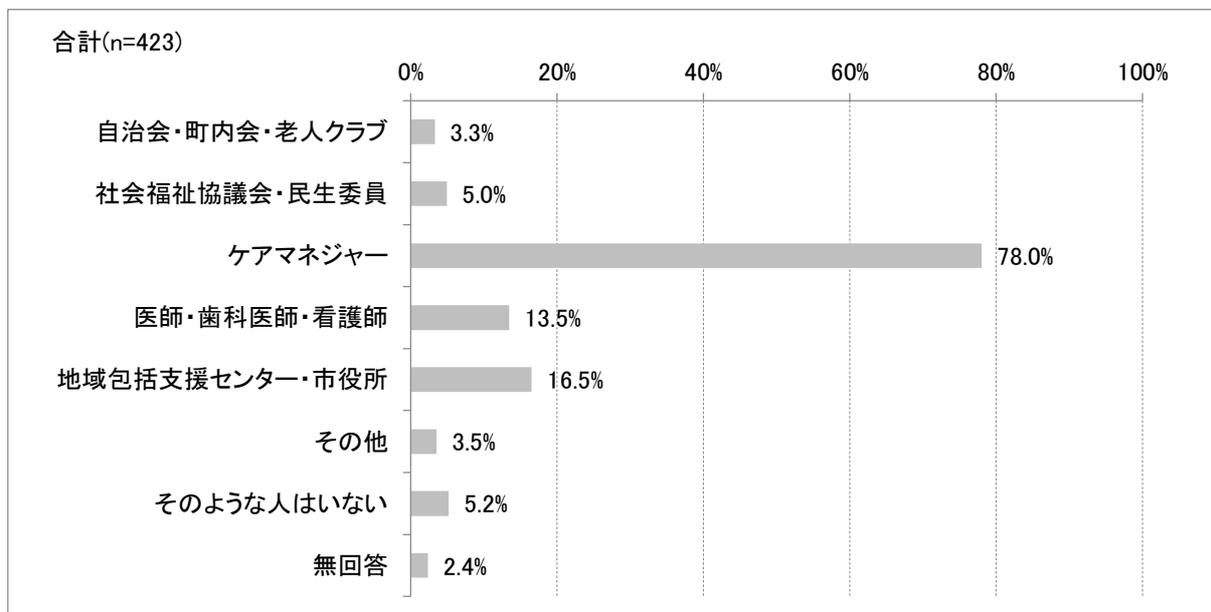


【介護保険サービスを利用していない理由（働きながらの介護継続の見込み別・要介護2以上・フルタイム勤務+パートタイム勤務）】



問 15 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（複数選択可）

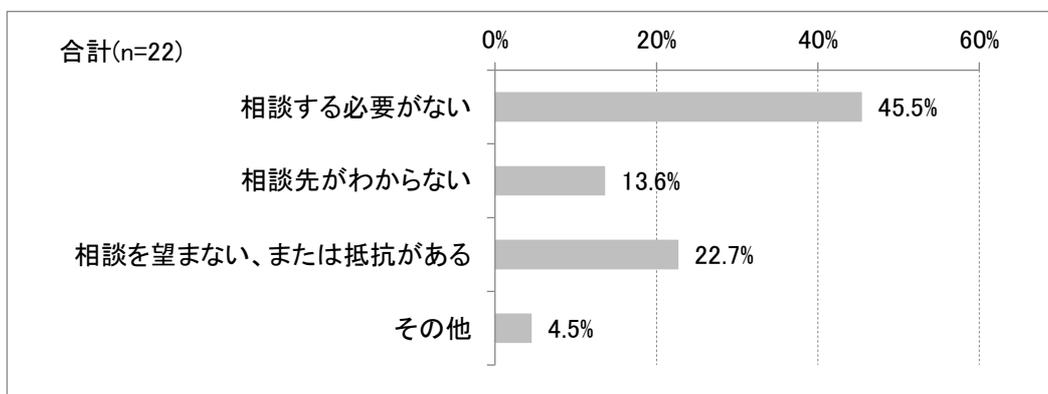
家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手は、「ケアマネジャー」の割合が78.0%と最も高く、次いで「地域包括支援センター・市役所」が16.5%、「医師・歯科医師・看護師」が13.5%となっています。



問 15 で「7. 」を回答した方のみ、問 16 もご回答いただきます。

問 16 回答した理由は、次のどれですか

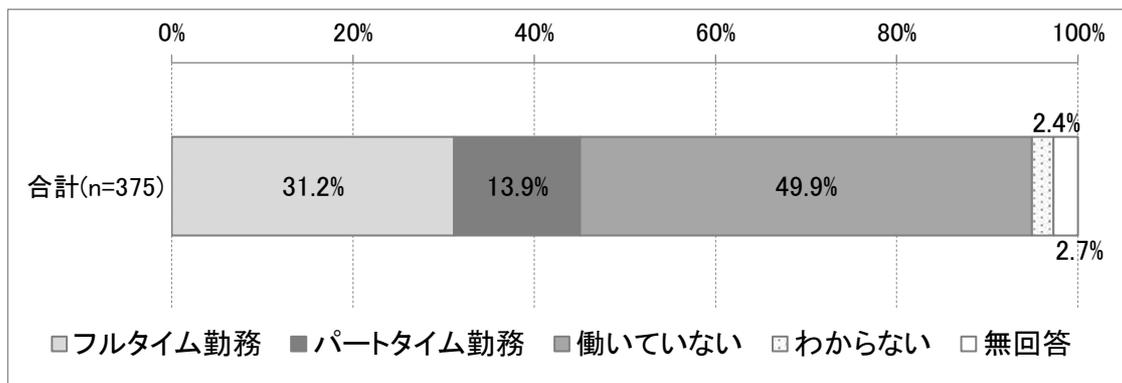
問 15 で「7. そのような人はいない」を選択した理由は、「相談する必要がある」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「相談を望まない、または抵抗がある」が 22.7%、「相談先がわからない」が 13.6%となっています。



## B票 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目

### 問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

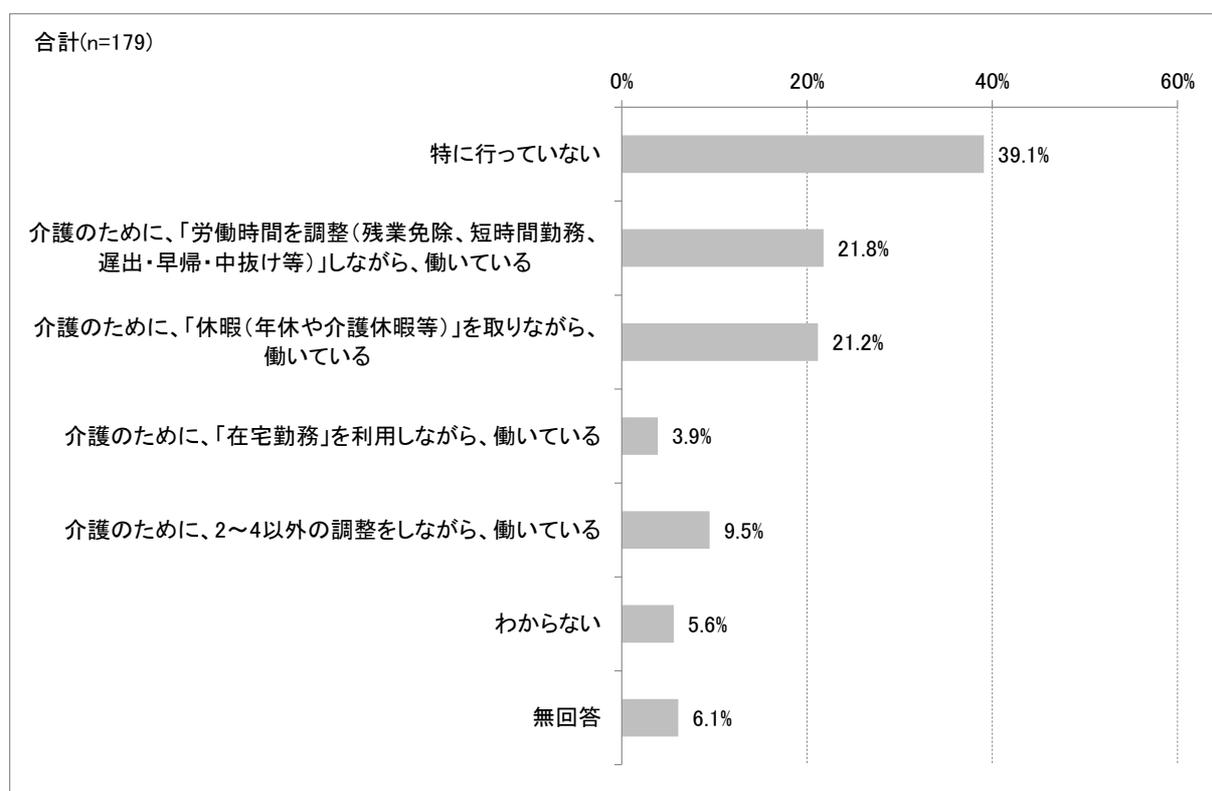
主な介護者の現在の勤務形態は、「働いていない」の割合が49.9%と最も高く、次いで「フルタイム勤務」が31.2%、「パートタイム勤務」が13.9%となっています。



問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）

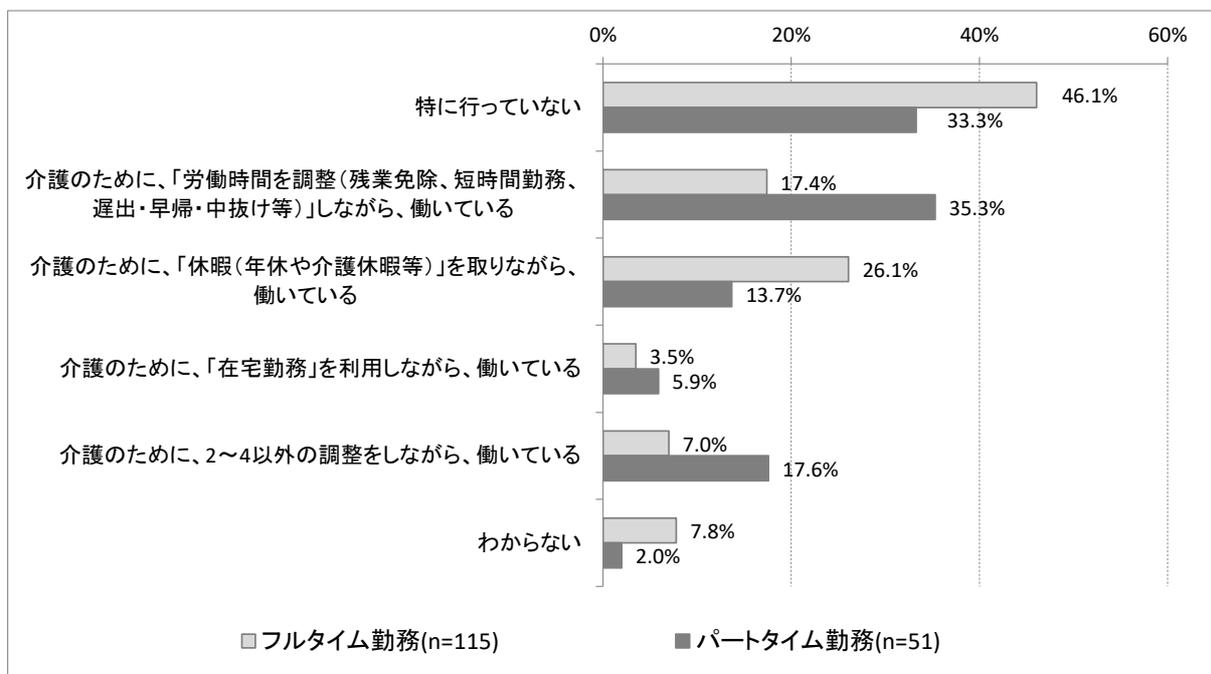
介護をするにあたっての働き方の調整等については、「特に行っていない」の割合が39.1%と最も高くなっています。それ以外では、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が21.8%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が21.2%、「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」が3.9%となっています。

「労働時間を調整」、「休暇」、「在宅勤務」、「2～4以外の調整」を合わせた『何らかの調整をしている』の割合は、56.4%となっています。



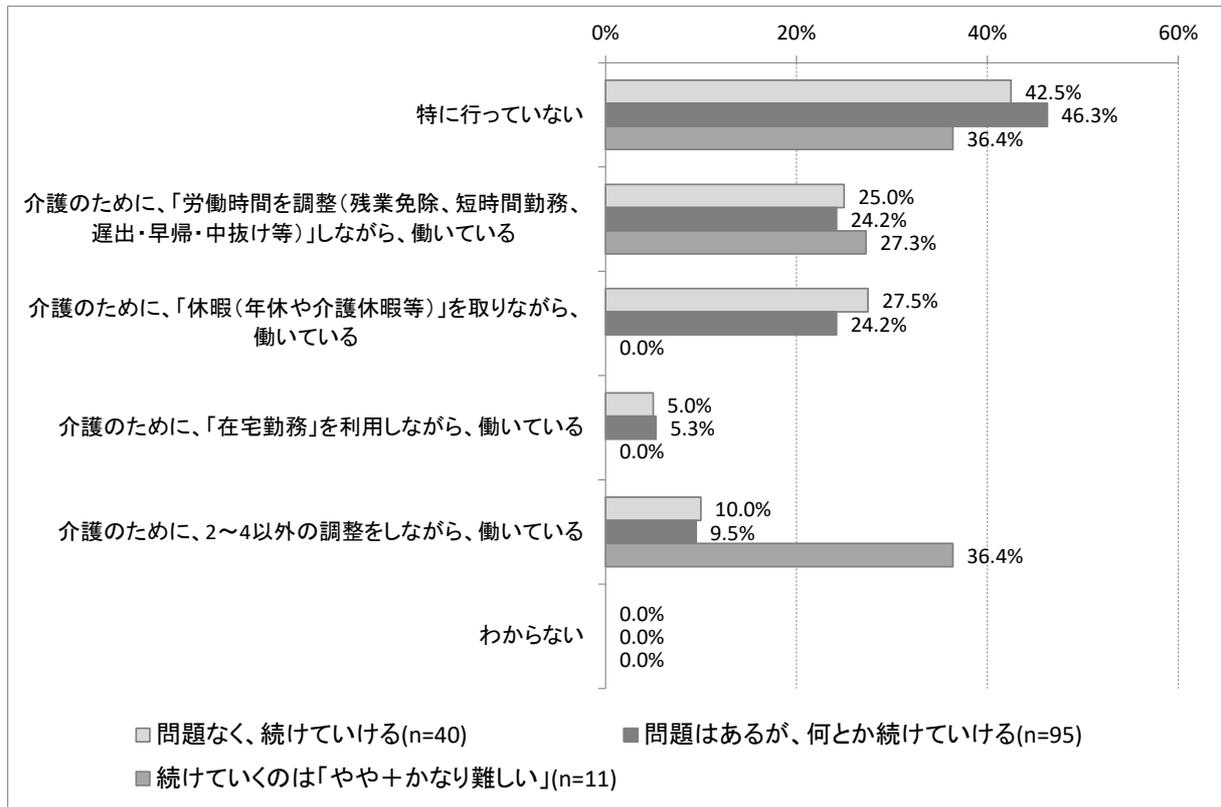
### 【介護をするにあたっての働き方の調整等（主な介護者の就労状況別）】

介護をするにあたっての働き方の調整等を就労状況別にみると、フルタイム勤務では、「特に行っていない」の割合が46.1%で最も高くなっています。「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」の割合については、フルタイム勤務が26.1%であるのに対し、パートタイム勤務では13.7%と低くなっています。



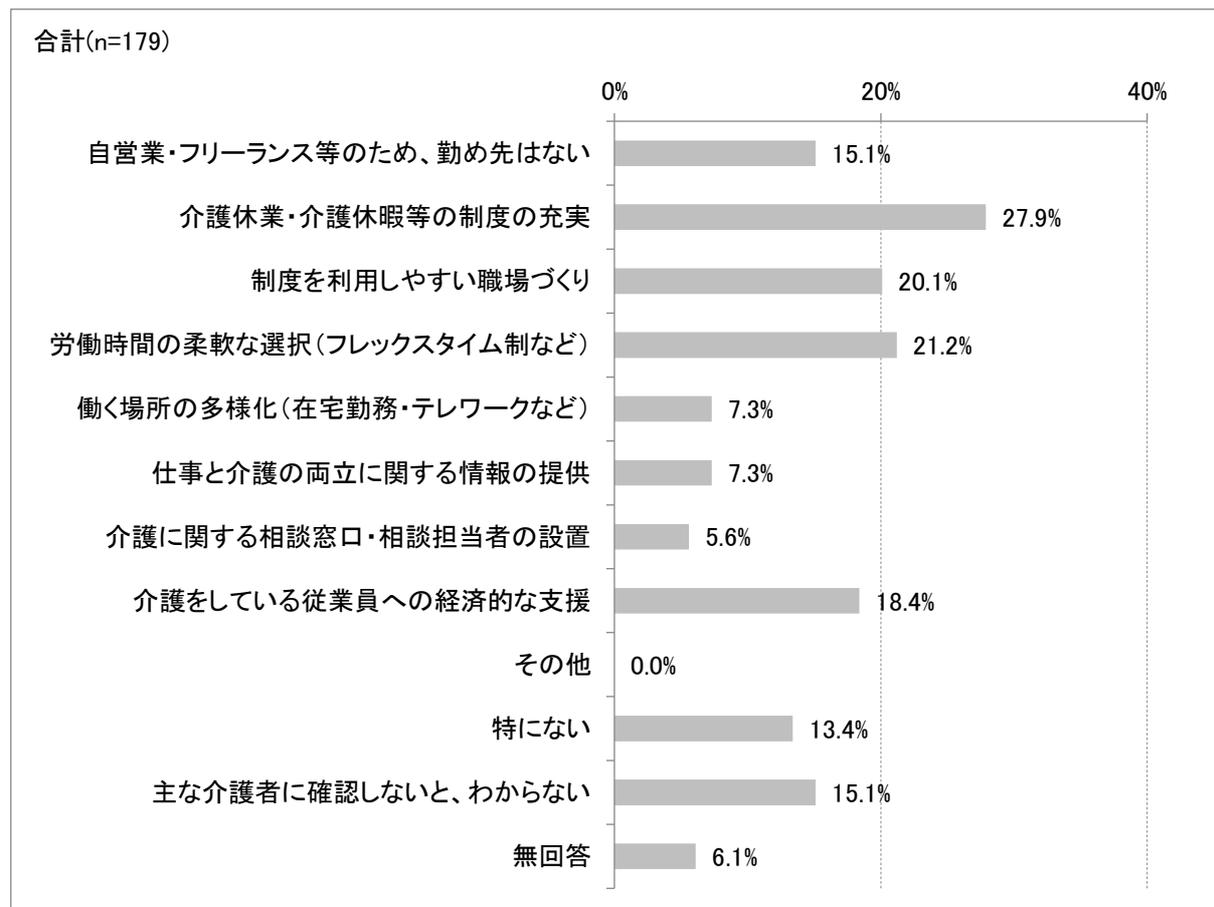
### 【介護をするにあたっての働き方の調整等（働きながらの介護継続の見込み別）】

介護をするにあたっての働き方の調整等を働きながらの介護継続の見込み別にみると、いずれも「特に行っていない」が最も高くなっています。「労働時間を調整」、「休暇」、「在宅勤務」、「2～4以外の調整」を合わせた『何らかの調整をしている』の割合をみると、問題なく、続けていけるでは67.5%、問題はあるが、何とか続けていけるでは63.2%、続けていくのは「やや+かなり難しい」では63.7%となっています。



問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

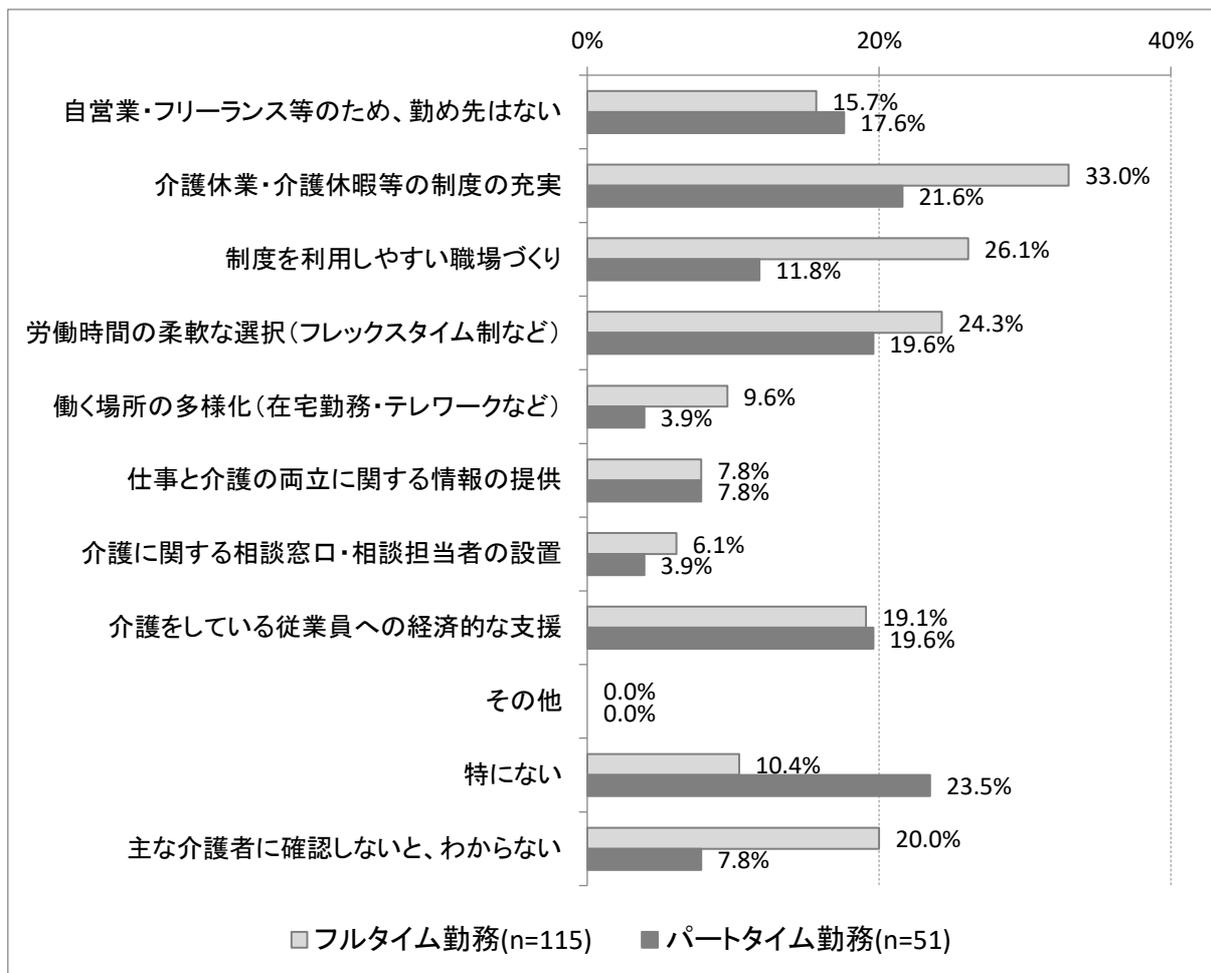
仕事と介護の両立に効果があると思われる支援は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が27.9%と最も高くなっています。次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が21.2%、「制度を利用しやすい職場づくり」が20.1%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が18.4%となっています。



### 【効果的な勤め先からの支援（主な介護者の就労状況別）】

仕事と介護の両立に効果があると思われる支援について、「特になし」以外の割合を就労状況別にみると、フルタイム勤務では、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が33.0%と最も高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が26.1%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が24.3%となっています。

パートタイム勤務では、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が21.6%と最も高く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」と「介護をしている従業員への経済的な支援」が同率で19.6%となっています。

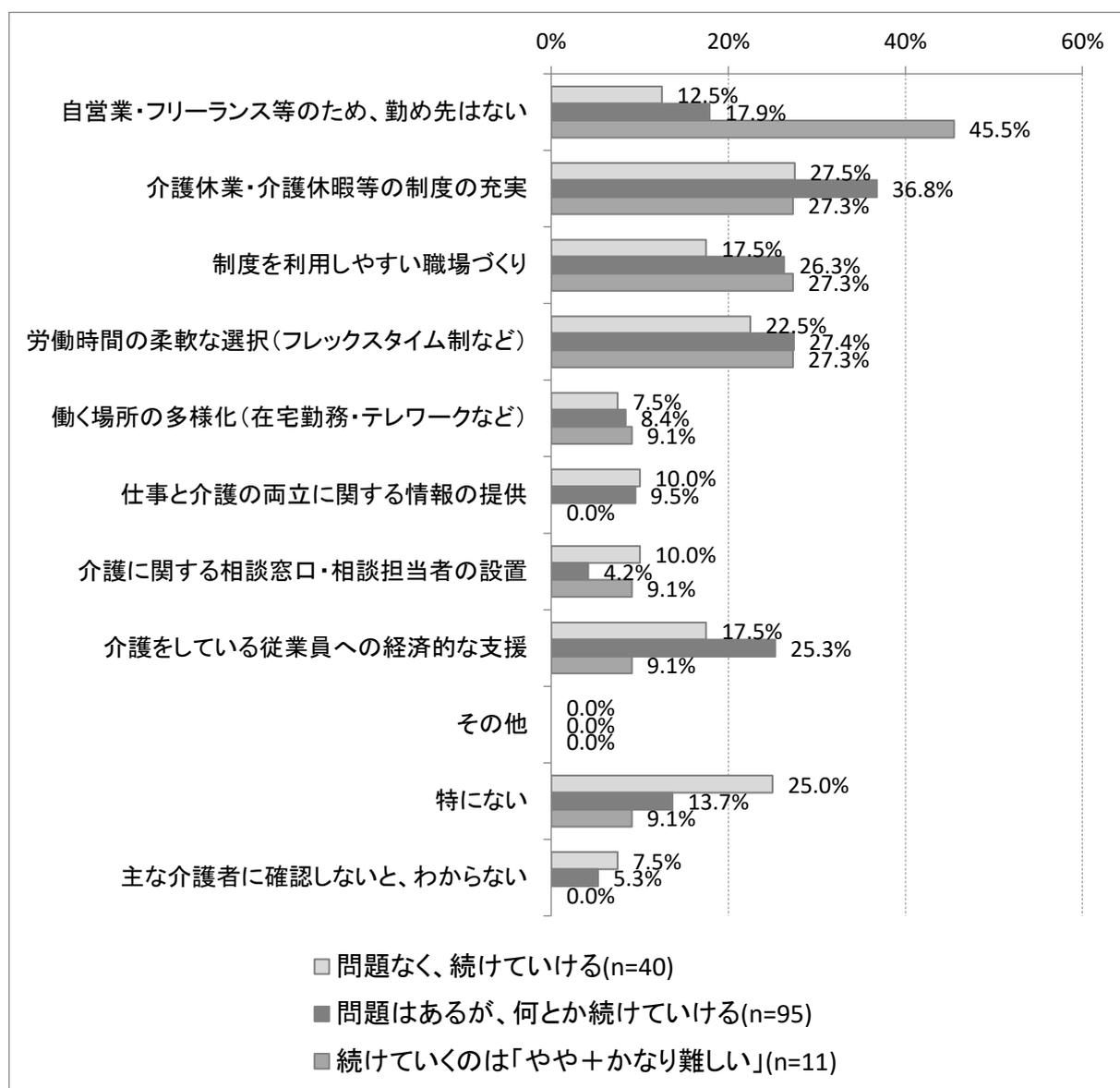


## 【効果的な勤め先からの支援（働きながらの介護継続の見込み別）】

仕事と介護の両立に効果があると思われる支援について、「特にない」以外の割合を働きながらの介護継続の見込み別にみると、問題なく、続けていけるでは、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が27.5%と最も高く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が22.5%、「制度を利用しやすい職場づくり」と「介護をしている従業員への経済的な支援」が同率で17.5%となっています。

問題はあるが、何とか続けていけるでは、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が36.8%と最も高く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が27.4%、「制度を利用しやすい職場づくり」が26.3%となっています。

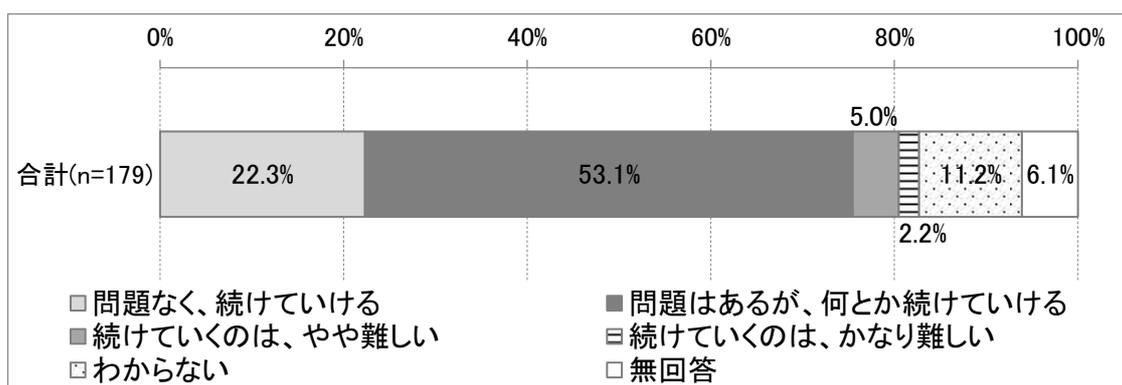
続けていくのは「やや＋かなり難しい」では、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」の割合が45.5%と最も高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、「制度を利用しやすい職場づくり」、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が同率で27.3%となっています。



問4 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

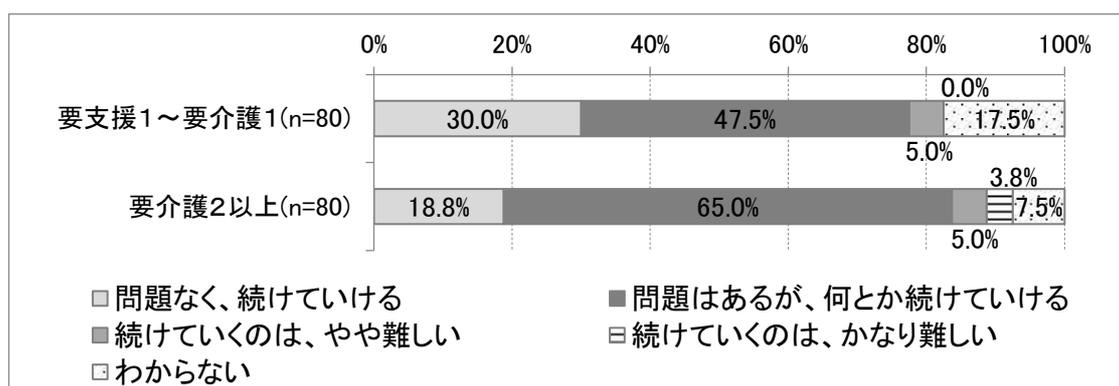
働きながらの介護継続の見込みについては、「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が53.1%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が22.3%、「わからない」が11.2%、「続けていくのは、やや難しい」が5.0%、「続けていくのは、かなり難しい」が2.2%となっています。

「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合わせた『続けていくのは、難しい』の割合は、7.2%となっています。



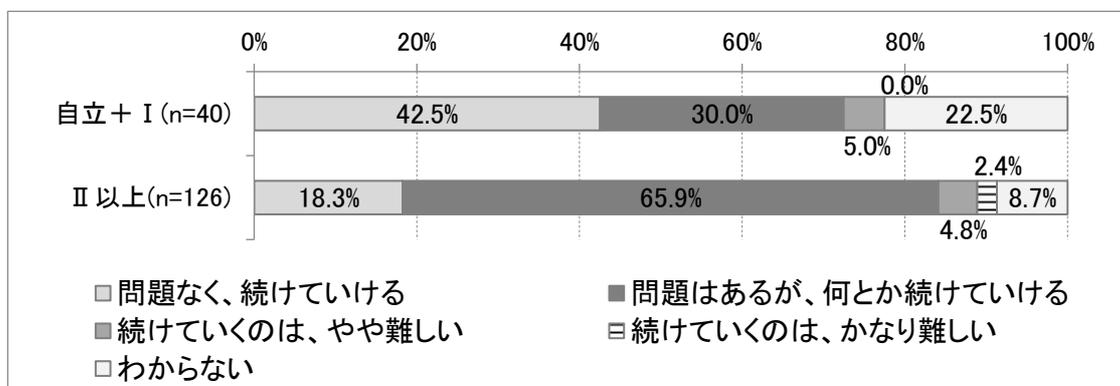
【働きながらの介護継続の見込み（要介護度別）】

働きながらの介護継続の見込みについて、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合わせた『続けていくのは、難しい』の割合を要介護度別にみると、要支援1～要介護1が5.0%であるのに対し、要介護2以上は8.8%とやや高くなっています。



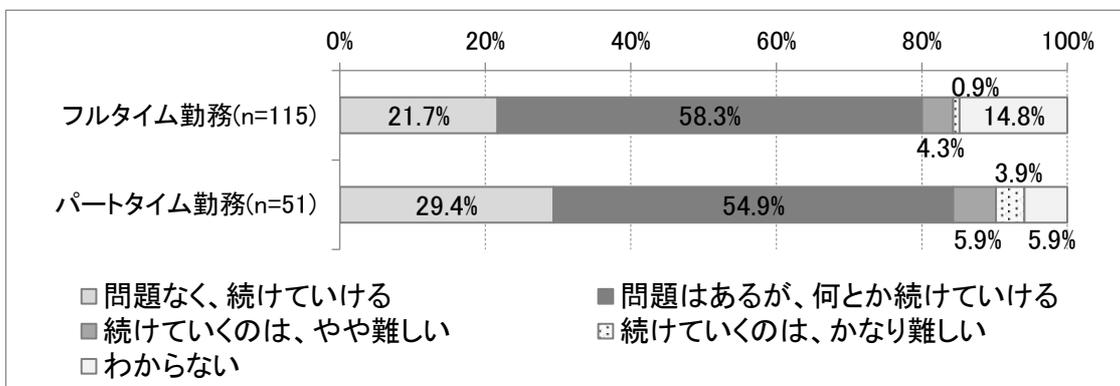
### 【働きながらの介護継続の見込み（認知症高齢者自立度別）】

働きながらの介護継続の見込みを認知症高齢者自立度別にみると、自立+ I では、「問題なく、続けていける」の割合が 42.5%、II 以上では、「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が 65.9%で、それぞれ最も高くなっています。

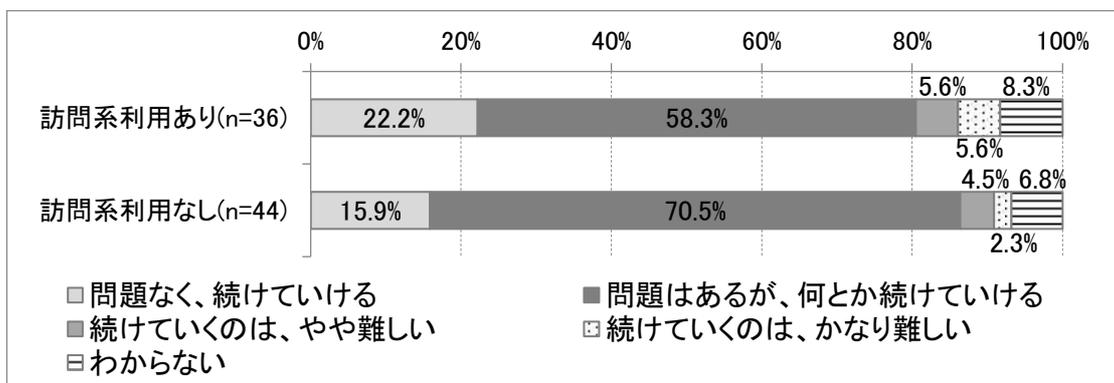


### 【働きながらの介護継続の見込み（主な介護者の就労状況別）】

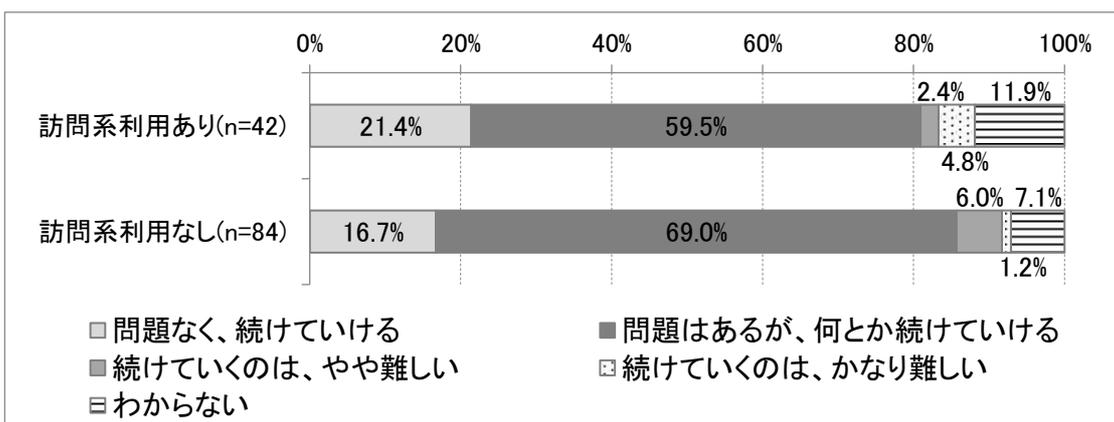
働きながらの介護継続の見込みを就労状況別にみると、いずれも「問題はあるが、何とか続けていける」が最も高くなっています。「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合わせた『続けていくのは、難しい』の割合をみると、フルタイム勤務が 5.2%であるのに対し、パートタイム勤務は 9.8%とやや高くなっています。



【働きながらの介護継続の見込み（サービス利用の組み合わせ・要介護2以上・フルタイム勤務+パートタイム勤務）】

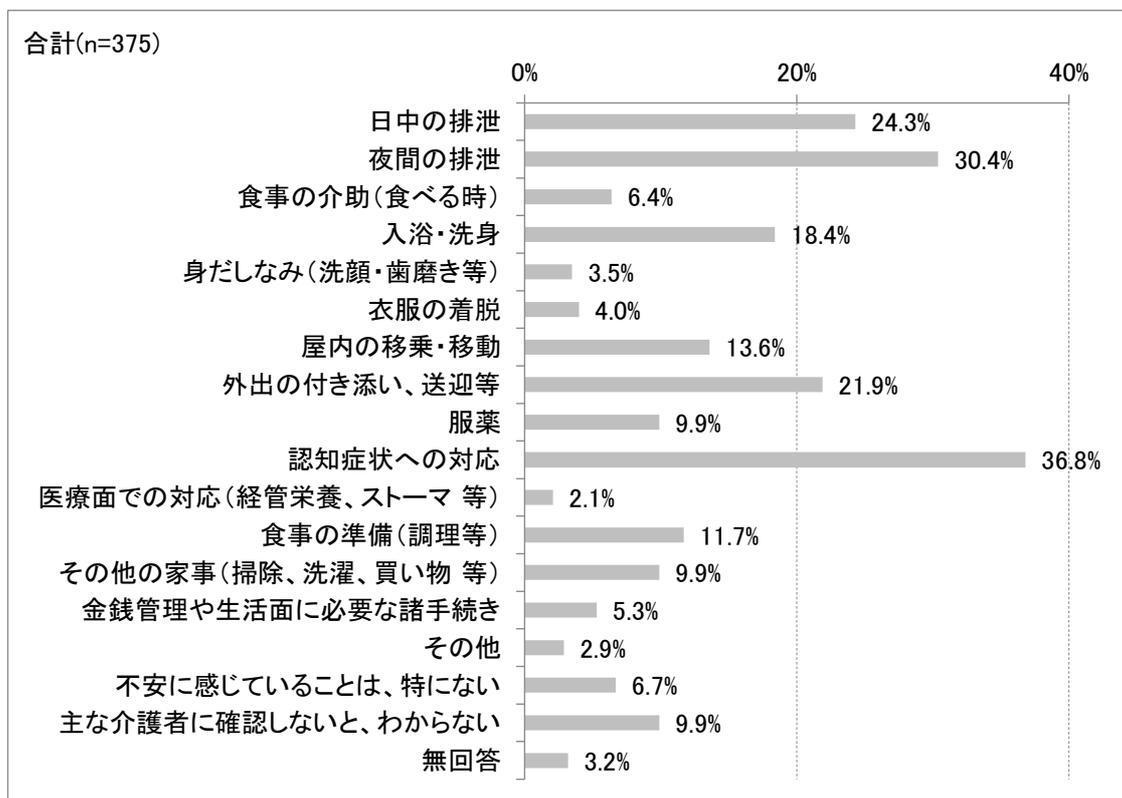


【働きながらの介護継続の見込み（サービス利用の組み合わせ・認知症高齢者自立度Ⅱ以上・フルタイム勤務+パートタイム勤務）】



問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

主な介護者が不安に感じる介護等は、「認知症状への対応」の割合が36.8%と最も高く、次いで「夜間の排泄」が30.4%、「日中の排泄」が24.3%、「外出の付き添い、送迎等」が21.9%、「入浴・洗身」が18.4%となっています。

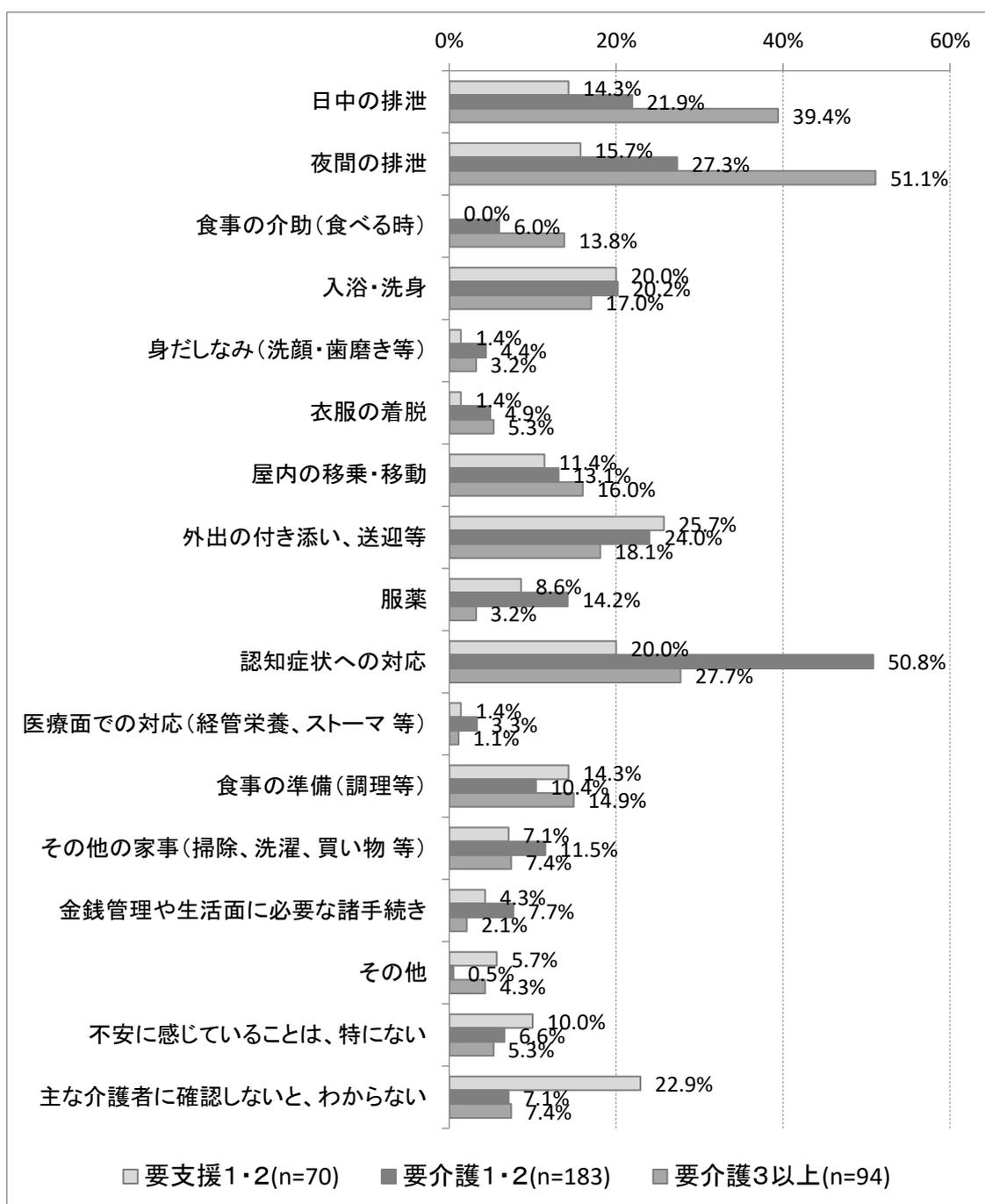


### 【不安に感じる介護等（要介護度別）】

主な介護者が不安に感じる介護等を要介護度別にみると、要支援1・2では、「外出の付き添い、送迎等」の割合が25.7%と最も高く、次いで「主な介護者に確認しないと、わからない」が22.9%、「入浴・洗身」と「認知症状への対応」が同率で20.0%となっています。

要介護1・2では、「認知症状への対応」の割合が50.8%と最も高く、次いで「夜間の排泄」が27.3%、「外出の付き添い、送迎等」が24.0%となっています。

要介護3以上では、「夜間の排泄」の割合が51.1%と最も高く、次いで「日中の排泄」が39.4%、「認知症状への対応」が27.7%となっています。

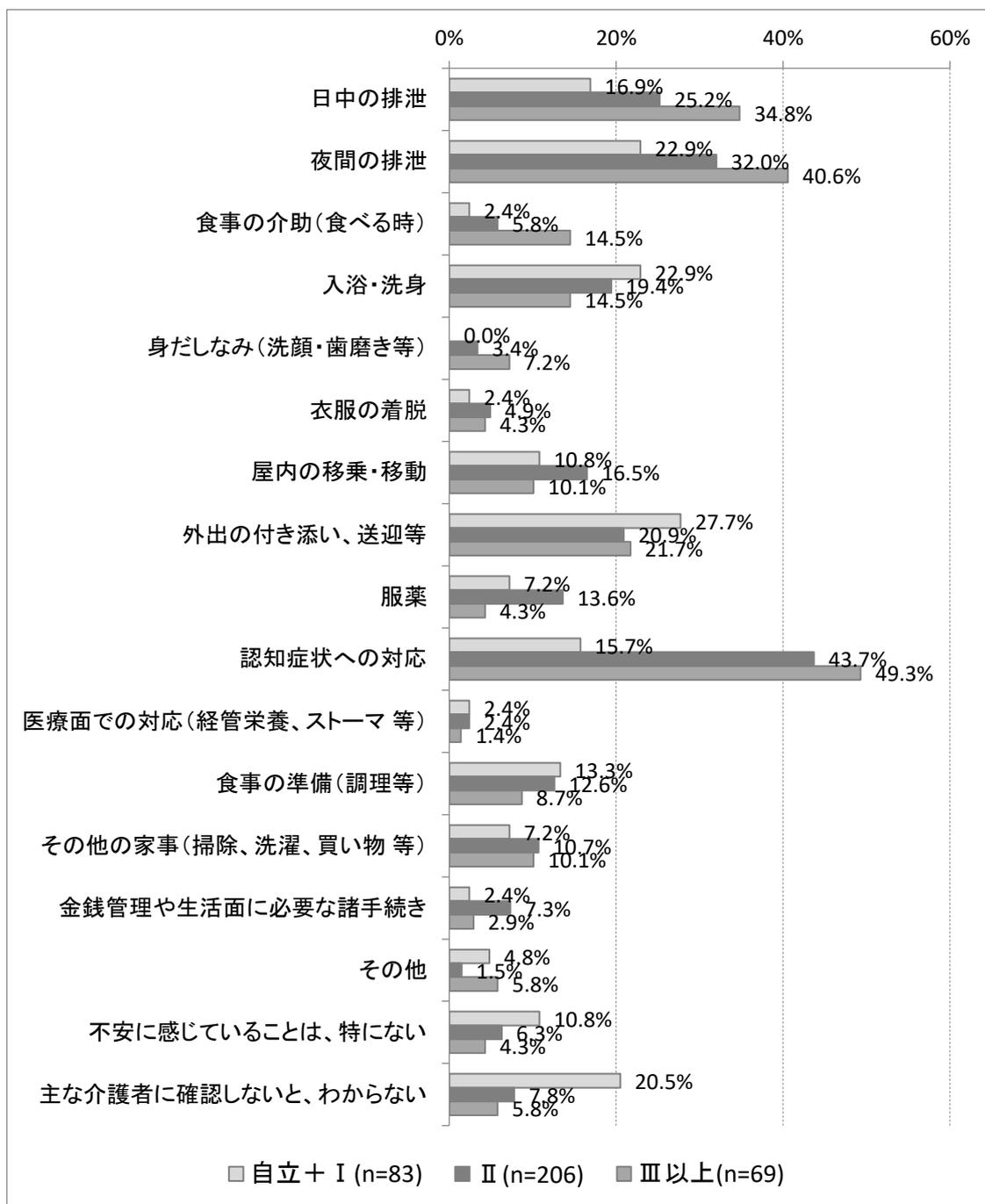


### 【不安を感じる介護等（認知症高齢者自立度別）】

主な介護者が不安を感じる介護等を認知症高齢者自立度別にみると、自立+Ⅰでは、「外出の付き添い、送迎等」の割合が27.7%と最も高く、次いで「夜間の排泄」と「入浴・洗身」が同率で22.9%、「主な介護者に確認しないと、わからない」が20.5%、「日中の排泄」が16.9%となっています。

Ⅱでは、「認知症状への対応」の割合が43.7%と最も高く、次いで「夜間の排泄」32.0%、「日中の排泄」が25.2%、「外出の付き添い、送迎等」が20.9%となっています。

Ⅲ以上では、「認知症状への対応」の割合が49.3%と最も高く、次いで「夜間の排泄」が40.6%、「日中の排泄」が34.8%となっています。

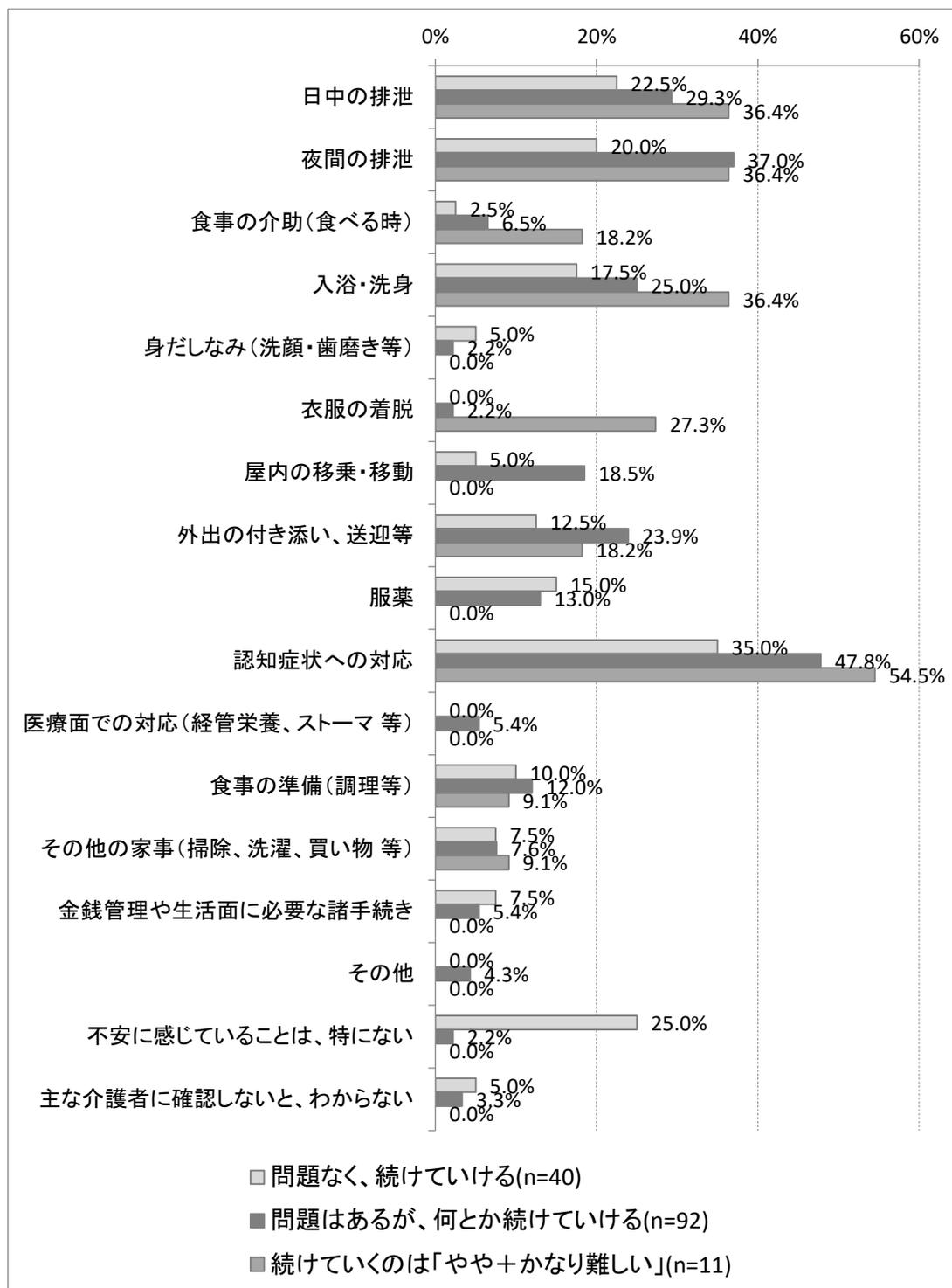


### 【不安を感じる介護等（働きながらの介護継続の見込み別）】

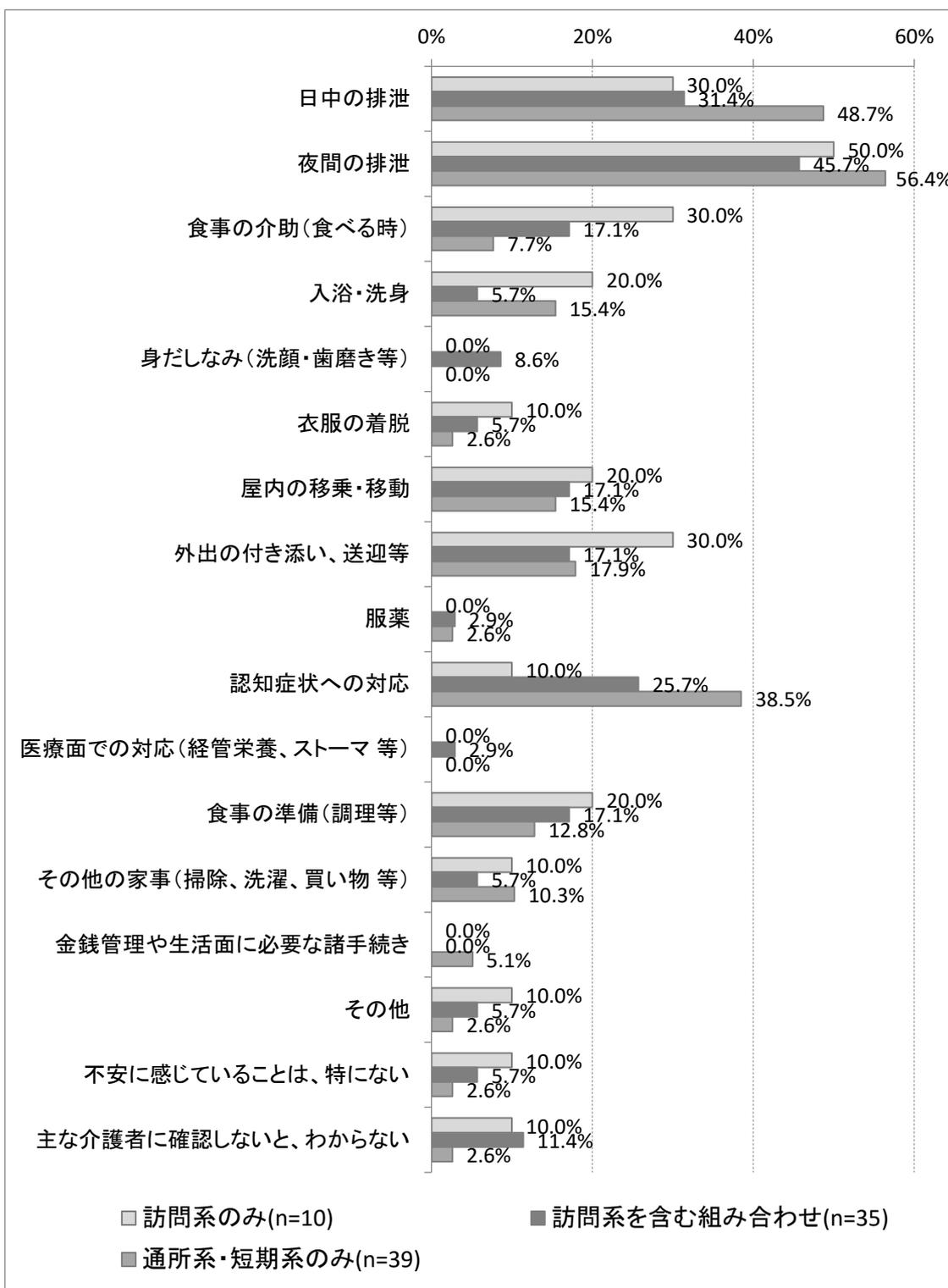
主な介護者が不安を感じる介護等を働きながらの介護継続の見込み別にみると、問題なく、続けていけるでは、「認知症状への対応」の割合が35.0%と最も高く、次いで「不安に感じていることは、特にない」が25.0%、「日中の排泄」が22.5%となっています。

問題はあるが、何とか続けていけるでは、「認知症状への対応」の割合が47.8%と最も高く、次いで「夜間の排泄」が37.0%、「日中の排泄」が29.3%となっています。

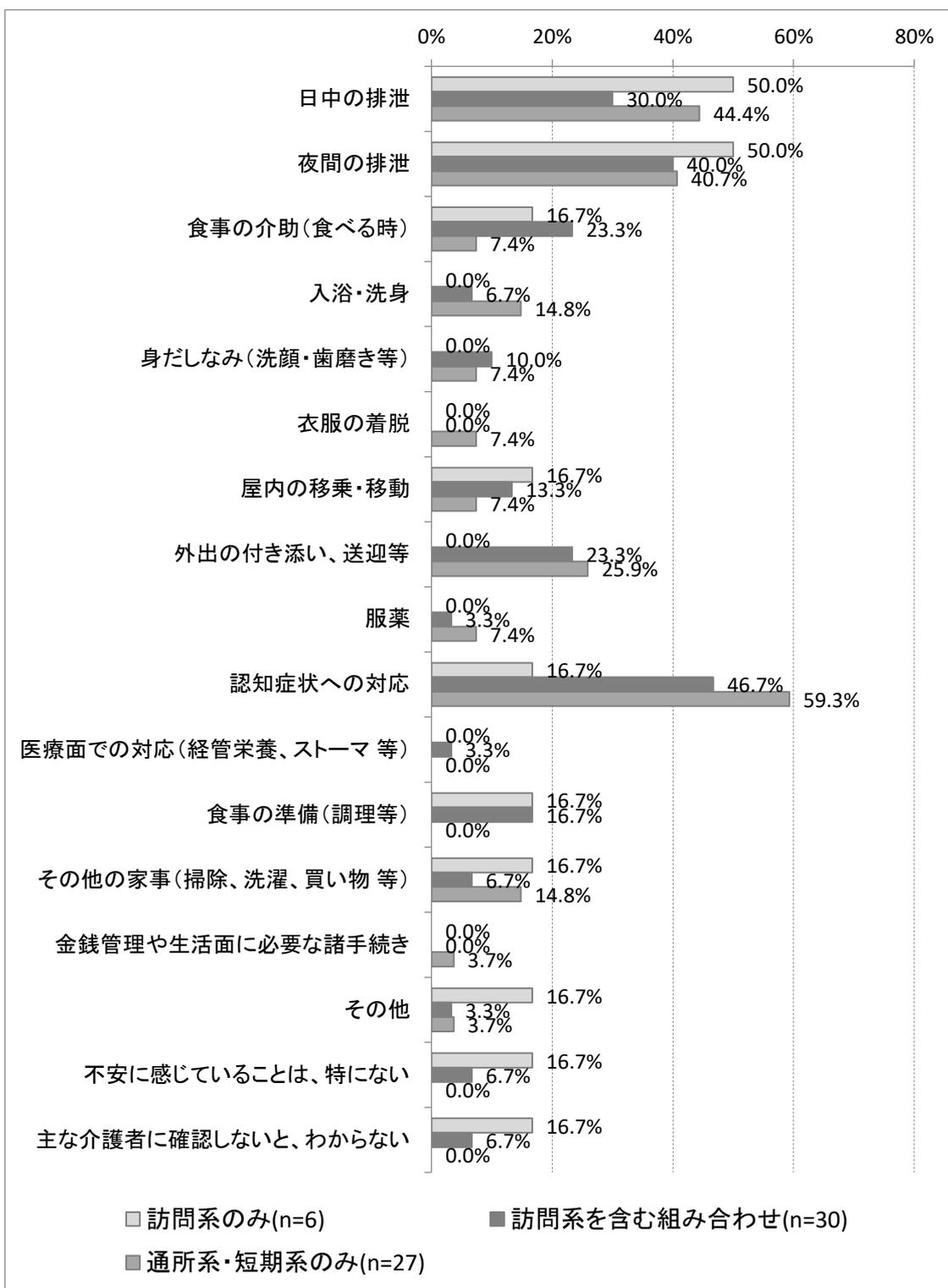
続けていくのは「やや+かなり難しい」では、「認知症状への対応」の割合が54.5%と最も高く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「入浴・洗身」が同率で36.4%となっています。



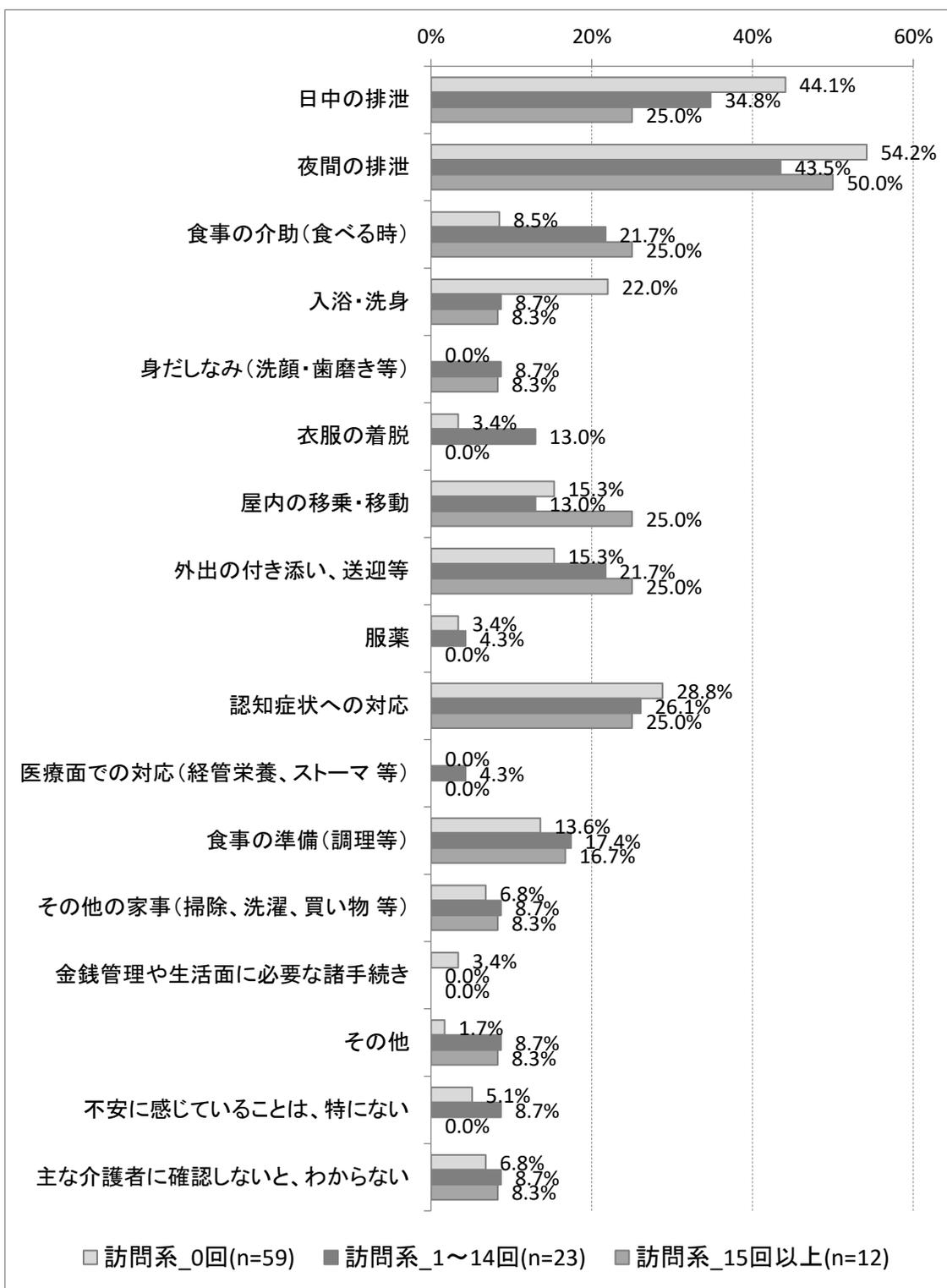
【不安を感じる介護等（サービス利用の組み合わせ別・要介護3以上）】



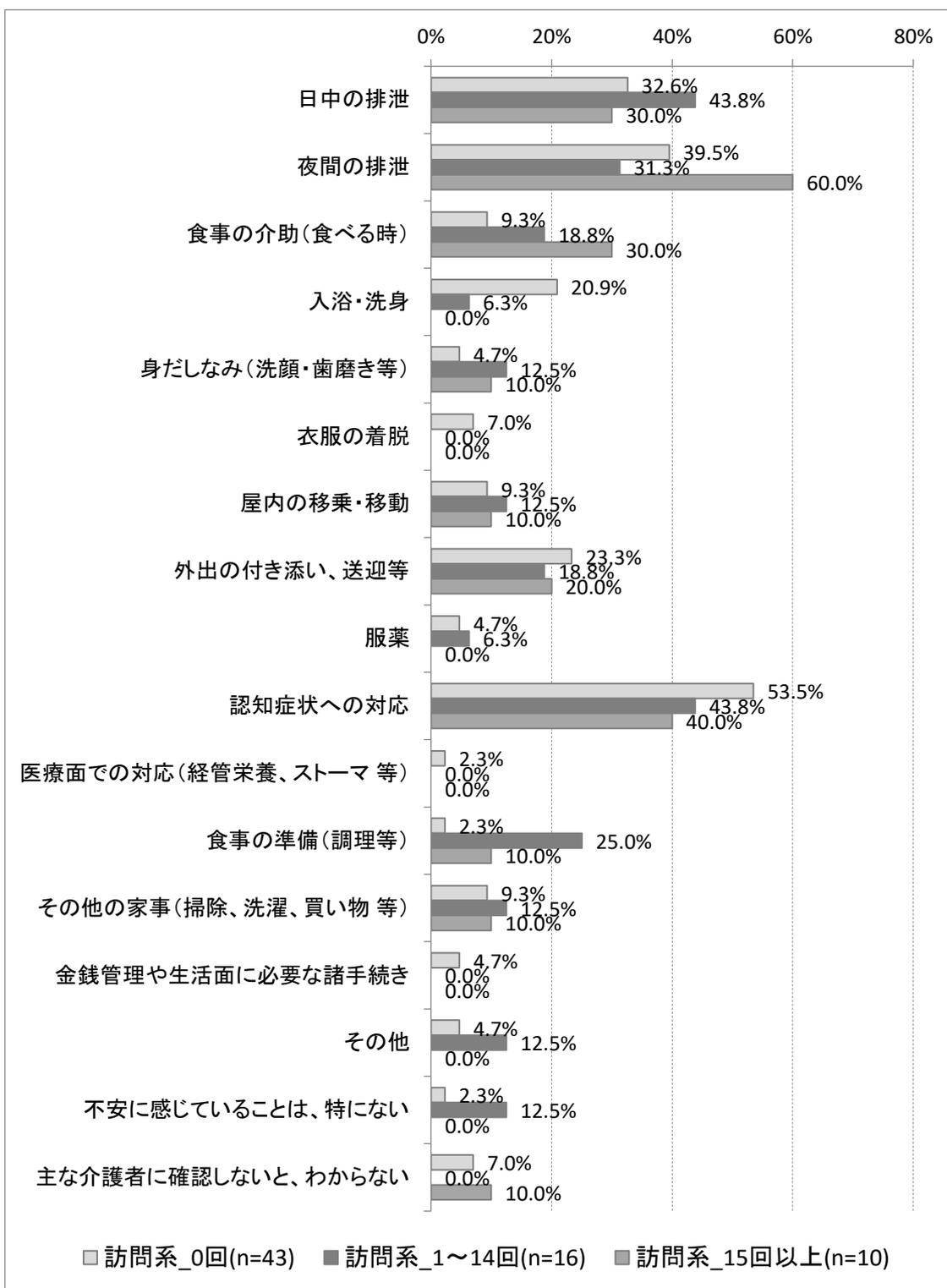
【不安を感じる介護等（サービス利用の組み合わせ別・認知症Ⅲ以上）】



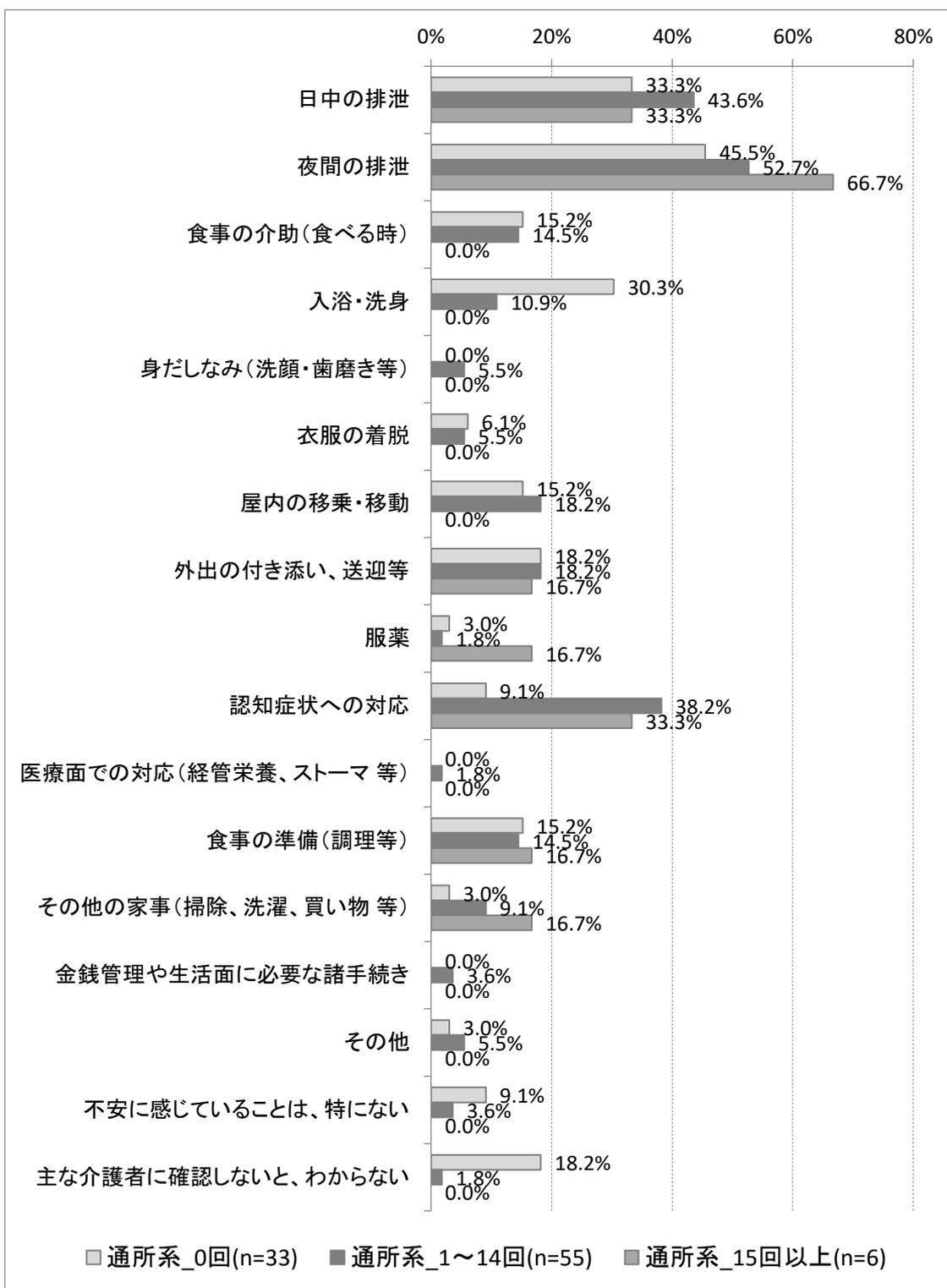
【不安を感じる介護等（サービス利用回数別・訪問系・要介護3以上）】



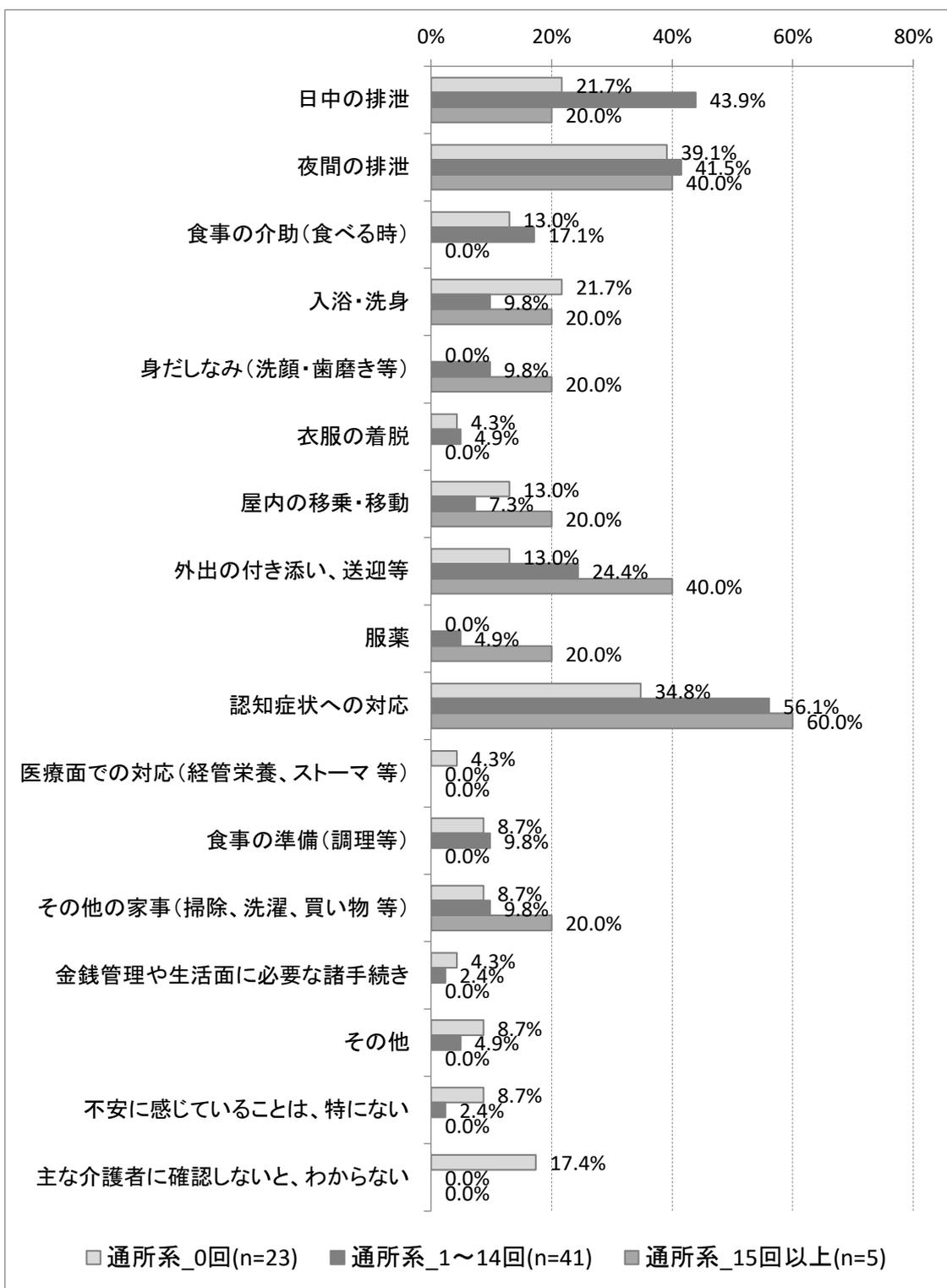
【不安を感じる介護等（サービス利用回数別・訪問系・認知症Ⅲ以上）】



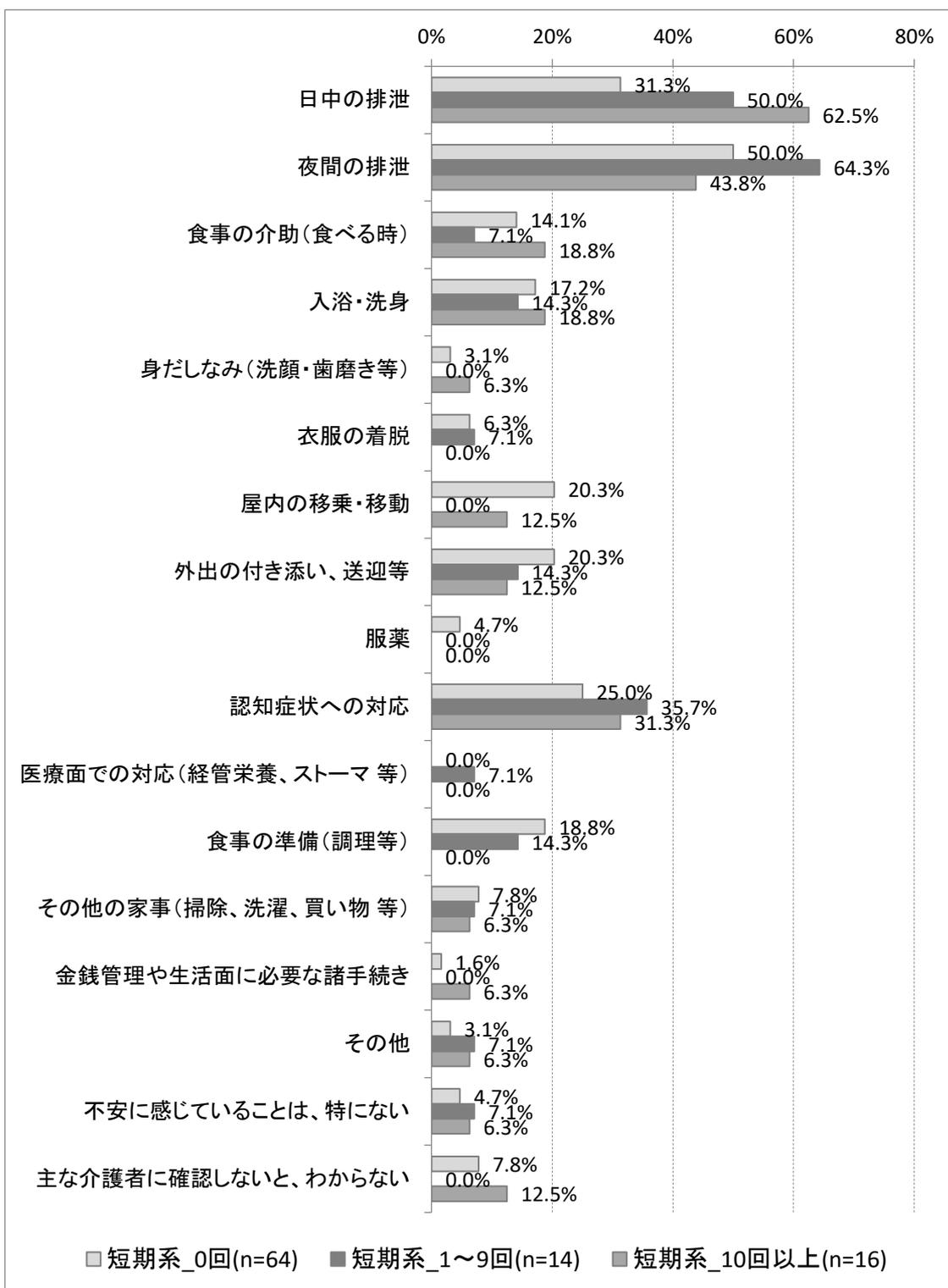
【不安を感じる介護等（サービス利用回数別・通所系・要介護3以上）】



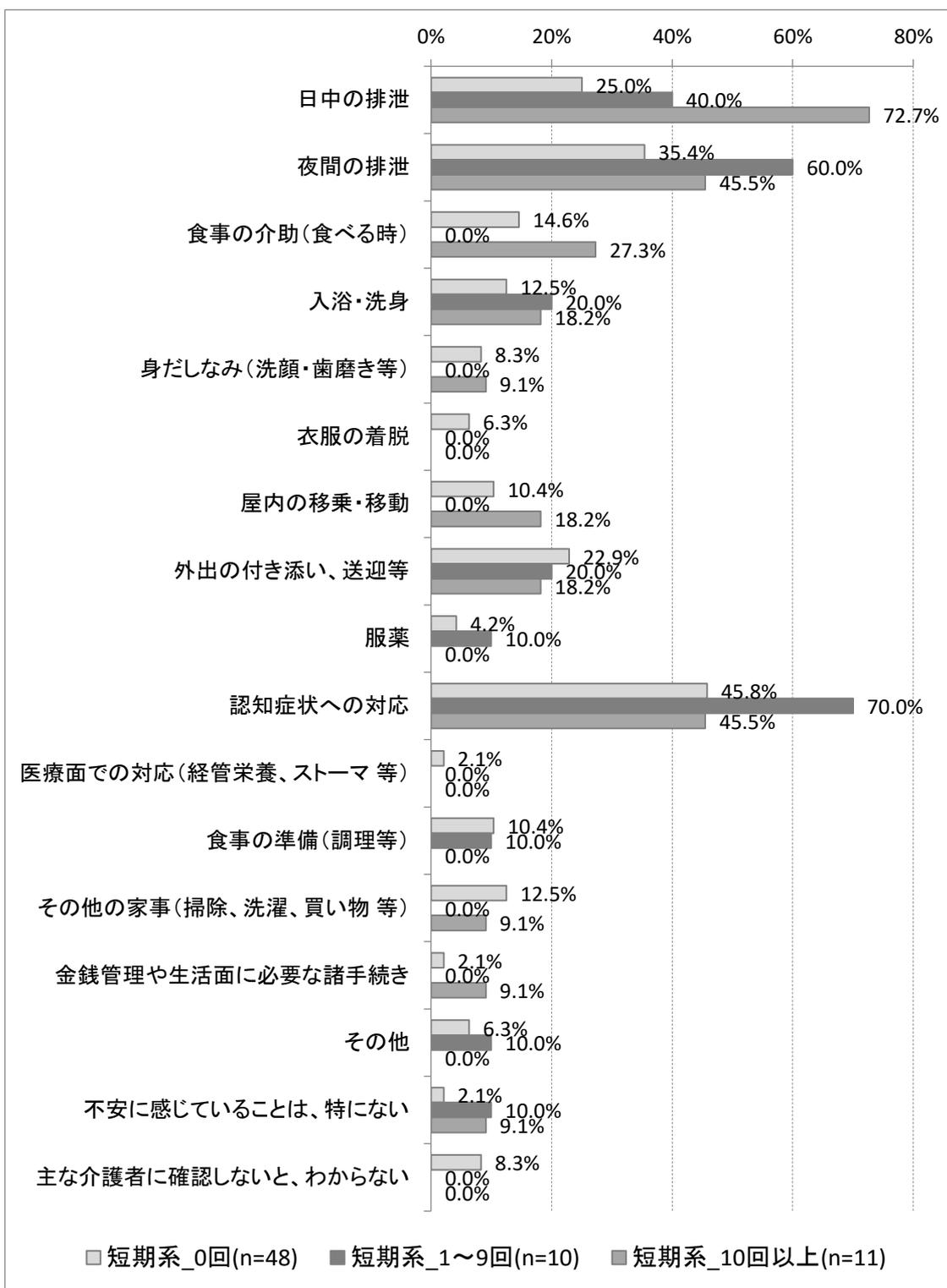
【不安を感じる介護等（サービス利用回数別・通所系・認知症Ⅲ以上）】



【不安を感じる介護等（サービス利用回数別・短期系・要介護3以上）】



【不安を感じる介護等（サービス利用回数別・短期系・認知症Ⅲ以上）】



### Ⅲ 在宅介護実態調査からみえる課題

#### ◆ 柏崎市における在宅介護の実態

主な介護者（A票問3）は、「子」の割合が56.0%と最も高く、次いで「配偶者」が23.7%となっています。主な介護者の年齢（A票問5）は、「60代」の割合が34.1%と最も高く、次いで「50代」が24.5%、「70代」が17.1%、「80歳以上」が14.7%と、60代以上の割合が高くなっています。また、介護者の年齢（本人の年齢別）をみると、本人の年齢が65歳以上で介護者の年齢が60代以上であるケースが多くみられます。これらのことから、本市では要介護者（要支援者）と介護者がともに65歳以上である、いわゆる「老老介護」の世帯類型が少なからず存在しており、その世帯数はさらに増加していくことが予想されます。

また、主な介護者が不安を感じる介護等（B票問5）についてみると、「認知症状への対応」、「夜間の排泄」、「日中の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」の割合が高く、認知機能や身体機能の低下により引き起こされる介護への不安が多く回答されています。

世帯の状況や要介護度等に応じたきめ細かな支援を行うためにも、介護保険サービスだけでなく、日常生活を支える各種サービスの充実とともに、多職種間連携によるサービス提供体制の整備が必要であると考えられます。

#### ◆ 安心につながる支援・サービスの充実

世帯類型（A票問1）についてみると、「単身世帯」の割合が26.2%、「夫婦のみ世帯」の割合が19.9%となっています。ひとり暮らしの高齢者はもとより、日中独居状態となる高齢者の身体状態の重度化や、夫婦のみ世帯が「老老介護」や認知症患者が認知症患者を介護する「認認介護」の状態となることも十分想定されます。このため、そうした方々の状況の把握に努めるとともに、地域での見守り体制を充実していくことが重要であると考えられます。

介護保険以外の支援・サービスについて、『現在利用している』割合（A票問8）と『今後必要と感じる』割合（A票問9）を比較すると、いずれの支援・サービスにおいても『今後必要と感じる』の割合が上回っており、特に「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「見守り、声かけ」、「外出同行（通院、買い物など）」の割合が高くなっています。

高齢者の方が地域で安心して暮らしていけるよう、介護保険以外の支援・サービスの充実はもとより、地域の住民同士が支え合う体制づくりを進めていく必要があります。

#### ◆就労している主な介護者への支援

主な介護者の現在の勤務形態（B票問1）については、「フルタイム勤務」の割合が31.2%、「パートタイム勤務」の割合が13.9%であり、『働いている』方の割合は全体の45.1%と半数近くとなっています。

働きながら介護をしている方の働き方の調整等（B票問2）については、「特に行っていない」の割合が約4割となっています。一方、働きながらの介護継続の見込み（B票問4）について、「問題はあるが、何とか続けている」の割合が53.1%、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合わせた『続けていくのは、難しい』の割合は、7.2%となっており、働きながら介護を担うことに困難を感じている方が多くみられます。

就労している介護者の負担を軽減するためにも、労働時間の調整や、職場における休暇制度の充実、及びそれらの制度を利用しやすい環境づくりに取り組んでいくことが必要です。

#### ◆ケアマネジャーの人材確保と資質向上

家族や友人・知人以外の相談先（A票問15）についてみると、「ケアマネジャー」の割合が78.0%と8割近くにのぼっています。このことから、ケアマネジャーは介護者にとって、何かあった時に相談できる身近な専門家と認識されていることがうかがえます。高齢化社会が進むにつれて、今後もケアマネジャーの業務量の増加、また業務内容の複雑化が見込まれることから、ケアマネジャーの人材の確保や資質向上のための研修が必要と考えられます。

◆主な介護者について

■主な介護者の本人との関係

- ・「子」が9.1ポイント増、「子の配偶者」が7.4ポイント減

■主な介護者の性別

- ・「男性」が5.2ポイント増、「女性」が6.2ポイント減

■主な介護者が行っている介護

- ・「服薬」が6.1ポイント増、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が5.7ポイント増

【考察】

主な介護者は前回よりも「子」や「男性」が増加し、「子の配偶者」や「女性」は減少しているように、今後も、介護者の状況や必要とされる介護などは多様化していくことも考えられます。このため、介護者や要介護者の多様な状況を把握するとともに、個々の状況に合わせられるサービスを提供できるように取り組んでいくことや、介護保険制度、サービス等の情報提供、相談支援体制の充実など、介護者の多様な状況に対する負担を軽減できるよう支援を行っていく必要があります。

◆介護者の離職防止について

■介護のための離職の有無

- ・「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が10.0ポイント減

■主な介護者の働き方の調整の状況

- ・「特に行っていない」が8.6ポイント減、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が5.7ポイント減、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が7.7ポイント増

■就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援

- ・「介護をしている従業員への経済的な支援」が9.6ポイント増、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が7.2ポイント増、「制度を利用しやすい職場づくり」が7.1ポイント増、「働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）」が6.8ポイント増、「特にない」は18.7ポイント減

【考察】

主な介護者の多くが働き方を調整しながら介護を行っている傾向があり、介護のために離職した家族・親族が増えている状況ではないことはいえませんが、仕事と介護を両立できる環境づくりを今後も進めていく必要があります。また、介護の負担軽減のための支援として、介護をしても仕事を続けられるように、介護の状況に応じて必要な制度を、必要な期間に利用できる環境を整備していく事業所が増えていくよう支援を行っていく必要があります。

#### ◆在宅生活の継続に向けた問題について

##### ■主な介護者の就労継続の可否に係る意識

- ・「問題なく、続けていける」が 6.2 ポイント減、「問題はあるが、何とか続けていける」が 7.5 ポイント減

##### ■今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護

- ・「夜間の排泄」が 5.0 ポイント増、「入浴・洗身」が 6.2 ポイント減

#### 【考察】

在宅生活を継続していくための問題点の一つとして、介護者の介護不安を軽減していく必要があり、「入浴・洗身」は前回よりも減り、「夜間の排泄」が増えているように、介護者の介護による負担や問題点を解決していくため、状況を適切に把握し、必要なサービスの提供体制、関係者間での連携による柔軟なサービス提供などを検討していくことが求められます。

柏崎市  
在宅介護実態調査  
集計結果報告書

---

発行年月：令和5(2023)年6月

発行：柏崎市

編集：柏崎市 福祉保健部 介護高齢課 高齢対策係

住所：〒945-8511 新潟県柏崎市日石町2番1号

電話：(0257) 23-5111

ファックス：(0257) 21-4700